Dell™ Latitude™ XT ユーザーズガイド

モデル PP12S

メモ、注意、警告

メモ : Tablet PC を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意 : ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告 : 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

モデル PP12S

2008 年 5 月　　P/N PU189　　Rev. A03

目次

1

リソース

情報の検索方法

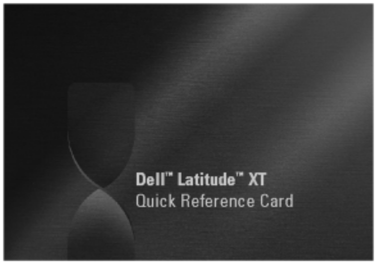
メモ：一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時に Tablet PC に搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

メモ：追加の情報が Tablet PC に同梱されている場合があります。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• Tablet PC の診断プログラム • Tablet PC のドライバ • デバイスのマニュアル	**Drivers and Utilities メディア** **メモ：**『Drivers and Utilities』メディアはオプションなので、出荷時にすべての Tablet PC に付属しているわけではありません。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• ノートブックシステムソフトウェア（NSS）	マニュアルおよびドライバは、お使いの Tablet PC にすでにインストールされています。『Drivers and Utilities』メディアを使用して、ドライバを再インストールしたり（142 ページの「ドライバとユーティリティの再インストール」を参照）、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（117 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。 メディア内に Readme ファイルが含まれている場合があります。この Readme ファイルでは、Tablet PC の技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。  **メモ：**ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** から入手できます。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• Tablet PC のセットアップ方法 • 基本的なトラブルシューティングの情報 • Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行方法	**クイックリファレンスガイド** **メモ：**このマニュアルはオプションの場合があるため、必ずしもお使いの Tablet PC に付属しているとは限りません。  **メモ：**このマニュアルは、**support.jp.dell.com** で PDF 形式のものをご覧いただけます。
• 安全にお使いいただくための注意 • 認可機関の情報 • 作業姿勢に関する情報 • エンドユーザライセンス契約	**Dell™ 製品情報ガイド** 

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• Tablet PC のセットアップ方法 • Tablet PC 機能の概要 • Tablet PC で使用可能なアクセサリ	**クイックリファレンスカード**  **メモ：**このドキュメントは **support.jp.dell.com** で PDF 形式のものをご覧いただけます。この出版物は、お使いのシステムに含まれていない場合があります。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• サービスタグとエクスプレスサービスコード • Microsoft® Windows® ライセンスラベル	**サービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンス** **メモ：**Tablet PC のサービスタグのラベルは、お使いの Tablet PC 底面のメモリカバーおよびミニカードカバーの近くに貼られています（39 ページの「底面図」を参照）。 **メモ：**また、セットアップユーティリティでもサービスタグの情報を検索できます。138 ページの「セットアップユーティリティ画面」を参照してください。 Tablet PC のサービスタグには、サービスタグナンバーおよびエクスプレスサービスコードの両方が記載されています。 • サービスタグは、**support.jp.dell.com** をご参照の際に、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、Tablet PC の識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。  **メモ：**お使いの Tablet PC の Microsoft® Windows® ライセンスラベルは、Tablet PC のバッテリベイにあるメインバッテリの下に貼られています（153 ページの「メインバッテリの取り外し」を参照）。 • ライセンスラベルのプロダクトキーは、オペレーティングシステムの再インストールが必要な場合に使用します。 **メモ：**セキュリティ対策の強化として、新たにデザインされた Microsoft Windows ライセンスラベルには、ラベルの一部が欠けている「穴」が組み込まれ、ラベルが剥がれにくくなっています。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q&A • サービスと保証 — 問い合わせ先、保証、および修理に関する情報 • サービスおよびサポート — サービス契約 • Dell テクニカル Update Service — お使いの Tablet PC に関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E-メールにて事前に通知するサービスです。 • 参照資料 — Tablet PC のマニュアル、Tablet PC の設定の詳細、製品の仕様、およびホワイトペーパー • ダウンロード — 認定されたドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート	**デルサポートサイト — support.jp.dell.com** **メモ :** 適切なサポートサイトを表示するには、お住まいの地域または業務部門を選択します。
• ノートブックシステムソフトウェア（NSS）— お使いの Tablet PC のオペレーティングシステムを再インストールする場合、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、プロセッサ、光学ドライブ、USB デバイスなどをサポートします。NSS はお使いの Dell Tablet PC が正しく動作するために必要なものです。このソフトウェアはお使いの Tablet PC およびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。	ノートブックシステムソフトウェアは、**support.jp.dell.com** にてダウンロードできます。 **メモ : support.jp.dell.com** のユーザーインタフェースは、選択の仕方によって異なります。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• ソフトウェアのアップグレードおよびトラブルシューティングのヒント — よくあるお問い合わせ（FAQ）、最新トピック、およびお使いのコンピュータ環境の一般的な状態	**デルサポートユーティリティ（Windows Vista®）** デルサポートユーティリティは、お使いの Tablet PC にインストールされている自動アップグレードおよび通知システムです。このサポートは、お使いのコンピュータ環境のリアルタイムな状態のスキャン、ソフトウェアのアップデート、および関連するセルフサポート情報を提供します。Windows タスクトレイの アイコンからデルサポートユーティリティにアクセスします。詳細に関しては、121 ページの「Windows Vista 対応のデルサポート ユーティリティ」を参照してください。
• Tablet PC およびそのコンポーネントに関する情報の検索方法 • インターネットへの接続方法 • 他のユーザー用のユーザーアカウントの追加方法 • 別の Tablet PC からのファイルおよび設定の転送方法	**Windows ウェルカムセンター** はじめて Tablet PC を使用する際には、Windows ウェルカムセンターが自動的に表示されます。Tablet PC を起動するたびに Windows ウェルカムセンターを表示するかどうかを選択できます。表示をオフにした場合に、ウェルカムセンターにアクセスするには、次の手順を実行します。 • Windows Vista — **Start**（スタート） → **Welcome Center**（ウェルカムセンター）とクリックします。 • Windows XP — **スタート** → **ヘルプとサポート** → **Tablet PC へようこそ** とクリックします。
• Microsoft Windows Vista および Windows XP の使い方 • プログラムとファイルの操作方法 • デスクトップのカスタマイズ方法	**Windows ヘルプとサポート** 1 **Start**（スタート）（または Windows XP の場合**スタート**）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします。 2 Search Help（ヘルプの検索）で、問題に関連する単語または語句を入力して、<Enter> を押すか、虫メガネのアイコンをクリックします。 3 問題に関連するトピックをクリックします。 4 画面に表示される指示に従ってください。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• タブレットの特徴と機能、ネットワークアクティビティ、電力の管理ウィザード、ホットキー、およびその他の Dell QuickSet がコントロールするアイテムに関する情報	**Dell QuickSet ヘルプ** 『ell QuickSet ヘルプ』を表示するには、QuickSet tablet 設定ボタン（27 ページの「正面図」を参照）、または Microsoft® Windows® タスクトレイの QuickSet アイコンを右クリックして、**ヘルプ** を選択します。Windows タスクトレイは、画面の右下隅にあります。
• オペレーティングシステムの再インストール方法	**オペレーティングシステムメディア** オペレーティングシステムは、お使いの Tablet PC にすでにインストールされています。お使いのオペレーティングシステムを再インストールするには、『オペレーティングシステム』メディアを使用します。 148 ページの「オペレーティングシステムの再インストール」を参照してください。  オペレーティングシステムを再インストールした後に、『Drivers and Utilities』メディアを使用して、Tablet PC に同梱のデバイスドライバを再インストールします。 お使いのオペレーティングシステムの Product Key（プロダクトキー）は、お使いの Tablet PC メインバッテリベイに貼られている Microsoft® Windows® ライセンスラベルに記載されています（153 ページの「メインバッテリの取り外し」を参照）。 **メモ：**注文されたオペレーティングシステムによって、メディアの色が違います。

困ったときは

サポートを受けるには

警告 : Tablet PC 内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

お使いの Tablet PC に不具合がある場合、以下の手順でその不具合を診断し、問題解決します。

1. Tablet PC に生じている不具合に関連した情報と手順に関しては、117 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。
2. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。117 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。
3. 24 ページの「Diagnostics（診断）チェックリスト」に記入してください。このチェックリストを使用すると、お使いの Tablet PC のトラブルシューティングを行う際にデルサポートの担当者が必要とする情報を整理できます。
4. インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポート（**support.jp.dell.com**）から、広範囲をカバーするオンラインサービスを利用してください。デルサポートオンラインサービスおよびその機能の一覧については、22 ページの「オンラインサービス」を参照してください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合は、25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ : デルへお問い合わせになるときは、できれば Tablet PC の電源を入れて、Tablet PC の近くから電話をおかけください。サポート担当者が Tablet PC での操作をお願いすることがあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。

デルサポートの使い方の説明は、21 ページの「テクニカルサポートおよびカスタマーサービス」を参照してください。

デルサポートサービス

テクニカルサポートおよびカスタマーサービス

Dell™ のハードウェアに関するお問い合わせは、デルサポートサービスをご利用ください。サポートスタッフは Tablet PC ベースの診断を元に、正確な回答を迅速に提供します。

デルサポートサービスに問い合わせるには、23 ページの「お問い合わせになる前に」を参照して、お住まいの地域の連絡先を確認するか、**support.jp.dell.com** をご覧ください。

DellConnect

DellConnect は、ブロードバンド接続を介してデルサービスとサポート担当者がお使いの Tablet PC にアクセスできるようにするための、簡易なオンラインアクセスツールで、お客様立会いのもとに不具合の診断や修復を行います。詳細については、**support.jp.dell.com** へアクセスするか、**DellConnect** をクリックしてください。

オンラインサービス

デル製品およびサービスについては、以下のウェブサイトでご覧いただけます。

www.dell.com

www.dell.com/ap （アジア太平洋地域のみ）

www.dell.com/jp（日本のみ）

www.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

www.dell.com/la（ラテンアメリカとカリブ諸国）

www.dell.ca（カナダのみ）

デルサポートへは、以下のウェブサイトおよび E- メールアドレスでご連絡いただけます。

- デルサポートサイト
  support.dell.com

  support.jp.dell.com（日本のみ）

  support.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

- デルサポートの E- メールアドレス
  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  la-techsupport@dell.com（ラテンアメリカおよびカリブ諸国のみ）

  apsupport@dell.com（アジア太平洋地域のみ）

24 時間納期案内電話サービス

注文した Dell 製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、または 24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。

製品情報

デルが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご注文をする場合は、デルウェブサイト **www.dell.com/jp/** をご覧ください。お住まいの地域のお問い合わせ先電話番号および販売担当者の電話番号に関しては、25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理または返品について

『サービス & サポートのご案内』をご覧ください。

お問い合わせになる前に

メモ：お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがおわかりになると、デルで自動電話サポートシステムをお受けになる場合に、より効率良くサポートが受けられます。また、お客様のサービスタグをお尋ねする場合もございます（お使いの Tablet PC の底面にあります）。

必ず Diagnostics（診断）チェックリスト（24 ページの「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）に記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればお使いの Tablet PC の電源を入れて、Tablet PC の近くから電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、Tablet PC 自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。Tablet PC のマニュアルがあることを確認してください。

警告：Tablet PC 内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

Diagnostics（診断）チェックリスト

名前：

日付：

住所：

電話番号：

サービスタグ（お使いの Tablet PC の底面のバーコード）：

エクスプレスサービスコード：

返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：

オペレーティングシステムとバージョン：

周辺機器：

拡張カード：

ネットワークに接続されていますか？　はい　いいえ

ネットワーク、バージョン、およびネットワークアダプタ：

プログラムとバージョン：

システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。Tablet PC がプリンタに接続されている場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。

エラーメッセージ、ビープコード、または診断コード：

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

米国に居住するお客様は、800-WWW-DELL（800-999-3355）へお電話ください。

メモ：有効なインターネット接続が利用できない場合、お問い合わせ先の情報はお買い上げ明細書、梱包内容明細書、請求書、または Dell 製品カタログでご参照いただけます。

デルでは、各種のオンラインとお電話によるサポートおよびサービスのオプションを提供しています。国および製品によって、対応範囲に違いがあり、サービスによってはお客様の地域でご利用いただけない場合があります。営業、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスについてデルにお問い合わせになる場合は、次の手順を実行します。

1. **support.jp.dell.com** へアクセスします。
2. ページの下部にある **国 / 地域** ドロップダウンメニューで、お客様の国または地域を確認します。
3. ページの左側にある **お問い合わせ** をクリックします 。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートのリンクを選択します。
5. ご都合に合ったデルへのお問い合わせ方法をお選びください。

2

お使いの Tablet PC について

注意： ディスプレイの損傷を避けるために、Tablet PC を携帯するときは Tablet PC がノートブックモードになっており、ディスプレイが閉じていることを確認してください。

正面図



1	グリップ	2	ディスプレイ
3	環境照明センサー（デュアルバルブ CCFL LCD オプション実装時のみ）	4	デバイスステータスライト
5	デジタルアレイマイク	6	バイオメトリクスリーダー
7	タッチパッド	8	タッチパッドボタン

9	トラックスティックボタン	10	キーボード
11	トラックスティック	12	回転ヒンジ
13	デジタルアレイマイク	14	電源ボタン
15	Windows® セキュリティボタン	16	画面回転ボタン
17	QuickSet Tablet 設定ボタン	18	E- メールアプリケーションショートカットボタン

グリップ —ディスプレイを開くときに使用します。

ディスプレイ —ディスプレイの詳細に関しては、85 ページの「ディスプレイの使い方」を参照してください。

環境照明センサー —お使いの Tablet PC の注文時に選択されたディスプレイオプションによって、お使いの Tablet PC には環境照明センサーが搭載されていない場合があります。環境照明センサーは、利用可能な環境照明を検知し、環境照明の高低に応じてディスプレイの背面ライトを自動的に増減します。センサーを有効または無効にするには、<Fn> と左矢印キーを押します（85 ページの「デュアルバルブ（CCFL）LCD での輝度の調整」を参照）。

デバイスステータスライト



Tablet PC がデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。

注意 : データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対に Tablet PC の電源を切らないでください。

バッテリが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。

ワイヤレスデバイスが有効になると点灯します。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジが有効になっている場合に点灯します。Bluetooth ワイヤレステクノロジを有効または無効にするには、ワイヤレススイッチを「オン」の位置にします（詳細に関しては、105 ページの「Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照）。

メモ : Bluetooth ワイヤレステクノロジは、お使いの Tablet PC のオプション機能です。Tablet PC に Bluetooth ワイヤレステクノロジが搭載されている場合にのみ、 アイコンが有効になります。詳細に関しては、Bluetooth ワイヤレスデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

Tablet PC がコンセントに接続されている場合、 のライトは次のように動作します。

- 青色の点灯 — バッテリの充電中。
- 青色の点滅 — バッテリは充電中で、メンテナンス充電モードです。
- 消灯 — バッテリが十分に充電されています（または、バッテリの充電に外部電源を使用できません）。

Tablet PC をバッテリで作動している場合、 のライトは次のように動作します。

- 消灯 — Tablet PC がオフの状態、またはシステムがバッテリで動作中であり、バッテリの充電残量がシステム維持に十分です。
- 橙色の点滅 — バッテリの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリの充電残量が非常に低下しています。

デジタルアレイマイク —会議およびチャット用デジタル指向性マイク

バイオメトリクスリーダー —お使いの Dell™ Tablet PC のセキュリティ保護に役立ちます。指紋リーダーの上で指をスライドさせると、ユーザー固有の指紋を読み取り身元確認が行われます。バイオメトリクスリーダーをコントロールするセキュリティ管理ソフトウェアを有効にして使用する方法に関しては、112 ページの「セキュリティ管理ソフトウェア」を参照してください。

タッチパッド —マウスの機能と同じように使うことができます（82 ページの「タッチパッド」を参照）。

タッチパッドボタン / トラックスティックボタン —タッチパッドおよびトラックスティックを使用する場合、これらのボタンを使用して画面上のカーソルを動かします（84 ページの「タッチパッドおよびトラックスティックまたはポインタのカスタマイズ」を参照）。

キーボード —キーボードにはテンキーパッドや、Windows のロゴキーなどが含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットについては、79 ページの「キーボードの使い方」を参照してください。

トラックスティック —マウスの機能と同じように使うことができます（84 ページの「タッチパッドおよびトラックスティックまたはポインタのカスタマイズ」を参照）。

回転ヒンジ —ヒンジを回転させて PC をタブレットモードに変換します。53 ページの「タブレットモードの使い方」を参照してください。

電源ボタン —Tablet PC に電源を入れるか、または 省電力モード（74 ページの「省電力モード」を参照）を終了するときに、電源ボタンを押します。

注意 : データの損失を防ぐため、電源ボタンを押さずに Microsoft® Windows® のオペレーティングシステムをシャットダウンして Tablet PC の電源を切ってください。オペレーティングシステムをシャットダウンする手順については、151 ページの「Tablet PC の電源を切る」を参照してください。

Tablet PC が応答しなくなった場合、Tablet PC の電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

電源ボタンの周囲のバックライトの輪は、Tablet PC の電源が入っている場合に青く点灯し、Tablet PC が省電力モードの場合は点滅します。

WINDOWS セキュリティボタン —Tablet PC をタブレットモードでお使いの場合、Windows セキュリティボタンを押すと、ノートブックモードで <Ctrl><Alt><Del> キーの組み合わせを使用した場合と同様に、Windows タスクマネージャダイアログボックスまたはログイン画面にアクセスできます。詳細に関しては、61 ページの「タブレットボタンの使い方」を参照してください。

画面回転ボタン —Tablet PC がタブレットモードの場合、次のように画面回転ボタンを使用してディスクプレイの向きを縦長モードから横長モードに変更できます。詳細に関しては、61 ページの「タブレットボタンの使い方」を参照してください。

QUICKSET TABLET 設定ボタン —Tablet PC およびペンのオプションを表示したり設定したりするには、Dell QuickSet にアクセスします。詳細に関しては、61 ページの「タブレットボタンの使い方」を参照してください。

E- メールアプリケーションショートカットボタン —お使いの E- メールアプリケーションを起動します。詳細に関しては、61 ページの「タブレットボタンの使い方」を参照してください。

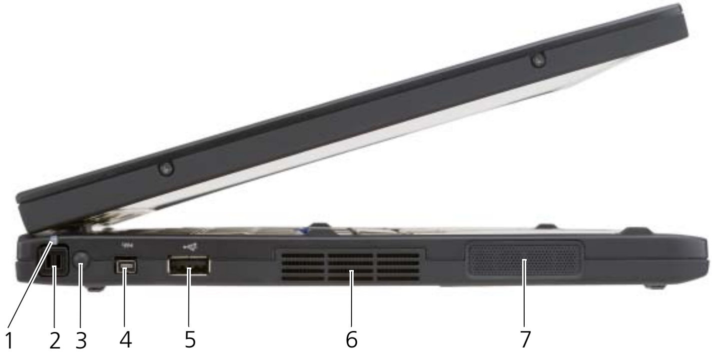
キーボードステータスライト



お使いの Tablet PC の 3 つのキーボードステータスライトは、対応するキーの組み合わせにより以下の機能がアクティブになっていることを示します。

キーの組み合わせ	機能
<Fn><F4>	テンキーパッドが有効になると点灯します。キーボードの上端にあります。
<Caps Lock>	英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。<Caps Lock> キーについています。
<Fn><F5>	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。キーボードの上端にあります。

左側面図



1	ペンインジケータ LED	2	ペン
3	外付けワイヤレス WAN アンテナ **メモ :** 外付けアンテナは、WWAN カードにのみ装備されています。標準コンピュータ構成には装備されていません。コンピュータに付属のプラグは、アンテナおよび WWAN カードを取り付ける前に取り外す必要があります。	4	IEEE 1394 コネクタ
5	USB コネクタ	6	通気孔
7	スピーカー		

ペン —実装部からペンを取り出すには、ペンの末端を押して放します。

ペンインジケータ LED—ペンのステータスを示します。62 ページの「ペンの取り出しおよび収容」を参照してください。

外付けワイヤレス WAN アンテナ —お使いの Tablet PC がワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）接続をサポートする場合、信号強度を最適化するために外付け WWAN アンテナを伸ばし、方向を調整する必要があります。

IEEE 1394 コネクタ

カメラ、外付けハードディスクドライブ、外付け CD-ROM ドライブなど FireWire デバイスを接続します。ホットスワップ、単一バス内での複数の速度、および時間ベースのデータ転送をサポートします。マルチメディア操作用の帯域幅を提供します。

USB コネクタ

マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

通気孔 —Tablet PC は内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、Tablet PC がオーバーヒートするのを防止します。

警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。Tablet PC の稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、Tablet PC に損傷を与えたり、火災の原因になったりする恐れがあります。Tablet PC は熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンや Tablet PC に問題が発生したわけではありません。

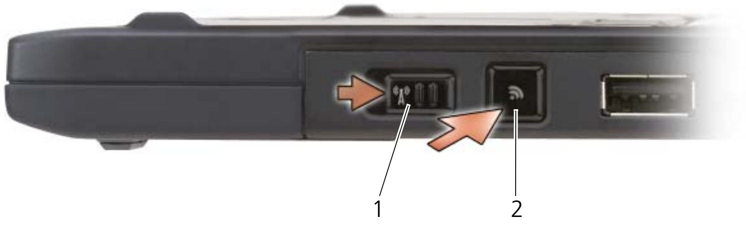
スピーカー —内蔵スピーカーの音量を調節するには、ボリュームコントロールのキーボードショートカットを使用します（80 ページの「キーの組み合わせ」を参照）。

右側面図



1	ワイヤレス無線通信オン / オフスイッチ	2	Wi-Fi Catcher™ ボタン
3	USB コネクタ	4	ExpressCard スロット
5	SD カードスロット	6	ヘッドホンコネクタ
7	マイクコネクタ	8	セキュリティケーブルスロット

ワイヤレス無線通信オン / オフスイッチ —このスイッチを Dell QuickSet で有効にすると、近隣のワイヤレス LAN（WLAN）を取り込むことができます。このスイッチを使用して、ワイヤレス LAN カード、Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードなどのワイヤレスデバイスを簡単にオンまたはオフにすることもできます（105 ページの「Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照）。Tablet PC の前側の位置にあるときはオフです。Tablet PC の後側の位置にあるときはオンです。



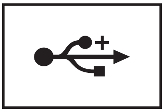
1	ワイヤレス無線通信オン / オフスイッチ	2	Wi-Fi Catcher™ ボタン

バックライト WI-FI CATCHER™ ボタン —ワイヤレス LAN ネットワークを取り込みます（105 ページの「Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照）。ライトは、次のように動作します。

- 青色の点滅 — ネットワークの検索中
- 青色の点灯 — 強いネットワークが見つかりました

- 黄色の点灯 — 弱いネットワークが見つかりました
- 黄色の点滅 — エラー
- 消灯 — ワイヤレス無線通信スイッチがオフ、信号 が 見つからない、または Microsoft Windows が実行中

USB コネクタ

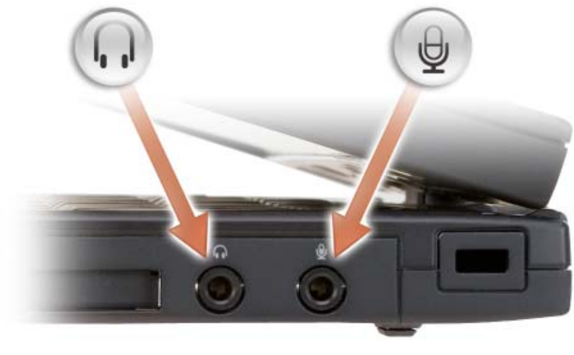


マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

EXPRESSCARD スロット —オプションのスマートカードリーダーなど ExpressCard を 1 枚サポートします。詳細に関しては、87 ページの「カードの使い方」を参照してください。

SD カードスロット —デジタルカメラ、ハンドヘルドコンピュータ、PDA、GPS ユニットなどのポータブルデバイスで使用される、ストレージデバイスである SD メモリカードを 1 枚サポートします。

オーディオコネクタ



 のコネクタにはヘッドフォンを接続します。

 のコネクタにはマイクを接続します。

セキュリティケーブルスロット —このスロットを使って、市販の盗難防止用品を Tablet PC に取り付けることができます（107 ページの「セキュリティケーブルロック」を参照）。

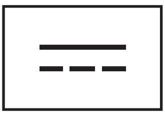
背面図



1	AC アダプタコネクタ	2	ビデオコネクタ
3	タブレットバックボタン	4	スクロールコントロールボタン
5	ネットワークコネクタ	6	パワード USB コネクタ
7	回転ヒンジ	8	タブレットグリップ
9	ペンストラップスロット		

AC アダプタコネクタ



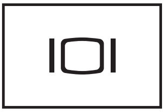
	AC アダプタを Tablet PC に接続します。

AC アダプタは AC 電力を Tablet PC に必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、Tablet PC のオンまたはオフに関係なく接続可能です。

警告 : AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意 : ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルを Tablet PC から外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルをまとめる場合、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの角度に従ってください。

ビデオコネクタ



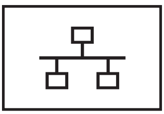
モニタなどのビデオデバイスを接続します。

タブレットバックボタン —タブレットモードのときに使用してナビゲートします。60 ページの「戻るボタンの使い方」を参照してください。

スクロールコントロールボタン —タブレットモードのときに使用してナビゲートします。60 ページの「スクロールコントロールの使い方」を参照してください。

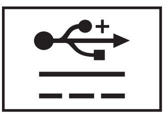
注意 : Tablet PC の損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタまたは USB コネクタに接続しないでください。

ネットワークコネクタ（RJ-45）



モニタなどのビデオデバイスを接続します。

パワード USB コネクタ



モニタなどのビデオデバイスを接続します。

回転ヒンジ —Tablet PC をノートブックモードとタブレットモードに切り替えます。

ペンストラップスロット —このスロットを使用して Tablet PC とペンとをつなぐストラップを接続します。

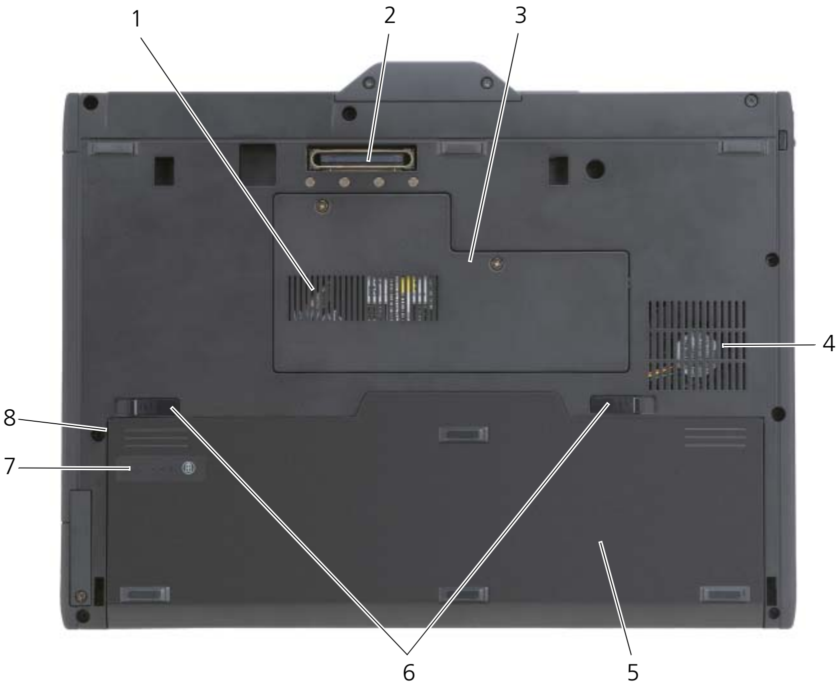
平面図



バッテリが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。

Tablet PC の電源を入れると点灯し、Tablet PC が省電力モードになっていると点滅します。

底面図



1	通気孔	2	ドッキングデバイスコネクタ
3	メモリモジュールおよびミニカードカバー	4	ファン通気孔
5	メインバッテリ	6	バッテリベイリリースラッチ（2）
7	バッテリ充電ゲージ / 機能ゲージ	8	バッテリベイ（メインバッテリの下）

メモ : お使いの Tablet PC の Microsoft® Windows® ライセンスラベルは、Tablet PC のバッテリベイにあるメインバッテリの下に貼られています（153 ページの「メインバッテリの取り外し」を参照）。

通気孔 —Tablet PC は内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、Tablet PC がオーバーヒートするのを防止します。

警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。Tablet PC の稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、Tablet PC に損傷を与えたり、火災の原因になったりする恐れがあります。Tablet PC は熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンや Tablet PC に問題が発生したわけではありません。

ドッキングデバイスコネクタ —Tablet PC をメディアベースまたはバッテリスライスに取り付けます。詳細については、203 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースへの ドッキング」および 212 ページの「お使いの Tablet PC のバッテリスライスへのドッキング」を参照してください。

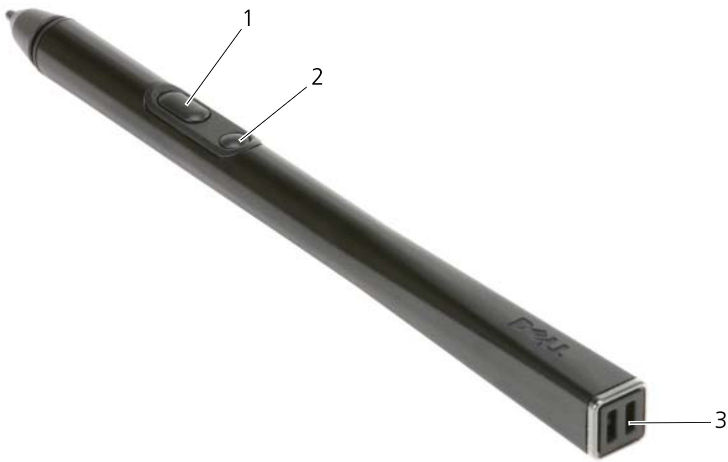
メモリモジュールカバーおよび ミニカード カバー —お使いの Tablet PC に取り付けられている、メモリモジュール、および ミニカード を収容する実装部を保護します（41 ページの「メモリ」および 42 ページの「通信」を参照）。

バッテリ充電ゲージ / 機能ゲージ —バッテリ充電量の情報を示します（72 ページの「バッテリの充電チェック」を参照）。

バッテリ —バッテリを取り付けると、コンセントに接続せずに Tablet PC を使うことができます（71 ページの「バッテリの使い方」を参照）。

バッテリベイリリースラッチ —バッテリをリリースします（手順については、152 ページの「Tablet PC 内部の作業を始める前に」を参照）。

ペンの図



1	右クリックペンボタン	2	消去ペンボタン	3	ペンストラップスロット

仕様

メモ：仕様は、地域によって異なる場合があります。Tablet PC の構成の詳細については、**Start**（スタート） （または Windows XP の場合 **スタート**）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックして、次にお使いの Tablet PC に関する情報を表示するオプションを選択します。

プロセッサ	
プロセッサの種類	Intel® Core™ Duo または Intel® Core™ Solo
L1 キャッシュ	64 KB（内蔵）各プロセッサコア
L2 キャッシュ	最大 4 MB
外付けバスの周波数	533 MHz または 667 MHz

システム情報	
システムチップセット	AMD RS600ME/SB600
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
プロセッサアドレスバス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	2 MB
PCI バス	32 ビット

メモリ	
システム基板の内蔵メモリ	1 GB
オプションのメモリ：	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM ソケット × 1
メモリモジュールの容量	1 GB および 2 GB
システムメモリの最大容量	3 GB
メモリのタイプ	3.3 V SODIMM

保管時	
内蔵ハードディスクドライブ：	
フォームファクタ	1.8 インチ PATA HDD またはオプションの 1.8 インチ PATA Solid State HDD
速度	4200 rpm
最大サイズ	100 GB
	32 GB（オプションの 1.8 インチ PATA Solid State HDD のみ）
Dell D/Bay（外付け）：	
電力要件	パワード USB ポート
光学ドライブのサポート	CD-ROM、DVD+/-RW、DVD-ROM

ポートとコネクタ	
オーディオ	マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
IEEE 1394	4 ピン シリアルコネクタ
ミニカード	ミニカード用スロット × 2
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
USB	4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ × 2
パワード USB	5 ピン電源ユニットおよび 4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）

通信	
ネットワークアダプタ	システム基板上に 10/100/1000 Ethernet LAN（ASF 2.0 サポート）
ワイヤレス	内蔵ワイヤレス LAN、WWAN（オプションの Mini-Card 使用）、および Bluetooth® ワイヤレスサポート

ビデオ	
ビデオタイプ	システム基板に内蔵、128 ビットハードウェア加速
データバス	内蔵ビデオ
ビデオコントローラ	内蔵グラフィックス（UMA）AMD RS600
ビデオメモリ	最大 256 MB 共有ビデオメモリ（512MB ＋システムメモリ）
LCD インタフェース	LVDS

オーディオ	
オーディオタイプ	2 チャネル ハイ・デフィニッション・オーディオ（Azalia）
オーディオコントローラ	IDT STAC9205 コーデック
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	ハイ・デフィニッション・オーディオ（Azalia）
外付け	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
スピーカー	4 Ω スピーカー× 1
内蔵スピーカーアンプ	2 W チャネル（4 Ω）
ボリュームコントロール	ショートカットキー、プログラムメニュー
ステレオデジタルマイクアレイ	
Windows Vista®	Windows Vista ネイティブのマイク処理をサポート
Windows XP	Knowles Intellisonic マイク処理を含む

ディスプレイ	
LED バックライト薄型軽量 LCD およびデュアルバルブ（CCFL）LCD オプション：	
パネルデザイン	12.1 インチ WXGA
ディスプレイ領域	261.12 mm（H）× 163.20 mm（V） 12.1 インチ（対角）
アスペクト比	16 : 10
ピクセル数	1280 × 3（RGB）× 800 ドット
ピクセルピッチ	0.204 × 0.204（公称）
ディスプレイモード	通常白
可視角度：	
水平方向	+/- 70 °
垂直方向	+/- 70 °
LED バックライト薄型軽量 LCD オプション：	
発光	220 nit タイプ
デュアルバルブ（CCFL）LCD オプション：	
発光	400 nit タイプ

タブレット入力デバイス	
デジタイザ	
インタフェース	容量結合方式タッチ
入力解像度	1000 dpi
位置報告レート	133 PPS
座標精度（平均）	+/- 0.4 mm
座標ジッタ（最大）	+/- 0.4 mm
ペン	
寸法：	
長さ	133 mm
直径	9 mm
タイプ	2 ボタン、バッテリなし

ノートブック入力デバイス	
キーボード：	
キー数	84（アメリカ、カナダ）、85（英国、ヨーロッパ、89（日本）、86（ブラジル）
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字
タッチパッド：	
X / Y 位置解像度（グラフィックタブレットモード）	240 cpi
寸法：	
横幅	56.7 mm（センサー感知領域）
縦幅	35.9 mm（長方形）
トラックスティック：	
X / Y 位置解像度（グラフィックタブレットモード）	100 gf にて 160 カウント / 秒

バイオメトリクスリーダー	
タイプ	UPEK TCS3 TouchStrip™ ストリップセンサー、CMOS のアクティブ静電容量ピクセル感知テクノロジ搭載
アレイサイズ	248 x 2 ピクセル

バッテリ	
タイプ	4 セル「スマート」リチウムイオン（28 WHr） 6 セル「スマート」リチウムイオン（42 WHr）
寸法：	
長さ	96.84 mm
縦幅	13.7 mm
横幅	264.27 mm
重量	0.26 kg（4 セル） 0.34 kg（6 セル）
電圧	11.1 VDC
充電時間（概算）	4 時間（電源が切れている場合）

バッテリ（続き）	
動作時間	バッテリ駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。 バッテリの駆動時間の詳細については、71 ページの「バッテリの使い方」を参照してください。
寿命（概算）	300 回（充電 / 放電）
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃

AC アダプタ	
入力電圧	90 ～ 264 VAC
入力電流（最大）	1.1 A
入力周波数	47 ～ 63 Hz
出力電流	3.3 A（4 秒パルスのとき最大）; 2.3 A（継続）
出力電力	45 W、65 W（オプション）、または Auto Air 65 W（オプション）
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法 :	
縦幅	16.0 mm
横幅	63.0 mm
長さ	88.0 mm
重量（ケーブル含む）	0.195 kg
温度範囲：	
動作時	0 ～ 40 ℃
保管時	–10 ～ 70 ℃

サイズと重量	
高さ：	
LED バックライト薄型軽量 LCD 実装時	25.4 mm（システムクローズド / LED 標準構成）
デュアルバルブ CCFL LCD 実装時	29.85 mm（システムクローズド / DLV 標準構成）
横幅	297.0 mm
長さ	218.6mm
重量	1.62 kg（4 セルバッテリ / LED 標準構成）
	1.93 kg（6 セルバッテリ / DLV 標準構成）

環境	
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
相対湿度（最大）：	
動作時	10 ～ 90 %（結露しないこと）
保管時	5 ～ 95 %（結露しないこと）
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）：	
動作時	0.9 GRMS
保管時	1.3 GRMS
最大衝撃（ヘッド固定位置のハードディスクドライブと 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定したとき）：	
動作時	122 G
保管時	163 G
高度（最大）：	
動作時	–15.2 ～ 3,048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m
気中浮遊汚染物質レベル	ANSI/ISA-S71.04-1985 規格の定義通り G2 またはそれ以下

3

Tablet PC のセットアップと使い方

新しい Tablet PC への情報の転送

Microsoft® Windows® には、たとえば古いコンピュータまたは Tablet PC から新しいコンピュータまたは Tablet PC へ転送する場合のように、元の Dell™ コンピュータから別の Dell™ コンピュータへファイルやその他のデータを転送する際に役立つウィザードが用意されています。

Windows Vista® での情報の転送

1 **Start**（スタート） をクリックし、**Transfer files and settings**（ファイルと設定の転送）→ **Start Windows Easy Transfer**（ファイルと設定の転送ウィザードの開始）とクリックします。

2 **User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ダイアログボックスで、**Continue**（続行）をクリックします。

3 **Start a new transfer**（新しい転送を開始する）あるいは **Continue a transfer in progress**（実行中の転送を続行する）をクリックします。

Windows Vista Easy Transfer（Windows 転送ツール）ウィザードで画面に表示される手順に従います。

Windows XP での情報の転送

ネットワークまたはシリアル接続を介して新しいコンピュータにデータを転送することも、新しいコンピュータへの転送用に書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアにデータを保存することもできます。

メモ : 2 台のコンピュータの入出力（I/O）ポートをシリアルケーブルで直接接続することで、古いコンピュータから新しいコンピュータに情報を転送することができます。シリアル接続を使用してデータを転送するには、コントロールパネルのネットワーク接続ユーティリティで、詳細接続の設定やホストコンピュータとゲストコンピュータの指定などの追加設定を行う必要があります。

2 台のコンピュータで直接ケーブルを設置する手順に関しては、マイクロソフトのウェブサイトにて「直接ケーブル接続を構成する方法」という文書を参照してください。

新しいコンピュータへ情報を転送するには、ファイルと設定の転送ウィザードを実行する必要があります。これには、使用可能であれば『オペレーティングシステム』メディアを使用するか、ファイルと設定の転送ウィザードを使用してウィザードディスクを作成します。

オペレーティングシステムメディアを使用したファイルと設定の転送ウィザードの実行

メモ： この手順には、『オペレーティングシステム』メディアが必要です。このメディアはオプションであり、コンピュータによっては付属していない場合があります。

新しいコンピュータにファイル転送の準備をするには、次の手順を実行します。

1 ファイルと設定の転送ウィザードを開きます。これには、**スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
2 **ファイルと設定の転送ウィザード** の開始画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
3 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** → **次へ** をクリックします。
4 **Windows XP CD がありますか？** 画面で、**Windows XP CD からウィザードを使います** → **次へ** をクリックします。
5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、転送元の古いコンピュータに移動します。このとき、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには、次の手順を実行します。

1 古いコンピュータに、Windows XP の『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。
2 **Microsoft Windows XP へようこそ** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
3 **実行する操作の選択** の中から **ファイルと設定の転送** → **次へ** をクリックします。
4 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で、**転送元の古いコンピュータ** → **次へ** をクリックします。
5 **転送方法を選択してください** 画面で、希望する転送方法をクリックします。
6 **何を転送しますか？** 画面で、転送するアイテムを選択して **次へ** をクリックします。

   情報がコピーされると、**収集フェーズを完了しています** 画面が表示されます。
7 **終了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で、設定とファイルを転送する方法を選択し、**次へ** をクリックします。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、その情報を新しいコンピュータに適用します。

   すべての設定とファイルが適用されると、**完了** 画面が表示されます。
3 **完了** をクリックし、新しいコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアを使用しないファイルと設定の転送ウィザードの実行

『オペレーティングシステム』メディアを使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行するには、ウィザードディスクを作成する必要があります。このウィザードディスクを使用すると、リムーバブルメディアにバックアップイメージファイルを作成できます。

ウィザードディスクを作成するには、Windows XP 搭載の新しいコンピュータを使用して、次の手順を実行します。

1 ファイルと設定の転送ウィザードを開きます。これには、**スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
2 **ファイルと設定の転送ウィザード** の開始画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
3 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** → **次へ** をクリックします。
4 **Windows XP CD がありますか ?** 画面で、**ウィザードディスクを次のドライブに作成します** → **次へ** をクリックします。
5 書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアを挿入し、**OK** をクリックします。
6 ディスク作成が完了して、`Now go to your old computer`（今、古いコンピュータに行ってください）メッセージが表示されたら、**次へ** をクリック <u>しないで</u>ください。
7 古いコンピュータに移動します。

古いコンピュータからデータをコピーするには、次の手順を実行します。

1 古いコンピュータで、ウィザードディスクを挿入します。
2 **スタート** → **ファイル名を指定して実行** をクリックします。

3 **ファイル名を指定して実行** ウィンドウの **名前** フィールドで、適切なリムーバブルメディアの **fastwiz** のパスを参照し、**OK** をクリックします。

4 **ファイルと設定の転送ウィザード** の開始画面で、**次へ** をクリックします。

5 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送元の古いコンピュータ** → **次へ** をクリックします。

6 **転送方法を選択してください** 画面で、希望する転送方法をクリックします。

7 **何を転送しますか ?** 画面で、転送するアイテムを選択して **次へ** をクリックします。

   情報がコピーされると、**収集フェーズを完了しています** 画面が表示されます。

8 **終了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で、設定とファイルを転送する方法を選択し、**次へ** をクリックします。画面に表示される指示に従ってください。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、その情報を新しいコンピュータに適用します。

   すべての設定とファイルが適用されると、**完了** 画面が表示されます。

3 **完了** をクリックし、新しいコンピュータを再起動します。

ノートブックモードの使い方

お使いの Tablet PC は、ノートブックモードまたはタブレットモードで使用できます。ノートブックモードで Tablet PC を使用するには、見やすい角度になるまでディスプレイを開き、他のノートブックコンピュータを使用するようにキーボードおよびディスプレイを使用します。



メモ : ノートブックモードでは、すべてのペンおよびタッチスクリーンの入力方法（60 ページの「タブレットモードでの Tablet PC のコントロール」を参照）を使用できます。ただし、この設定ではディスプレイでアクセスできないスクロールコントロールおよび戻るボタンは使用できません。

タブレットモードの使い方

注意 : ディスプレイの損傷を避けるために、Tablet PC を携帯するときは Tablet PC がノートブックモードになっており、ディスプレイが閉じていることを確認してください。

お使いの Tablet PC は、ディスプレイの回転ヒンジを時計回りに 180 度回転させることで、ノートブックモードからタブレットモードに切り替わります。

Tablet PC のノートブックモードとタブレットモードの切り替え

Tablet PC をタブレットモードに切り替えるには次の手順を実行します。

注意 : ヒンジを 180 度以上回転させると、Tablet PC を損傷します。

注意 : ディスプレイを回転させる際は、キーキャップをこすらないようにします。キーキャップをこすると、キーボードを損傷する恐れがあります。

1 90 度の角度（ベースに対して直角）になるまで Tablet PC のディスプレイを開きます。

2 片手をパームレストにおいてベースを支え、もう一方の手でディスプレイの上部をつかみます。ヒンジカバーの方向矢印に従って、ディスプレイが完全にはまるまで回転ヒンジを時計回りに 180 度回転させます。



1	ディスプレイ	2	ディスプレイアセンブリ
3	回転ヒンジ	4	方向矢印

3 ディスプレイを上向きにして、ベースの上にディスプレイアセンブリを置きます。



Tablet PC のノートブックモードとタブレットモードを切り替えると、Tablet PC の画面の向きは Dell QuickSet アプリケーションまたは Pen and Tablet settings（ペンとタブレットの設定）アプリケーションで指定した設定に従って自動的に変更されます。通常、横向き（ノートブックモード）から縦向き（タブレットモード）になります。Tablet PC 設定のカスタマイズの詳細に関しては、69 ページの「QuickSet」を参照してください。

Tablet PC をタブレットモードからノートブックモードに切り替えるには、次の手順を実行します。

注意 : ヒンジを 180 度以上回転させると、Tablet PC を損傷します。

注意 : ディスプレイアセンブリを回転させる際は、キーキャップをこすらないようにします。キーキャップをこすると、キーボードを損傷する可能性があります。

1　90 度の角度（ベースに対してして直角）になるまでディスプレイを持ち上げます。



2 片手を パームレストにおいてベースを支え、もう一方の手でディスプレイの上部をつかみます。グリップの方向矢印に従って、ディスプレイアセンブリがノートブックモード構成に完全にはまるまで回転ヒンジを反時計回りに 180 度回転させます。



1	ディスプレイアセンブリ	2	回転ヒンジ
3	グリップの方向矢印		

3 ディスプレイを見やすい角度に調整します。

右利きユーザーおよび左利きユーザーによる使用

お使いの Tablet PC は、右利きユーザーまたは左利きユーザーによる使用に合わせて調整できます。オペレーティングシステムには、右利きか左利きかに合わせて Tablet PC をカスタマイズできるさまざまな設定があります。

- 右利きユーザーが使用する場合

  左手でグリップをつかみ、左前腕で Tablet PC を支えると、スクロールコントロールおよび戻るボタンに指が届きます。右手でペンを持つか、右手の指でタブレットボタンおよびディスプレイを操作できます。



- 左利きユーザーが使用する場合

  右手でグリップをつかみ、右前腕で Tablet PC を支えます。左手でペンを持ち、左手の指でスクロールコントロールおよび戻るボタンを操作するか、または、左手の指でタブレットボタンおよびディスプレイを操作できます。



画面の向き

Tablet PC の画面の向きは、次のようにさまざまな方法で縦向きから横向きに変更できます。

- 画面回転タブレットボタンを押して、時計回りに画面を 90 度回転させます。
- タスクトレイの QuickSet アイコンを右クリックし、**Tablet Settings**（Tablet 設定）→ **Display**（ディスプレイ）とクリックし、次に **Screen Orientation**（画面の向き）プルダウンメニューで目的の画面の向きを選択します。
- Windows Vista では、**Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Mobile PC**（モバイル PC）→ **Tablet PC Settings**（Tablet PC 設定）→ **Display**（画面）をクリックします。

- Windows XP では、**スタート → コントロールパネル → プリンタとその他のハードウェア → タブレットとペンの設定** をクリックし、次に **画面** タブをクリックします。
- Windows Vista で、Windows ロゴキーと <x> を押して **Windows Mobility Center** を開き、目的の方向が表示されるまで **Screen Orientation**（画面の向き）ウィンドウのボタンをクリックします。

タブレットモードでの Tablet PC のコントロール

タブレットモードでは、次の方法でお使いの Tablet PC をコントロールできます。

- スクロールコントロール
- 戻るボタン
- タブレットボタン
- ペン
- タッチ

スクロールコントロールの使い方

- 項目のリストまたは一連のページを 1 つずつスクロールするには、スクロールコントロールを上下に移動して放します。コントロールを放すと、自動的に中央（中間）の位置に戻ります。
- 項目のリストまたは一連のページを素早くスクロールするには、スクロールコントロールを上下に移動して押し続け、スクロールを停止したい位置で放します。
- オブジェクトを選択するには、中央（中間）の位置でスクロールコントロールを押して放します。
- コンテキストメニューを起動するには、スクロールコントロールを押し続け、完全な円がディスプレイに描かれてから放します。これは、ノートブックコンピュータでの右マウスクリックに相当します。

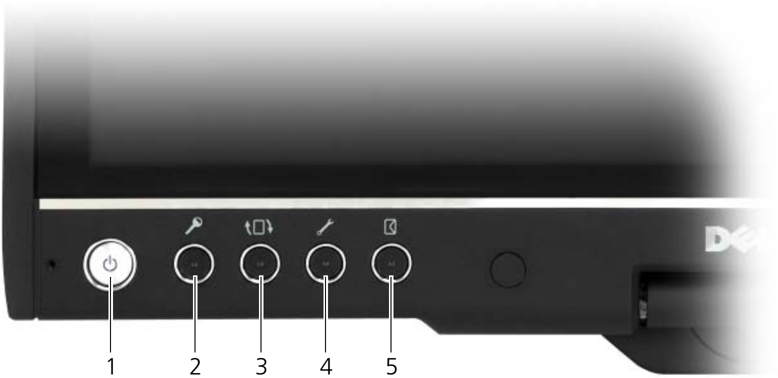
戻るボタンの使い方

スクロールコントロールの隣に配置されている戻るボタンは、ウェブブラウザ、Windows エクスプローラなどナビゲーションをサポートするアプリケーションでの戻る操作を行ったり、アクティブなウィンドウを閉じる場合に使用します。

- 戻る操作を行うには、戻るボタンを押して放します。
- アクティブなウィンドウを閉じるには、戻るボタンを押し続けます。
- 戻るボタンの動作をカスタマイズするには、**Tablet and Pen Settings**（タブレットとペンの設定）を使用します。

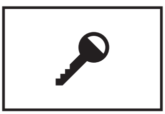
タブレットボタンの使い方

お使いの Tablet PC には、電源ボタンの横に 4 つのタブレットボタンが配置されています。



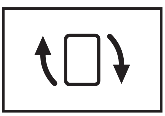
1	電源ボタン	2	Windows セキュリティボタン
3	画面回転ボタン	4	QuickSet Tablet 設定ボタン
5	E- メールアプリケーションショートカットボタン		

WINDOWS セキュリティボタン



Tablet PC をタブレットモードでお使いの場合、Windows セキュリティボタンを押すと、ノートブックモードで <Ctrl><Alt><Del> キーの組み合わせを使用した場合と同様に、**Windows タスクマネージャ** ダイアログボックスまたはログイン画面にアクセスできます。

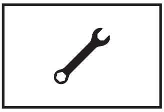
画面回転ボタン



Tablet PC がタブレットモードの場合、次のように画面回転ボタンを使用してディスプレイの向きを縦長モードから横長モードに変更できます。

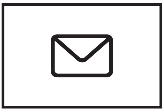
- 画面回転ボタンを押して放すたびに、画面の画像は時計回りに 90 度回転します。
- 画面回転ボタンを 押し続ける と、ディスプレイの電源が切れます。2 度目に画面回転ボタンを押し続けるか、ペンを使用して Tablet PC を起動するまで、コンピュータは入力を認識しません。これは、お使いの Tablet PC を携帯する際に不慮の入力を防止できる便利な機能です。

QUICKSET TABLET 設定ボタン



Dell QuickSet でお使いの Tablet PC およびペンのオプションを表示し、設定するには、このボタンを押します。**Tablet PC Settings**（Tablet PC 設定）（Windows Vista）または **Tablet 設定**（Windows XP）を使用して、このボタンを設定できます。

E- メールアプリケーションショートカットボタン



お使いの Tablet PC に Microsoft Outlook または Outlook Express がインストールされている場合、いずれかのアプリケーションを起動します。**Tablet PC Settings**（Tablet PC 設定）（Windows Vista）または **Tablet 設定**（Windows XP）を使用して、このボタンを設定できます。

タブレットボタンの有効化および無効化

タブレットボタンは、Dell QuickSet アプリケーションで有効にしたり無効にしたりできます。QuickSet にアクセスするには、タスクトレイの QuickSet アイコンをクリックするか、QuickSet Tablet 設定ボタンを押します。

戻るボタン、Tablet 設定ボタン、E- メールアプリケーションショートカットボタン、およびスクロールコントロール（Windows Vista）に割り当てられた動作は、変更できます。

これらのボタンの設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows Vista では、**Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Mobile PC**（モバイル PC）→ **Tablet PC Settings**（Tablet PC 設定）→ **Set tablet buttons to perform certain tasks**（特定のタスクを実行するタブレットボタンを設定）をクリックします。
- Windows XP では、**スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **タブレットとペンの設定** をクリックし、**タブレットボタン** タブをクリックします。

ペンの使い方

ペンの取り出しおよび収容

ペン実装部からペンを取り出すには、ペンを押して放します。ペンを使用していない間は、ペンを保護するために Tablet PC のペン実装部に先端からペンを挿入します。ペンを押して実装部にはめ込みます。

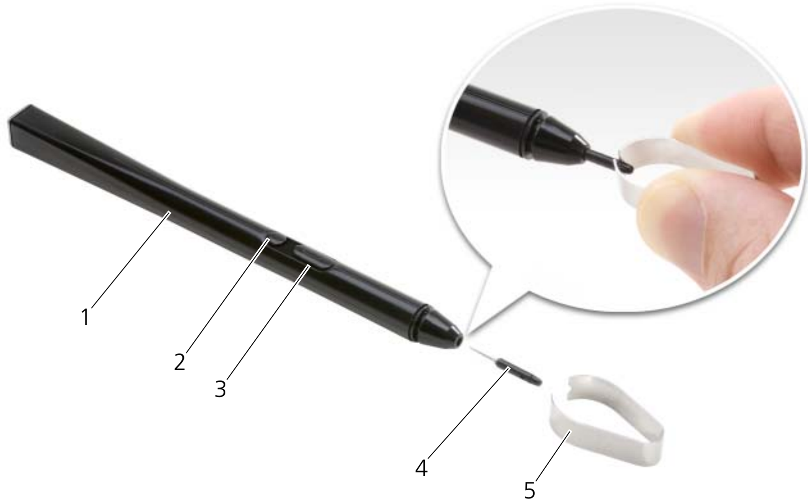


1	ペンインジケータ LED	2	ペン実装部
3	ペン		

ペン実装部からペンを取り出すと、ペンインジケータ LED が素早く点滅し、ペンが取り出されたことを示します。

Tablet PC をシャットダウンする、またはスリープモードか休止状態モードに入る際にペンが実装部に収容されていない場合、ペンインジケータ LED がゆっくり点滅してペンを実装部に取り付けるよう促します。ペンインジケータ LED の動作は、QuickSet Tablet 設定アプリケーションで有効または無効にできます（QuickSet のアクセス手順については、20 ページの「Dell QuickSet ヘルプ」を参照）。

ペン先の交換



1	ペン	2	消去ペンボタン
3	右クリックペンボタン	4	ペン先
5	ペン先取り外しツール		

お使いの Tablet PC は、2 種類のペン先（ボールペン感触のハードタイプ、フェルトペン感触のソフトタイプ）が数本付属しています。

ペン先の交換は、次の手順を実行します。

1 ペン先取り外しツールでペン先をつかみ、力を入れてペンから引き抜きます。
2 指を使って新しいペン先をペンに置き、完全に装着されるまでペン先をペンに差し込みます。

ペンの校正

ペンは、デフォルトの校正、ユーザー本人、または別のユーザーによる校正で機能できます。デルでは、ユーザー本人用に校正したペンのみを使用することをお勧めしています。ペンの校正によって、各ユーザー毎にペンのパフォーマンスを最適化できます。

ペンを校正するには、次の手順を実行してください。

1 QuickSet Tablet 設定ボタンを押し、**Control Tablet PC Settings**（Tablet PC 設定の制御）→ **Pen and Input Settings**（ペンと入力の設定）をクリックします。
2 General（一般）タブの一番下にある **Calibrate**（校正）ボタンをタップします。
3 画面に表示される指示に従ってください。画面には、ペンの校正マーカーがプラス記号（+）で表示されます。各校正マーカーの中央でペンをタップします。

メモ：必ず基本横長および基本横長の両方向での使用に合わせてペンを校正してください。

ペンをマウスと同様に使用する方法

お使いの Tablet PC では、ノートブックコンピュータでマウスまたはタッチパッドを使用するのと同じ様にペンを使用できます。ディスプレイの近くでペンを持つと、小さいカーソルが表示されます。ペンを動かすと、カーソルが移動します。

- クリックするには、1 回タップします。
- ダブルクリックするには、画面を 2 回タップします。
- メニューを開くには、メニューの名前をタップし、次にメニュー項目をタップします。
- ファイルまたはアイコンなどの項目をドラッグするには、項目をペンでタッチし、画面上の別の移動先にドラッグします。
- 右クリックする（コンテキストメニューを開くために）方法には、次の 2 つの方法があります。
  - 右クリックペンボタンを押したまま、画面をタップします。右クリックボタンを押し続けると、カーソルの周りに丸が表示されます。
  - ペンで画面をタッチし、Windows でカーソルの周りに完全な丸が表示されるまで、少しの間動かさないようにします。円が完成してからペンを放し、コンテキストメニューを表示します。円が完成する前にペンを動かしたり、放したりすると、右クリック動作はキャンセルされます。

ペンをマウス代わりに使用する練習とヘルプを提供するオンライントレーニングおよびチュートリアルを使用するには、次の手順を実行します。

- Windows Vista では、**Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Tablet PC** → **Tablet PC Pen Training**（Tablet PC ペントレーニング）をクリックし、次に **Using a pen instead of a mouse**（マウスの代わりにペンを使用する）をクリックします。
- Windows XP では、**スタート** → **Get Going with Tablet PC**（Tablet PC の使い方）をクリックしてから **スタート** をクリックします。このチュートリアルでは、ペンに関するトレーニングを行います。

ペンでのテキストの入力、編集、および消去

手書き認識ソフトウェアを使用すると、ペンを使ってアプリケーションにテキストを容易に入力できます。Windows Journal など一部のアプリケーションでは、アプリケーションウィンドウにペンで直接書き込めます。

アプリケーションがペン入力を直接サポートしてない場合は、**Tablet PC Input Panel**（Tablet PC 入力パネル）を使用してアプリケーションにテキストを入力します。編集可能領域でタップすると、Tablet PC Input Panel（Tablet PC 入力パネル）アイコンが表示されます。アイコンをタップすると、画面の端から **Input Panel**（入力パネル）が現れます。**Input Panel**（入力パネル）が非表示の場合は、画面の端にドッキングされている Input Panel（入力パネル）タブをタップして、**Input Panel**（入力パネル）を開くこともできます。

Input Panel（入力パネル）では、さまざまなモードでのテキストの入力および編集が可能です。紙に書くように文字を書いたり、一文字づつ書く、またはキーボードの画像にあるキーをペンでタップして入力したりできます。入力モードを変更するには、タスクトレイの QuickSet アイコンを右クリックし、**Pen and Input Settings**（ペンと入力の設定）→ **Input Mode**（入力モード）とクリックし、希望の入力モードを選択します。

Input Panel（入力パネル）のテキストは、削除するテキストに線を引く、ボタンをタップするなどのジェスチャを使用して編集します。

Input Panel（入力パネル）のテキストは、消去ペンボタンを使用するか、削除するテキストに線を引いて消去します。

Input Panel（入力パネル）を使用した入力と編集のヘルプおよび練習にアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows Vista では、**Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Tablet PC** → **Tablet PC Pen Training**（Tablet PC ペントレーニング）をクリックし、次に Input Panel（入力パネル）の各項目をタップします。
- Windows XP では、**スタート** → **Get Going with Tablet PC**（Tablet PC の使い方）をクリックしてから、**スタート** をクリックします。このチュートリアルでは、ペンに関するトレーニングを行います。その他のチュートリアルにアクセスするには、**Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Tablet PC**→ **Tablet PC Tutorials**（Tablet PC チュートリアル）をクリックします。

Windows Vista でのペンフリックの使い方

ペンフリックを使用すると、<Page Up> を押す、方向矢印キーを使用するなど通常キーボードを必要とする動作をペンで実行できます。ペンフリックは、素早い方向ジェスチャで、8 つのいずれかの方向に短い線を素早く描きます。ペンフリックが認識されると、Tablet PC は割り当てられた動作を実行します。

デフォルトでは、水平および垂直方向のペンフリックは、<Left-Arrow>、<Right-Arrow>、<Page Up>、および <Page Down> の各動作に対応するナビゲーション動作に割り当てられています。斜め方向のペンフリックのデフォルトの割り当ては、削除、コピー、貼り付け、および取り消しです。

ペンフリックをカスタマイズするには、**Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Mobile PC**（モバイル PC）→ **Pen and Input Devices**（ペンと入力デバイス）とクリックし、**Flicks**（フリック）タブをクリックします。ペンフリックをオフにする、ナビゲーションペンフリックのみを使用する、またはナビゲーションおよび編集ペンフリックを使用する、のいずれかを選択できます。また、8 種類のペンフリックのいずれかに新しい動作を割り当てたり、ペンフリックが認識される程度を調整したりすることもできます。

ペンフリックに関する詳細およびその使い方の練習については、**Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Tablet PC** → **Pen Flicks Training**（ペンフリックトレーニング）とクリックします。

ペンプリファランスの設定

オペレーティングシステムでさまざまなペン動作をカスタマイズすることによって、お使いの Tablet PC をより快適に使用することができます。たとえば、タップの速度が遅いためにダブルタップが認識されないことがある場合は、ゆっくりタップできるように遅い速度を設定できます。

Windows Vista では、タップの種類ごとに表示されるビジュアルフィードバックをカスタマイズしたり、ペンフリックに割り当てられる動作をカスタマイズしたりできます。

ペンのプリファランスおよびオプションにアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows Vista では、**Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Mobile PC**（モバイル PC）→ **Pen and Input Devices**（ペンと入力デバイス）をクリックします。
- Windows XP では、**スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **タブレットとペンの設定** をクリックします。

ペンのプリファランスとオプションの設定は、そのペンと Tablet PC のみに適用されます。

ポインタデバイス（マウス）のプリファランスの設定

ポインタ速度、クリック速度、ポインタ（マウス）トレイルなどポインタデバイスのプリファランスは、**Mouse Properties**（マウスのプロパティ）ウィンドウで設定します。これらのプリファランスは、システム内のすべてのポインタデバイスに適用されます。

ポインタデバイスのプリファランスにアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows Vista では、**Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Mouse**（マウス）をクリックします。
- Windows XP では、**スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **マウス** をクリックします。

タッチの使い方

お使いの Tablet PC は、ペンと指先（タッチモード）を識別できます。タッチモードを使用している場合、タッチポインタと呼ばれるコンピュータマウスの半透明の画像が、指の下に表示されます。タッチポインタには、指でタップできる左マウスボタンおよび右マウスボタンがあります。ボタンの下の領域を使用して、タッチポインタをドラッグします。

お使いの Tablet PC には、タッチを使用する際の次の 4 種類のモードのいずれかに設定できるデジタイザユーティリティが装備されています。

- ペンのみ — タッチモードは無効です。
- タッチのみ — ペン入力は無効です。
- 自動モード — ペンがディスプレイの近くにある場合、ペンがアクティブです。ペンが範囲内にない場合は、指でディスプレイをダブルタップしてタッチモードを起動します。ペンが再びディスプレイの近くに来るまで、タッチモードが有効のままとなります。
- デュアルモード — Microsoft Vista は、内蔵プログラムに基づいて、ペンモードとタッチモードを自動的に切り替えます。

Windows タスクトレイからデジタイザユーティリティにアクセスして入力モードを設定するには、Windows Vista では を右クリック、Windows XP では を右クリックして、**プロパティ** と **デジタイザのオプション** タブを順にクリックします。設定する入力モードのラジオボタンをクリックし、**Apply**（適用）をクリックします。

Windows Vista のタッチモードに関する詳細およびその使い方の練習については、**Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Tablet PC**→ **Tablet PC Touch Training**（Tablet PC タッチのトレーニング）をクリックします。

管理タスクおよびユーザー情報へのアクセス

QuickSet、コントロールパネル、ヘルプとサポート、および Windows Vista Mobility Center を使用すると、オンライン情報へのアクセス、設定のカスタマイズ、およびタスクの管理を行うことができます。

QuickSet

注意 : お使いの Tablet PC から QuickSet をアンインストールすると、タブレットボタンのドライバも削除されます。QuickSet およびタブレットボタンのドライバを再インストールするには、**support.jp.dell.com** にアクセスしてください。

QuickSet を使用すると、Tablet PC をカスタマイズするための設定とコントロールにすばやくアクセスできます。Dell QuickSet には、Windows タスクトレイの QuickSet アイコンまたは **Windows Mobility Center** からアクセスできます。

実行する操作に応じて、Windows タスクトレイの QuickSet アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックして QuickSet を起動できます。

Windows タスクトレイは、画面の右下隅にあります。

QuickSet アイコンのクリック

メモ : 次の機能は、一部のコンピュータでは利用できない場合があります。

次の操作を実行する場合は、QuickSet アイコンをクリックします。

- 内蔵ネットワークカードアダプタ アクティビティのコントロール
- 次のようなホットキーポップアップの管理
  - 画面上の 輝度メーター 表示の有効化または無効化
  - 画面上の 音量メーター 表示の有効化または無効化
  - ワイヤレスアクティビティ インジケータのオンまたはオフ
  - Tablet PC のハードウェアボタンを有効化または無効化

QuickSet アイコンのダブルクリック

QuickSet を起動して QuickSet 起動パネルへアクセスするには、QuickSet アイコンをダブルクリックします。メインメニューは、次の設定を行う 際に役立つ QuickSet 機能へのリンクを提供します。

- ネットワークの接続性
- ディスプレイ設定
- システム設定

QuickSet アイコンの右クリック

次の操作を実行する場合は、QuickSet アイコンを右クリックします。

- **Open**（開く）を選択して QuickSet を始動する
- Dell QuickSet ヘルプファイルの表示
- お使いのコンピュータにインストールされている QuickSet アプリケーションプログラムのバージョンおよび著作権の日付の表示
- Tablet PC 設定のコントロール

コントロールパネル

コントロールパネルにアクセスするには、**Start**（スタート）（Windows XP の場合は **Start**）をクリックして、**Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。コントロールパネルでは、Tablet PC を管理するためのタスクがいくつかのカテゴリに分かれています。各カテゴリをクリックすると、詳細情報が表示されます。これらのタスクをタスクアイコンとして表示するには、Windows XP では **クラシック表示に切り替える**、Windows Vista では **Classic View**（クラシック表示）をクリックします。

ヘルプとサポート

ヘルプとサポートにアクセスするには、**Start**（スタート）（Windows XP の場合は **スタート**）をクリックして、**Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。ヘルプとサポートは、Tablet PC の管理方法を理解できる情報を提供します。

Windows Vista Mobility Center

Windows Mobility Center には複数のパネルがあり、コンピュータの設定を実行できます。デル用にカスタマイズされたパネルが追加されています。

Windows Mobility Center には、次のいずれかの方法でアクセスできます。

- Windows タスクトレイの QuickSet アイコンをダブルクリックし、**Mobility Center** をクリックします。
- **Start**（スタート）ボタンをクリックして、**Mobility Center** をポイントします。
- **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Accessories**（アクセサリ）をクリックし、**Mobility Center** をポイントします。
- Windows タスクトレイのバッテリアイコンを右クリックし、**Mobility Center** をポイントします。
- **Control Panel**（コントロールパネル）の **Mobility Center** アイコンをダブルクリックします。

Mobility Center から、QuickSet カテゴリにアクセスすることができます。**Customized by Dell Inc.** の **Networking**（ネットワーク）、**Display Settings**（表示設定）、または **System Configuration**（システム設定）などのタイトルをクリックすると、それに対応するカテゴリが開き、QuickSet アプリケーションが起動します。

バッテリの使い方

警告 : 適切でないバッテリを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリは、お使いの Dell Tablet PC で動作するように設計されています。お使いの Tablet PC に他の Tablet PC のバッテリは使用しないでください。

警告 : バッテリを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（個人のお客様：044-556-4298、企業のお客様：044-556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリの廃棄」を参照してください。

警告 : バッテリの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 ℃ を超える場所に置いたりしないでください。バッテリはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリ、または漏れているバッテリの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリの性能

メモ : お使いの Tablet PC のデルの保証情報については、『サービス & サポートのご案内』を参照してください。

Tablet PC を最適な性能で使用し、BIOS の設定を維持するため、Dell™ Tablet PC は常にメインバッテリを搭載した状態でお使いください。バッテリベイにはバッテリが 1 つ、標準で搭載されています。

メモ : バッテリはフル充電されていない場合がありますので、Tablet PC をはじめて使用するときは、AC アダプタを使って新しい Tablet PC をコンセントに接続してください。充分な駆動時間を得るには、バッテリがフル充電されるまで、AC アダプタを使って Tablet PC を動作させます。バッテリ充電量のステータスを表示するには、電源オプションの電源メーターをチェックします（77 ページの「電源オプションプロパティへのアクセス」を参照）。

バッテリの動作時間は、使用状況によって異なります。オプションのバッテリスライス（209 ページの「バッテリスライス（オプション）」を参照）を使用して、駆動時間を大幅に延長することができます。

メモ : バッテリ駆動時間（バッテリが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、Tablet PC の寿命がある間でも新しくバッテリを購入する必要がある場合もあります。

メモ：CD または DVD に書き込みをする際は、Tablet PC をコンセントに接続することをお勧めします。

次のような場合、バッテリの持続時間は著しく短くなりますが、他の方法でも短くなる場合もあります。

- 光学ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアメモリカード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- 最大パフォーマンスモードで Tablet PC を実行している場合。Windows 電源オプションのプロパティまたは Dell QuickSet にアクセスする方法に関しては、76 ページの「電源管理の設定」を参照してください。これらの機能を使用して電源管理を設定できます。

バッテリを Tablet PC に挿入する前に、バッテリ充電量を確認できます。バッテリの充電量が少なくなると警告を発するように、電源管理のオプションを設定することもできます。

バッテリの充電チェック

次の機能は充電量に関する情報を提供します。

- Dell QuickSet バッテリメーター
- Microsoft Windows **Power Meter**（電源メーター）ウィンドウと **Power**（電源）アイコン（Windows Vista は 、Windows XP は ）
- バッテリ充電ゲージおよび機能ゲージ
- バッテリの低下を知らせる警告

Dell™ QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合は、<Fn><F3> を同時に押して QuickSet バッテリメーターを表示します。バッテリメーターには、お使いの Tablet PC のバッテリのステータス、性能、充電レベル、および充電完了時間が表示されます。

QuickSet の詳細については、Windows タスクトレイの Windows QuickSet アイコンを右クリックし、次に **Help**（ヘルプ）をクリックします。

電源メーター

電源メーターは、バッテリの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクトレイの **Power**（電源）アイコン（Windows Vista は 、Windows XP は ）にカーソルを合わせて、**Power**（電源）アイコンのポップアップを表示します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合は、**Power**（電源）アイコンのポップアップに（plugged in charging（充電中））というメッセージが表示されます。

充電ゲージ

バッテリの充電ゲージにあるステータスボタンを一度押すかまたは押し続けると、次のことが確認できます。

- バッテリの充電量（ステータスボタンを短く押して確認します）
- バッテリ性能（ステータスボタンを押し続けて確認します）

バッテリの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリの充電機能またはバッテリ性能は次第に低下します。つまり、バッテリに「充電済み」のステータスが表示されても、充電容量（性能）は低下したままの場合があります。

バッテリの充電チェック

バッテリの充電量をチェックするには、充電ゲージにあるステータスボタンを短く押すと、充電レベルライトが点灯します。各々のライトはバッテリの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリの充電残量が 80 % なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリの充電残量が残っていないことになります。

バッテリ性能のチェック

メモ：バッテリ性能は 下記に示すように、バッテリの充電ゲージを使用するか、Dell QuickSet のバッテリメーターを使用してチェックすることができます。QuickSet の詳細については、Windows タスクトレイの QuickSet アイコンを右クリックし、次に **Help**（ヘルプ）をクリックします。

充電ゲージを使用してバッテリ性能をチェックするには、バッテリ充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押し続けます。どのライトも点灯しない場合、バッテリの機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリの充電容量は 60 % 以下になっていますので、バッテリを交換することをお勧めします。

バッテリの低下を知らせる警告

注意：データの損失またはデータの破損を防ぐため、バッテリの低下を知らせる警告音が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、Tablet PC をコンセントに接続するか、Tablet PC をオプションのバッテリスライスにドッキングします。バッテリの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

ポップアップウィンドウの警告は、バッテリの充電残量の約 90 % を消費した時点で発せられます。メインバッテリとバッテリスライスの両方を取り付けている場合は、バッテリの低下を知らせる警告は、両方のバッテリを合わせた充電残量が 90 % 消費されたことを意味します。バッテリの残量が非常に少なくなると、Tablet PC は自動的に休止状態モードに入ります。

バッテリアラームの設定は、QuickSet または **Power Options Properties**（電源オプションのプロパティ）ウィンドウで変更できます。QuickSet または **Power Options Properties**（電源オプションのプロパティ）ウィンドウへのアクセス方法に関しては、76 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

バッテリ電源の節約

バッテリ電源を節約するには次の手順を実行してください。

- バッテリの寿命は、使用および充電される回数によって大きく異なってきますので、Tablet PC はできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間 Tablet PC から離れるときは、Tablet PC をスリープモードまたは休止状態モードにしてください。74 ページの「省電力モード」を参照してください。
- 電力の管理ウィザードまたは **Power Options Properties**（電源オプションのプロパティ）ウィンドウを使用して、お使いのコンピュータの電力使用状況を最適にするオプションを選択します。電源ボタンを押してディスプレイを閉じるか、または <Fn><Esc> を押すと、これらのオプションの設定を変更することができます。

メモ : バッテリ電力を節約する方法に関しては、76 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

省電力モード

Windows Vista のスリープモード

スリープモードは、あらかじめ設定した一定の時間に操作がないと（タイムアウト）、ディスプレイとハードディスクドライブの電源を切ることで節電します。Tablet PC はスリープモードを終了すると、スリープモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意 : スリープモードのときに AC 電源が切れたりバッテリを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

Windows Vista でスリープモードに入るには、**Start**（スタート） をクリックし、鍵アイコンの隣に表示される直角三角形の上にマウスを移動して **Power Options Properties**（電源オプションのプロパティ）ウィンドウを開き、**Sleep**（スリープ）をクリックします。

Power Options Properties（電源オプションのプロパティ）ウィンドウまたは QuickSet 電源の管理ウィザードで電源の管理オプションをどのように設定しているかによって、次のいずれかの方法も使用できます。

- 電源ボタンを押す
- ディスプレイを閉じる
- <Fn><Esc> を押す

スリープモードから通常の動作状態に戻るには、電源の管理オプションの設定に応じて電源ボタンを押すか、ディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドやトラックスティックに触れても Tablet PC はスリープモードから復帰しません。

休止モード

休止状態モードでは、システム情報をハードディスクドライブの予約領域にコピーしてから、Tablet PC の電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、Tablet PC は休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意 : お使いの Tablet PC が休止状態モードに入っている場合、Tablet PC からデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。

バッテリの充電レベルが極端に低くなった場合、Tablet PC は休止状態モードに入ります。

Windows Vista で手動で休止状態モードに入る

Start（スタート）をクリックし、鍵アイコンの隣に表示される直角三角形の上にマウスを移動して **Power Options Properties**（電源オプションのプロパティ）ウィンドウを開き、**Hibernate**（休止状態）をクリックします。

メモ : Windows Vista では、お使いの Tablet PC で **Hybrid Sleep**（ハイブリッドスリープ）が有効になっている場合、**Hibernate**（休止状態）は表示されません。

Windows XP で手動で休止状態モードに入る

Windows XP で手動で休止状態モードに入るには、休止状態モードを有効にする必要があります。

休止状態モードを有効にするには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **電源オプション** をクリックします。
2 **休止状態** タブをクリックします。
3 **休止状態を有効にする** を選択します。
4 **適用** と **OK** を順にクリックします。

休止状態モードに入るには、次の手順を実行します。

1 <Ctrl> キーと <Alt> キーを押しながら、<Del> キーを押します。
2 **シャットダウン** → **休止状態** を選択します。

休止状態モードに入るその他の方法

電源管理オプションの設定によって、次のいずれかの方法で休止状態モードに入ることもできます。

- 電源ボタンを押す
- ディスプレイを閉じる
- <Fn><Esc> を押す

メモ : ExpressCard によっては、Tablet PC が休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを取り外して取り付けなおすか（88 ページの「ExpressCard の取り外し」を参照）、Tablet PC を再スタート（再起動）してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻る

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。Tablet PC が通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドやトラックスティックに触れても Tablet PC は休止状態から復帰しません。休止状態モードの詳細については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源管理の設定

QuickSet 電力の管理ウィザードまたは Windows 電源オプションのプロパティを使用して、お使いの Tablet PC の電力管理の設定を行うことができます。QuickSet の詳細については、Windows タスクトレイの Windows QuickSet アイコンを右クリックし、次に **Help**（ヘルプ）をクリックします。

電源オプションプロパティへのアクセス

- タスクトレイの Windows **Power**（電源） アイコンをクリックして、**Power**（電源）アイコンのポップアップウィンドウを表示します。
- **Select a Power Plan**（電源プランの選択）セクションで次のいずれかを選択します。
  - **Dell Recommended**（デル推奨）
  - **Power Saver**（省電力）
  - **High Performance**（高パフォーマンス）
  - Any custom power plan you have created（お客様が任意に作成したカスタム電源プラン）
- その他の電源オプションにアクセスするには、ポップアップの一番下の **More Power Options**（その他の電源オプション）をクリックします。

メインバッテリの充電

Tablet PC をコンセントに接続したり、コンセントに接続されている Tablet PC にバッテリを取り付けたりすると、Tablet PC はバッテリの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリを充電し、その充電量を保持します。

メモ： Dell™ ExpressCharge™ を使用して、完全に切れてしまったバッテリを充電するには、Tablet PC の電源が切れている場合で 80 % の充電に約 1 時間、100 % の充電に約 2 時間かかります。Tablet PC の電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリを充電したまま、Tablet PC をそのままにしておいても問題ありません。バッテリの内部回路によって過剰充電が防止されます。

バッテリが Tablet PC の使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、Tablet PC をコンセントに接続してもバッテリが充電されない場合があります。

のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合、バッテリが高温すぎて充電が開始できない状態です。Tablet PC をコンセントから抜き、Tablet PC とバッテリを室温に戻します。次に、Tablet PC をコンセントに接続し、充電を続行します。

バッテリの問題の解決については、129 ページの「電源の問題」を参照してください。

メインバッテリの取り外し

警告：適切でないバッテリを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリは、お使いの Dell™ Tablet PC で動作するように設計されています。お使いの Tablet PC に他の Tablet PC またはコンピュータのバッテリは使用しないでください。

警告 : 以下の手順を行う前に、Tablet PC の電源を切り、コンセントおよび Tablet PC から AC アダプタを外し、すべてのモデムを壁のコネクタと Tablet PC から外し、その他すべての外付けケーブルを Tablet PC から取り外します。

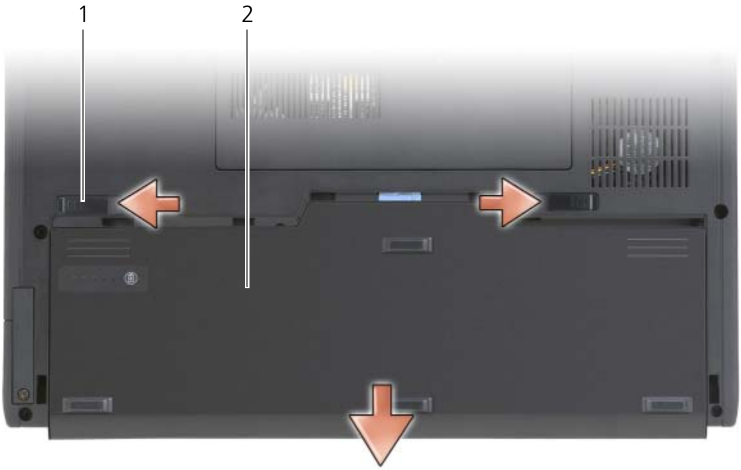
注意 : コネクタの損傷を防ぐため、すべての外付けケーブルを Tablet PC から取り外してください。

バッテリを取り外すには次の手順を実行します。

1 Tablet PC がオプションのメディアベース、バッテリスライスなどのドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。205 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースからのドッキング解除」または 213 ページの「お使いの Tablet PC のバッテリスライスからのドッキング解除」を参照してください。

2 Tablet PC の電源が切れている、または Tablet PC が省電力モードでサスペンドされていることを確認します。

3 Tablet PC の底面にあるバッテリベイリリースラッチをスライドさせて、バッテリをベイから取り外します。



1　バッテリリリースラッチ（2）　2　バッテリ

メインバッテリの取り付け

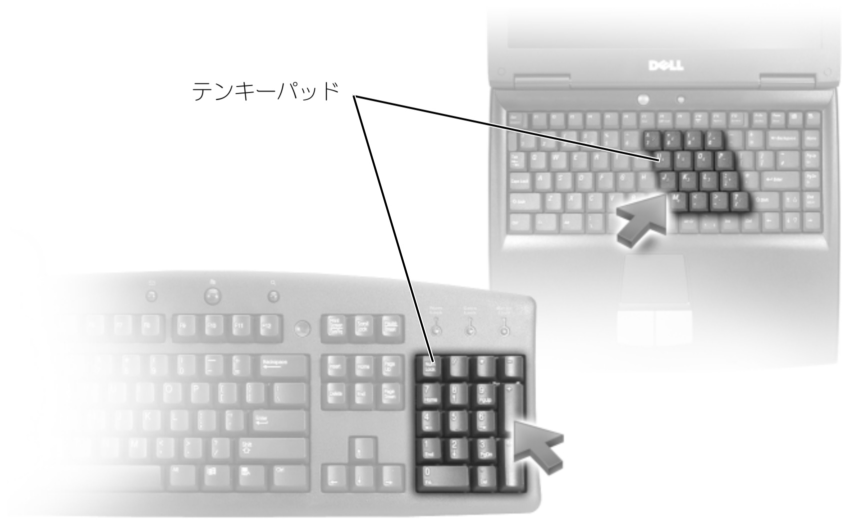
1 Tablet PC がオプションのメディアベース、バッテリスライスなどのドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。205 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースからのドッキング解除」または 213 ページの「お使いの Tablet PC のバッテリスライスからのドッキング解除」を参照してください。
2 Tablet PC を裏返します。
3 バッテリとバッテリベイの側面の位置を合わせ、バッテリをベイに差し込み、2 つのリリースラッチがはまったことを確認します。

バッテリの保管

長期間 Tablet PC を保管する場合は、バッテリを取り外してください。バッテリは、長期間保管していると放電してしまいます。長期保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリを再充電して（77 ページの「メインバッテリの充電」を参照）からお使いください。

キーボードの使い方

テンキーパッド



テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーには、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、<Fn> を押しながら必要なキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、Windows Vista では <Num Lk>、Windows XP では <Fn><Num Lk> を押します。
- キーパッドを無効にするには、<Num Lk> または <Fn><Num Lk> を再び押します。

キーの組み合わせ

システム関連

<Ctrl><Shift><Esc>	**Task Manager**（タスクマネージャ）ウィンドウを開きます。

バッテリ

<Fn><F3>	Dell™ QuickSet バッテリメーターを表示します。

ディスプレイ関連

<Fn><F8>	画面モードの表示を次の画面オプションに切り替えます。このオプションには、内蔵ディスプレイ、外付けモニタ、内蔵ディスプレイと外付けモニタの両方が含まれています。
<Fn><F7>	ワイド画面と標準の 2 種類の縦横比でビデオ解像度を切り替えます。
<Fn> と左矢印キー	環境照明センサーを有効にします。環境照明センサーは、現在の環境下での光源レベルに基づいて、ディスプレイの輝度を制御します。
<Fn> キーと上矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニタには適用されません）。
<Fn> キーと下矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニタには適用されません）。

電源管理

<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。**Power Options Properties**（電源オプションのプロパティ）ウィンドウの **Advanced**（詳細設定）タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。
<Fn><F1>	Tablet PC を休止状態モードにします。Dell QuickSet が必要です（69 ページの「QuickSet」を参照）。

スピーカー関連

<Fn><Insert>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を上げます。
<Fn><End>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を下げます。
<Fn><Delete>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）を有効または無効にします。

Microsoft® Windows® ロゴキー関連

メモ： 次のキー操作の一部は、Windows Vista にのみ適用されます。

Windows ロゴキーと <TAB>	Windows フリップ 3-D を使用して、Windows タスクトレイ上の各プログラムを順に切り替えます（Aero™ インタフェースを使用している場合のみ）。
<Ctrl> と Windows ロゴキーと <TAB>	矢印キーで、Windows フリップ 3-D を使用して、Windows タスクトレイ上の各プログラムを順に切り替えます（Aero™ インタフェースを使用している場合のみ）。
Windows ロゴキーとスペースバー	ガジェットをすべて手前に移動し、Windows サイドバーを選択します（Windows サイドバーを使用している場合）。
Windows ロゴキーと <g>	Windows サイドバーの各ガジェットを順に切り替えます（Windows サイドバーを使用している場合）。
Windows ロゴキーと <u>	**Ease of Access Center**（簡単操作センター）を開きます。
Windows ロゴキーと <x>	**Windows Mobility Center** を開きます。

Windows ロゴキーと任意の数字キー	数字に対応する位置にある **Quick Launch**（クイック起動）ショートカットを開きます。例えば、Windows ロゴキーと <1> を押すと、**Quick Launch**（クイック起動）メニューの最初のショートカットが起動します。
Windows ロゴキーと <m>	現在開いているすべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows ロゴキーと <m> のキーの組み合わせを使用した後で、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして作動します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラを開きます。
Windows ロゴキーと <r>	**Run**（ファイルを指定して実行）ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <f>	**Search Results**（検索結果）ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	**Search Results-Computer**（検索結果 - コンピュータ）ダイアログボックスを開きます（Tablet PC がネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキーと <Fn><F12>	**System Properties**（システムのプロパティ）ダイアログボックスを開きます。

文字の反復率などのキーボード動作を調整するには、次の手順を実行します。

- Windows Vista では、**Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）をクリックし、**Keyboard**（キーボード）をクリックするか、**Keyboard**（キーボード）リンクの下にある 2 つのオプションのいずれかをクリックします。
- Windows XP では、**コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **キーボード** をクリックします。

コントロールパネルの詳細については、Windows ヘルプとサポートを参照してください。ヘルプとサポートにアクセスするには、**Start**（スタート）（Windows XP の場合は **スタート**）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



1　タッチパッド　2　タッチパッドボタン

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドさせます。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッドを 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

トラックスティックを使ってカーソルを移動することもできます。トラックスティックを上下左右に押して、ディスプレイ上のカーソルの向きを変更します。マウスの機能と同じように、トラックスティックとトラックスティックボタンを使用します。

タッチパッドおよびトラックスティックまたはポインタのカスタマイズ

コントロールパネルのマウスオプションを使用して、マウスとトラックスティック（Windows Vista）またはポインタ（Windows XP）の設定を調整できます。

- Windows Vista では、**Control Panel**（コントロールパネル）→ **Mouse**（マウス）をクリックします。
- Windows XP では、**コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **マウス** をクリックします。

トラックスティックまたはポインタのキャップの交換

トラックスティックまたはポインタのキャップを長期に使用して磨耗した場合またはキャップを違う色にしたい場合には、取り替えることができます。



1. トラックスティックからキャップを取り外します。
2. 新しいキャップを四角いトラックスティック軸に合わせ、慎重に軸にかぶせます。

注意 : トラックスティックキャップが適切に支柱に装着されていない場合、ディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

3. トラックスティックを動かして、キャップが正しく装着されているかを確認してください。

ディスプレイの使い方

お使いの Tablet PC には、次の 2 種類のディスプレイオプションがあります。

- LED バックライト薄型軽量 LCD（室内での利用に最適）
- デュアルバルブ（CCFL）LCD（屋外での利用に最適）

選択したディスプレイオプションに応じて、ディスプレイの輝度の調整方法は異なります。

LED バックライト薄型軽量 LCD での輝度の調整

LED バックライト薄型軽量 LCD ディスプレイが装備されている Dell Tablet PC をバッテリ電源で動作している場合、キーボードの <Fn> と上矢印または下矢印を押して、ディスプレイの輝度を最低限の見やすい設定にすると、電力を節約できます。

メモ：輝度のキーの組み合わせは、お使いの Tablet PC のディスプレイにのみ設定され、Tablet PC またはドッキングデバイス本体に接続された外付けモニタまたはプロジェクタには影響ありません。お使いの Tablet PC に外付けモニタが接続されている場合に、輝度レベルを変更しようとすると、輝度メーターは表示されますが、外付けデバイスの輝度レベルは変更されません。

次のキーを押すと、ディスプレイの輝度を調節できます。

- <Fn> と上矢印キーを同時に押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニタは該当しません）、輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニタは該当しません）の輝度が下がります。

メモ：お使いのオペレーティングシステムのディスプレイのデフォルトが特定の値に設定されている場合、スリープモード、スタンバイモード、または休止状態モードを使用した後でご自身の設定の再設定が必要なこともあります。

デュアルバルブ（CCFL）LCD での輝度の調整

デュアルバルブ LCD には内蔵環境照明センサーが装備されています（27 ページの「正面図」を参照）。



1　環境照明センサー

環境照明センサーは、Tablet PC ディスプレイの前面に設置されています。このセンサーは、利用可能な環境照明を検知し、ディスプレイの背面ライトを自動的に増減して、環境照明の高低を補正します。

<Fn> と左矢印キーを同時に押すと、環境照明センサーの機能を有効または無効にすることができます。

メモ：環境照明センサーの上に粘着性のラベルを貼らないでください。環境照明センサーを覆ってしまうと、（有効な場合）センサーは自動的にディスプレイの輝度を最小レベルに設定します。

Tablet PC の納品時には、環境照明センサー機能は無効になっています。センサーを有効にしてから、ディスプレイの輝度を調整するキーの組み合わせを使用した場合、センサーは無効になり、ディスプレイの輝度はキーの組み合わせに応じて増減されます。

Dell QuickSet を使用して、環境照明センサー機能を有効または無効にすることができます。QuickSet では、環境照明センサー機能が有効な場合、アクティブになっている最大輝度および最小輝度の設定も調整できます。QuickSet の詳細については、Windows タスクトレイの Windows QuickSet アイコンを右クリックし、次に **Help**（ヘルプ）をクリックします。

メモ：Tablet PC を再起動すると、環境照明センサーは調整前の設定に戻ります。

メモ：環境照明センサーは、お使いの Tablet PC のディスプレイのバックライトのみを調節します。外付けのモニタまたはプロジェクタの輝度は制御しません。

カードの使い方

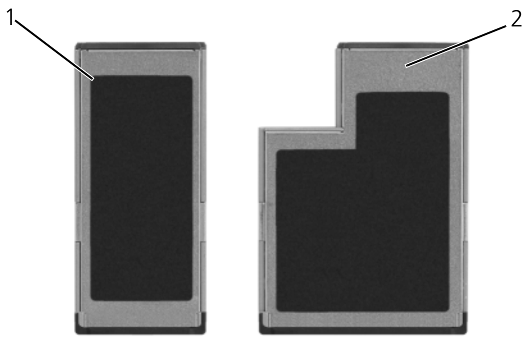
ExpressCard

ExpressCard は追加のメモリ、有線およびワイヤレス通信、マルチメディアとセキュリティ機能を提供します。ExpressCard は 2 種類の形状をサポートしています。

- ExpressCard/34（34 mm 幅）
- ExpressCard/54（34 mm コネクタ付属の L 字型で 54 mm 幅）

34 mm カードは、34 mm と 54 mm の両方のカードスロットに適用しています。54 mm カードは、54 mm カードスロットのみに適用しています。

メモ : ExpressCard は、起動可能なデバイスではありません。



1　ExpressCard/34　2　ExpressCard/54

ExpressCard の取り付け

Tablet PC の動作中に、ExpressCard カードを取り付けることができます。Tablet PC は自動的にカードを検出します。

ExpressCard は、通常、カード上面にスロットへの挿入方向を示す記号（三角形や矢印など）またはラベルが示されています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

ExpressCard を取り付けるには、以下の手順を実行します。

1 カードの表を上にして持ちます。
2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



設定プログラムで製造元のドライバをロードするように表示されたら、ExpressCard に付属のメディアを使用します。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、ExpressCard 付属の CD を使用します。

ExpressCard の取り外し

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

カードを取り出すには、カードをスロットに押し込みます。



スマートカード

メモ：ExpressCard スロットに取り付けるオプションのスマートカードリーダーも購入した場合に限り、Tablet PC でスマートカードを使用することができます。

スマートカードについて

スマートカードは集積回路が内蔵された、持ち運びのできる、クレジットカードと同じ形のデバイスです。スマートカードの表の面には通常、金製の導体パッドの下に内蔵プロセッサが搭載されています。スマートカードは小型で集積回路が内蔵されていますので、安全性、データストレージ、および特殊なプログラム用の便利なツールとして利用できます。スマートカードを使って、ユーザーが持っているもの（スマートカード）とユーザーが知っているもの（暗証番号）を組み合わせて、パスワードだけの場合よりも確実なユーザー認証を提供し、システムの安全性を向上することができます。

Tablet PC のセキュリティ保護については、107 ページの「Tablet PC のセキュリティ保護」を参照してください。

スマートカードの取り付け

スマートカードは、Tablet PC の実行中に取り付けることができます。Tablet PC は自動的にカードを検出します。

スマートカードを取り付けるには、次の手順を実行します。

メモ：ExpressCard スロットに取り付けるオプションのスマートカードリーダーも購入した場合に限り、Tablet PC でスマートカードを使用することができます。

1 スマートカードを金製の導体パッドが上を向き、スマートカードリーダーのスロットに向くように持ちます。



1	金製の導体パッド	2	スマートカード（上部）

2 スマートカードがコネクタに完全に装着されるまで、カードをスマートカードスロットに差し込みます。スマートカードはスロットから約 1.5 cm 突き出ます。

カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。

SD カード

SD カードは、デジタルカメラ、ハンドヘルドコンピュータ、PDA、GPS ユニットなどで使用されるストレージメディアです。

SD カードの取り付け

1 SD カードを金製の導体パッドが上を向き、SD カードスロットに向くように持ちます。SD カードスロットは、ExprssCard スロットの上にあります。

2 SD カードがコネクタに完全に装着されるまで、カードを SD カードスロットに差し込みます。SD カードはスロットから約 1.5 cm 突き出ます。

カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



4

プロジェクタでの Tablet PC の使い方

Tablet PC ディスプレイをノートブックまたはタブレットポジションで使用して、ディスプレイの向きを縦長または横長に設定できます。Tablet PC ディスプレイのポジションおよび向きは、Tablet PC からの画像がプロジェクタによりどのように表示されるかに影響を与えます。ディスプレイのポジションと向きのほか、Tablet PC クローンおよび拡張デスクトップモードを使用して、投影される画像を調整できます。

ディスプレイポジション

お使いの Tablet PC ディスプレイでは、クラシックノートブックおよびタブレットの 2 つのポジションを使用できます。

クラシックノートブック

クラシックノートブックは、ディスプレイがキーボードとタッチパッドの上に置かれる標準のポジションです。このポジションでは、ディスプレイの向きは横長で、キーボードおよびタッチパッドは、入力デバイスとして使用します。

タブレット

Tablet PC をタブレットポジションで使用するには、ディスプレイを持ち上げ、180 度回転させます。次に、ディスプレイを上に向けて、キーボード上にディスプレイを折りたたみます。このポジションでは、タッチまたはデジタイザペンのいずれかを入力デバイスとして使用します。つまり、指またはデジタイザペンのいずれかで画面にタッチします。

タブレットポジションでは、ディスプレイ画像の向きは縦長です。画面回転ボタンを使用すると、ディスプレイ画像の向きを横長と縦長で切り替えることができます。画面回転ボタンの詳細については、61 ページの「タブレットボタンの使い方」を参照してください。

メモ : Tablet PC ディスプレイの向きが縦長で、クローンモードを使用している場合、プロジェクタは横向きに回転した画像を表示し、画像は正しく表示されません。画像を正しく表示するには、Screen Rotate（画像回転）ボタンを使用して Tablet PC ディスプレイの向きを横長に変更するか、プロジェクタのメニューオプションまたはその他の機能を使用して、表示される画像を回転させます。画面回転ボタンの詳細については、61 ページの「タブレットボタンの使い方」を参照してください。

ディスプレイモード

Tablet PC には、プロジェクタにより表示される画像を調整するためのクローンおよび拡張デスクトップモードがあります。

クローンモード（ミラー化）

クローンモードでは、プロジェクタは、Tablet PC ディスプレイの画像を正確に表示できます。また、クローンモードでは、マウスカーソルの移動、およびデジタイザペンによる手書きや描画も表示されます。クローンモードは、マウスカーソルをポインティングデバイスとして使用する場合、または Tablet PC で発生しているユーザーアクティビティをプロジェクタで表示する場合に便利です。

メモ : Tablet PC をプロジェクタに接続している場合、Microsoft Windows オペレーティングシステムにより、デフォルトの表示設定を指定するかどうか尋ねられます。クローンモードを有効にするには、**Duplicate my desktop on all displays（mirrored）**（デスクトップをすべてのディスプレイに複製する（ミラー化））を選択します。Tablet PC ディスプレイ画像をプロジェクタに送信するには、<Fn><F8> キーの組み合わせを使用します。デフォルトの表示設定は後で変更できます。

クローンモードで縦長または横長の向きを使用する場合の注意事項

クローンモードでは、Tablet PC の画像がそのまま表示されるので、横長または縦長の向きを使用すると、プロジェクタにより表示される画像に影響を与えます。

横長は、クローンモードにおける通常の向きで、画像はプロジェクタにより正常に表示されます。

Tablet PC ディスプレイがタブレットポジションで、クローンモードで縦長の向きを使用している場合、プロジェクタは、横向きに回転した画像を表示し、画像は正しく表示されません。画像を正しく投影するには、次の操作を実行します。

- Screen Rotate（画像回転）ボタンを使用して、Tablet PC ディスプレイの向きを横長に変更します。画面回転ボタンの詳細については、61 ページの「タブレットボタンの使い方」を参照してください。
- プロジェクタのメニューオプションまたはその他の機能を使用して、投影される画像を回転させます。

クローンモードでの画面解像度およびアスペクト比に関する注意事項

プロジェクタの画面解像度およびアスペクト比が Tablet PC ディスプレイより低い場合、Tablet PC グラフィックスサブシステムは、最も低い画面解像度およびアスペクト比を使用します。画面解像度およびアスペクト比が低くなることで、画質が変わります。

例えば、Tablet PC の画面解像度が 1280 x 800 ピクセル、アスペクト比 が 16:10 で、プロジェクタの画面解像度が 1024 x 768 ピクセル、アスペクト比が 4:3 の場合、次のことに注意してください。

- 投影される画像は、画面解像度が 1280 x 800 の場合ほどシャープになりません。これは、特に、テキストを読み取るときに顕著になります。
- 丸いオブジェクトが平らになります。これは、アスペクト比が 16:10 から 4:3 に変わったためです。

拡張デスクトップモード

拡張デスクトップモードでは、それぞれに独自の属性を持った 2 つのディスプレイを構成できます。解像度が 1280 x 800 で、縦長のタブレットモードで Tablet PC ディスプレイを使用し、プロジェクタがこれより低い解像度とアスペクト比で標準の横長の向きを使用できます。

拡張デスクトップモードを使用する場合、アプリケーションを Tablet PC で起動し、表示するアプリケーションをプロジェクタから拡張デスクトップに「ドラッグ」できます。拡張デスクトップモードは、ユーザーアクティビティをプロジェクタには表示せずに、Tablet PC 上に保持する場合に便利です。

メモ : Tablet PC をプロジェクタに接続している場合、Windows オペレーティングシステムにより、デフォルトの表示設定を指定するかどうか尋ねられます。拡張デスクトップモードを有効にするには、**Show different parts of my desktop on each display（extended）**（デスクトップの異なる部分を各ディスプレイに表示する（拡張））を選択します。Tablet PC ディスプレイ画像をプロジェクタに送信するには、<Fn><F8> キーの組み合わせを使用します。次に、投影するアプリケーションを Tablet PC から拡張デスクトップ（プロジェクタ）に「ドラッグ」できます。デフォルトの表示設定は後で変更できます。

プロジェクタの表示設定の変更

デフォルトの表示設定を変更するには、次の手順を実行します。

1 ATI CATALYST® Control Center を開きます。
   - Windows® Vista® の場合、デスクトップを右クリックして **ATI CATALYST® Control Center** を選択します。
   - Windows XP の場合、**スタート** → **すべてのプログラム** → **Catalyst Control Center**→ **Advanced**（詳細設定）→ **Catalyst Control Center - 詳細設定** と選択します。

2 **Graphics Settings**（グラフィックス設定）で **Displays Manger**（ディスプレイマネージャ）を選択します。

   プロジェクタは、**Desktop and Display Setup**（デスクトップおよびディスプレイ設定）の右側のペインにアイコンとして表示されます。

3 このプロジェクタアイコンを右クリックして、クローンモードの場合は **Clone Desktop 1 with monitor**（デスクトップ 1 のクローンをモニタに作成する）を選択し、拡張デスクトップモードの場合は **Extend Main onto monitor**（メインをモニタに拡張する）を選択します。

後でこれらの設定にアクセスするには、<Fn><F8> キーの組み合わせを使用します。

5

ネットワークのセットアップと使い方

コンピュータネットワークを設定すると、お使いの Tablet PC をインターネット、他のコンピュータ、またはネットワークへ接続できます。例えば、家庭または小規模オフィスで設定されたネットワークを通して共有プリンタへのプリンタ出力、他のコンピュータのドライブやファイルへのアクセス、他のネットワークの検索、またはインターネットへのアクセスなどができます。ネットワークケーブルまたはブロードバンドモデムケーブルを使用して、ローカルエリアネットワーク（LAN）またはワイヤレス LAN（WLAN）を設定することができます。

Microsoft Windows では、コンピュータをネットワークに接続する手順を示すウィザードが用意されています。ネットワークの詳細については、19 ページの「Windows ヘルプとサポート」を参照してください。

ネットワークまたはブロードバンドモデムの接続

Tablet PC をネットワークに接続する前に、お使いの Tablet PC にネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

1 ネットワークケーブルを Tablet PC 背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

メモ：ケーブルコネクタをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルがしっかり取り付けられていることを確認します。

2 ネットワークケーブルのもう一方の端を、ネットワーク接続デバイスまたは壁のネットワークコネクタに接続します。

メモ：ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。



ネットワークセットアップウィザード

Windows Vista

1 **Start**（スタート）  をクリックし、次に **Connect To**（接続先）→ **Set up a connection or network**（接続またはネットワークの設定）をクリックします。

2 **Choose a connection option**（接続オプションの選択）でオプションを選択します。

3 **Next**（次へ）をクリックし、ウィザードの手順に従います。

Windows XP

1 **スタート**、**コントロールパネル** とクリックします。

2 **ネットワークとインターネット接続** をクリックします。

3 ネットワークセットアップタスクを選択して、ウィザードの指示に従います。

ワイヤレス LAN

ワイヤレス LAN は、各コンピュータに接続するネットワークケーブルを使用するのではなく、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータです。ワイヤレス LAN では、アクセスポイントまたはワイヤレスルーターと呼ばれる無線通信デバイスがネットワークコンピュータ間を接続し、インターネットやネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターと、コンピュータまたは Tablet PC 内のワイヤレスネットワークアダプタは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

ワイヤレス LAN 接続に必要なもの

ワイヤレス LAN をセットアップするには、次のものが必要です。

- 高速（ブロードバンド）インターネットアクセス（ケーブルまたは DSL など）
- 接続済みで作動中のブロードバンドモデム
- ワイヤレスルーターまたはアクセスポイント
- ワイヤレス LAN に接続する各コンピュータまたは Tablet PC で使用するワイヤレスネットワークアダプタ
- ネットワーク（RJ-45）コネクタ付きネットワークケーブル

お使いのワイヤレスネットワークアダプタの確認

Tablet PC の構成は、Tablet PC 購入時の選択に応じて異なります。お使いの Tablet PC にワイヤレスネットワークアダプタがあるかどうかを確認し、カードのタイプを調べるには、次のいずれかを使用します。

- Windows **スタート** ボタン（Windows Vista の場合 ）および **Connect To**（接続）オプション
- お使いの Tablet PC の注文確認書

スタートボタンと接続オプション

お使いのワイヤレスネットワークアダプタを表示するには、次の手順を実行します。

- Windows Vista の場合、**Start**（スタート） → **Connect To**（接続）→ **View network computers and devices**（ネットワークコンピュータとデバイスの表示）とクリックします。
- Windows XP の場合、**スタート** → **接続** → **ワイヤレスネットワーク接続** とクリックします。

ワイヤレスネットワーク接続が表示されない場合、Tablet PC にワイヤレスネットワークアダプタが取り付けられていない可能性があります。

ワイヤレスネットワーク接続が表示されていれば、ワイヤレスネットワークアダプタが取り付けられています。ワイヤレスネットワークアダプタの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1 **ワイヤレスネットワーク接続** を右クリックします。

2 **プロパティ** をクリックします。

   ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ ウィンドウが表示されます。ワイヤレスネットワークアダプタの名前とモデル番号が **一般** タブに表示されます。

お使いの Tablet PC の注文確認書

Tablet PC を注文したときに受け取られた注文確認書には、Tablet PC に付属のハードウェアとソフトウェアが記載されています。

ワイヤレスルーターとブロードバンドモデムを使用した新しいワイヤレス LAN のセットアップ

1 インターネットサービスプロバイダ（ISP）に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。

2 ワイヤレスインターネット接続をセットアップする前に、ブロードバンドモデムを経由して有線でインターネットにアクセスできる状態にあることを確認してください（95 ページの「ネットワークまたはブロードバンドモデムの接続」を参照）。

3 お使いのワイヤレスルーターに必要ないずれかのソフトウェアをインストールします。お使いのワイヤレスルーターには、インストール用のメディアが付属している場合があります。インストールメディアには、通常、インストールとトラブルシューティングに関する情報が含まれています。ルーターの製造元の指示に従って、必要なソフトウェアをインストールします。

4 Windows **スタート**ボタン（Windows Vista の場合 ）メニューで、お使いの Tablet PC と周辺の他のワイヤレス通信可能なコンピュータをシャットダウンします。

5 ブロードバンドモデムの電源ケーブルをコンセントから外します。

6 Tablet PC およびブロードバンドモデムからネットワークケーブルを外します。

7 AC アダプタケーブルをワイヤレスルーターから外し、ルーターに接続された電源がないことを確認します。

メモ : ブロードバンドモデムを外した後、5 分以上待ってから、ネットワークのセットアップを続行します。

8 ネットワークケーブルを電源の入っていないブロードバンドモデムのネットワーク（RJ-45）コネクタに接続します。

9 ネットワークケーブルのもう一方の端を電源の入っていないワイヤレスルーターのインターネットネットワーク（RJ-45）コネクタに接続します。

10 ブロードバンドモデムとワイヤレスルーターを接続しているネットワークケーブル以外に、ブロードバンドモデムにネットワークケーブルまたは USB ケーブルが接続されていないことを確認します。

メモ : 接続エラーを防ぐため、以下に記載する順番でワイヤレス機器を再スタートさせます。

11 ブロードバンドモデムに<u>のみ</u>電源を入れて、ブロードバンドモデムが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 12 に進みます。

12 ワイヤレスルーターの電源を入れ、ワイヤレスルーターが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 13 に進みます。

13 Tablet PC を起動し、起動プロセスが完了するまで待ちます。

14 ワイヤレスルーターに付属のマニュアルを参照し、次の操作を実行して、ワイヤレスルーターをセットアップします。

   a Tablet PC とワイヤレスルーター間の通信を確立します。

   b ワイヤレスルーターをブロードバンドルーターと通信できるように設定します。

   c ワイヤレスルーターのブロードキャスト名を検索します。ルーターのブロードキャスト名の専門用語は、Service Set Identifier（SSID）またはネットワーク名です。

15 必要に応じて、ワイヤレスネットワークアダプタを設定し、ワイヤレスネットワークに接続します（99 ページの「ワイヤレス LAN への接続」を参照）。

ワイヤレス LAN への接続

メモ：ワイヤレス LAN に接続する前に、必ず 96 ページの「ワイヤレス LAN」の手順に従ってください。

メモ：次のネットワークへの接続手順は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたは携帯製品には適用されません。

本項では、ワイヤレステクノロジによるネットワークへの接続に関する一般的な手順について説明します。特定のネットワーク名や設定の詳細は異なります。お使いの Tablet PC をワイヤレス LAN へ接続するための準備の詳細については 96 ページの「ワイヤレス LAN」を参照してください。

ワイヤレスネットワークアダプタには、ネットワークに接続するために特定のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。

メモ：ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークアダプタのユーザーマニュアルの手順に従ってください。お使いの Tablet PC に取り付けられているワイヤレスネットワークアダプタのタイプを確認してから、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** でアダプタ名を検索します。- お使いの Tablet PC に取り付けられているワイヤレスネットワークアダプタのタイプについては、97 ページの「お使いのワイヤレスネットワークアダプタの確認」を参照してください。

ワイヤレスネットワークデバイスマネージャの確認

お使いの Tablet PC にインストールされているソフトウェアによって、ネットワークデバイスを管理するワイヤレス設定ユーティリティが異なる場合があります。

- お使いのワイヤレスネットワークアダプタのクライアントユーティリティ
- オペレーティングシステム

ワイヤレスネットワークアダプタを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します。

- Windows Vista では、**Start**（スタート）→ **Connect To**（接続）→ **Manage wireless networks**（ワイヤレスネットワークの管理）とクリックします。プロファイルをダブルクリックして、ワイヤレスネットワークのプロパティ画面を開きます。
- Windows XP の場合、**スタート** → **すべてのプログラム** → **Dell ワイヤレス** → **Dell ワイヤレス、ワイヤレス LAN カードユーティリティ** とクリックします。

お使いの Tablet PC にインストールされているワイヤレス設定ユーティリティの詳細については、19 ページの「Windows ヘルプとサポート」でお使いのワイヤレスネットワークのマニュアルを参照してください。

ワイヤレス LAN への接続の完了

Tablet PC の電源投入時にその地域で（Tablet PC に設定されているもの以外の）ネットワークが検出されると、Windows デスクトップの右下隅にポップアップが表示されます。

画面の指示に従います。

選択したワイヤレスネットワークを Tablet PC に設定すると、もう一度ポップアップが表示され、Tablet PC がそのネットワークに接続されたことが通知されます。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内で Tablet PC にログオンすると、同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。

メモ： セキュアネットワークを選択した場合、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。

メモ： Tablet PC がネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

Dell QuickSet を使用したワイヤレスネットワークアダプタのステータスのモニタ

ワイヤレスアクティビティインジケータを使用すると、お使いの Tablet PC のワイヤレスデバイスの状態を簡単にモニタできます。ワイヤレスアクティビティインジケータをオンあるいはオフにするには、タスクバーの QuickSet アイコンをクリックして、**Hotkey Popups**（ホットキーポップアップ）を選択します。**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータオフ）が選択されていない場合は、インジケータがオンになっています。**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータオフ）が選択されている場合、インジケータはオフです。

ワイヤレスアクティビティインジケータは、お使いの Tablet PC に搭載のワイヤレスデバイスが有効または無効のどちらの状態かを表示します。ワイヤレスネットワーク機能をオンまたはオフにすると、ワイヤレスアクティビティインジケータが変化してステータスを表示します。

Dell QuickSet ワイヤレスアクティビティインジケータの詳細については、タスクバーの QuickSet アイコンを右クリックして **Help**（ヘルプ）を選択します。

モバイルブロードバンド / ワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）

モバイルブロードバンドネットワークは、ワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）とも呼ばれる高速デジタルセルラーネットワークで、一般に 100 から 1000 フィートまでの距離をカバーするワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）よりもはるかに広い地理的範囲にインターネットへのアクセスを提供します。お使いの Tablet PC は、携帯電話データのサービスエリア内にある限り、モバイルブロードバンドネットワークへのアクセスを維持します。高速デジタルセルラーネットワークのサービスエリアについては、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。

メモ : ある場所で、お使いの携帯電話から電話をかけることができても、その場所が必ずしもセルラーデータのサービスエリアであるとは限りません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定に必要なもの

メモ : お使いの Tablet PC によって、モバイルブロードバンド ExpressCard または ミニカード のいずれかを使用してモバイルブロードバンドネットワーク接続を確立できます。ただし、両方のカードを同時には使用できません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続を設定するには、次のものが必要です。

- モバイルブロードバンド ExpressCard または ミニカード（お使いの Tablet PC の構成による）

  メモ : ExpressCard の使い方については、87 ページの「ExpressCard」を参照してください。

- 有効なモバイルブロードバンド ExpressCard またはご利用のサービスプロバイダで有効になっている SIM カード

- 伸長したホイップアンテナ



- Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティ（お使いの Tablet PC と同時にカードを購入した場合は、Tablet PC にすでにインストールされています。Tablet PC とは別にカードを購入した場合は、カードに付属する CD に収録されています。）

  このユーティリティが破損しているか Tablet PC から削除された場合は、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドで手順を参照してください。ユーザーズガイドは、Windows ヘルプとサポートにおいて（19 ページの「Windows ヘルプとサポート」を参照）利用可能です。カードを Tablet PC と別に購入された場合には、カードに付属する CD に収録されています。

お使いの Dell モバイルブロードバンドカードの確認

Tablet PC の構成は、Tablet PC 購入時の選択に応じて異なります。Tablet PC に取り付けられたモバイルブロードバンドカードのタイプを確認するには、次のいずれかを参照してください。

- お客様の注文確認書
- Microsoft Windows ヘルプとサポートまたはマイコンピュータ

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）→ **Use Tools to view your computer information and diagnose problems**（ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する）とクリックします。

2 **Tools**（ツール）で、**My Computer Information**（マイコンピュータの情報）→ **Find information about the hardware installed on this computer**（コンピュータにインストールされているハードウェアに関する情報を検索する）をクリックします。

My Computer Information - Hardware（マイコンピュータの情報 - ハードウェア）画面に、お使いの Tablet PC に取り付けられたモバイルブロードバンドカードのタイプとその他のハードウェアコンポーネントが表示されます。

メモ：モバイルブロードバンドカードは **Modems**（モデム）の下に表示されます。

Windows XP

1 **スタート** → **マイコンピュータ** → **システム情報を表示する** とクリックします。

2 **ハードウェア** タブをクリックします。

3 **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。デバイスマネージャに、システムにインストールされているハードウェアコンポーネントが表示されます。

モバイルブロードバンドネットワークへの接続

メモ：以下の手順は、モバイルブロードバンド ExpressCard または ミニカード にのみ適応します。これらの手順は、ワイヤレステクノロジ内蔵カードには適用されません。

メモ：インターネットに接続する前に、お使いのセルラーサービスプロバイダを介してモバイルブロードバンドサービスを有効にする必要があります。Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティの使い方の追加情報に関しては、Windows ヘルプとサポート（19 ページの「Windows ヘルプとサポート」を参照）から入手できるユーザーズガイドを参照してください。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** でもご覧いただけます。また、Tablet PC とは別にカードを購入した場合は、カードに付属の CD に収録されています。

次の手順で Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを使用して、インターネットへのモバイルブロードバンドネットワーク接続を確立し、管理します。

1 Windows デスクトップの Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティアイコン をクリックして、ユーティリティを起動します。

2 **Connect**（接続）をクリックします。

メモ：Connect（接続）ボタンが **Disconnect**（切断）ボタンに変わります。

3 外付けのホイップアンテナを伸ばし、最適な信号強度を得られるように調整します。

4 画面上の指示に従い、ユーティリティを使ってネットワーク接続を管理します。

または

1 **Start**（スタート）（または Windows XP の場合 **スタート**）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Dell Wireless**（Dell ワイヤレス）とクリックします。

2 ブロードバンドオプションを選択して、画面に表示される指示に従います。

3 外付けのホイップアンテナを伸ばし、最適な信号強度を得られるように調整します。

Dell モバイルブロードバンドカードの有効化および無効化

メモ：モバイルブロードバンドネットワークに接続できない場合は、モバイルブロードバンド接続の設定（101 ページの「モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定に必要なもの」を参照）に必要なすべてのコンポーネントが揃っていることを確認してから、ワイヤレススイッチの設定を確認してモバイルブロードバンドカードが有効になっていることを確認してください。

お使いの Tablet PC のワイヤレスデバイスは、Tablet PC 左側のワイヤレススイッチでオンおよびオフを切り替えられます（32 ページの「左側面図」を参照）。

「オン」の位置にあるスイッチを「オフ」にすると、そのスイッチとモバイルブロードバンドカードが無効になります。「オフ」の位置にあるスイッチを「オン」にすると、そのスイッチと Dell モバイルブロードバンドカードが有効になります。ワイヤレススイッチの位置については、105 ページの「Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照してください。

ワイヤレスデバイスのステータスをモニタする方法については、101 ページの「Dell QuickSet を使用したワイヤレスネットワークアダプタのステータスのモニタ」を参照してください。

Dell QuickSet ロケーションプロファイラを使用したネットワーク設定の管理

Dell QuickSet ロケーションプロファイラを使用すると、お使いの Tablet PC の物理的な位置に合わせてネットワーク設定を管理できます。プロファイルには、以下の 2 通りの設定があります。

- **ロケーションプロファイルの設定**
- **一般的なモビリティ設定**

ロケーションプロファイルの設定 を使用して、オフィス、自宅、またはインターネットサービスを提供するその他の公共の場所で、お使いの Tablet PC をインターネットにアクセスするためのプロファイルを作成します。**一般的なモビリティ設定** では、ネットワーク接続の操作方法を変更できます。プロファイルには、違う場所で Tablet PC を使用する際に必要なネットワーク設定および機器が含まれています。

Dell QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある QuickSet アイコンを右クリックして、**ヘルプ** を選択してください。

Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ

Dell Tablet PC のワイヤレススイッチは、Dell Wi-Fi Catcher ネットワークロケータを使用して、近隣の WiFi ワイヤレス LAN（WLAN）を取り込みます。

WiFi ワイヤレス LAN を取り込むには、スイッチを「一時的」の位置にし、そのまま数秒間維持します。Dell QuickSet または BIOS（セットアップユーティリティ）で WiFi ネットワーク接続を制御するようにスイッチが設定されている限り、お使いの Tablet PC がオン、オフ、休止状態モード、スリープモード、スタンバイモードのいずれかであっても Wi-Fi Catcher ネットワークロケータソフトウェアは機能します。

メモ : Dell Wi-Fi Catcher ネットワークロケータのライトは、コンピュータがオフで、ワイヤレスネットワークがセットアップユーティリティで有効に設定されている場合に点灯します。Microsoft Windows オペレーティングシステムを使用して作業をしている間は、このライトは点灯しません。

Tablet PC がお手元に届いたとき、Wi-Fi Catcher ネットワークロケータは無効かつ未設定であるため、最初に Dell QuickSet を使用してスイッチを有効にし、Wi-Fi ネットワーク接続を制御するよう設定する必要があります。

Wi-Fi Catcher ネットワークロケータの詳細および Dell QuickSet による機能の有効化については、タスクバーの QuickSet アイコンを右クリックし、**ヘルプ** を選択してください。

Microsoft® Windows® ファイアウォール

Windows ファイアウォールでは、インターネット接続時に、許可されていないユーザーの Tablet PC へのアクセスに対する基本的な保護が提供されます。Windows ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。

ネットワーク接続に Windows ファイアウォールが有効になると、コントロールパネルの **Network Connection**（ネットワーク接続）に赤い背景のあるファイアウォールアイコンが表示されます。

Windows ファイアウォールを有効にするオプションにアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows Vista の場合、**Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Security**（セキュリティ）→ **Windows Firewall**（Windows ファイアウォール）とクリックします。
- Windows XP の場合、**スタート** → **コントロールパネル** → **セキュリティセンター** → **Windows ファイアウォール** とクリックします。

メモ : Windows ファイアウォールを有効にしても、ウィルスチェックソフトウェアは必要です。

詳細に関しては、19 ページの「Windows ヘルプとサポート」を参照してください。

6

Tablet PC のセキュリティ保護

セキュリティケーブルロック

注意 : 盗難防止デバイスを購入する前に、お使いの Tablet PC のセキュリティケーブルスロットに対応するか確認してください。

メモ : お使いの Tablet PC には、セキュリティケーブルロックは付属していません。

セキュリティケーブルロックは、市販の盗難防止用品です。ロックを使用するには、Tablet PC のセキュリティケーブルスロットに取り付けます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。



スマートカードおよびバイオメトリクスリーダー

メモ : 旅行などで Tablet PC を携帯する場合のセキュリティ保護については、217 ページの「Tablet PC を携帯するときは」を参照してください。

スマートカードは集積回路が内蔵された、持ち運びのできる、クレジットカードと同じ形のデバイスです。スマートカードを使って、ユーザーが持っているもの（スマートカード）とユーザーが知っているもの（暗証番号）を組み合わせて、パスワードだけの場合よりも確実なユーザー認証を提供し、システムの安全性を向上することができます。詳細に関しては、89 ページの「スマートカード」を参照してください。

バイオメトリクスリーダーは、お使いの Tablet PC のディスプレイに装備されている指紋センサーです。バイオメトリクスリーダー上で指をスライドすると、固有の指紋によってユーザーの身元証明が行われ、Tablet PC のセキュリティ保護を援助します。

メモ : バイオメトリクスリーダーを設定して使用するためには、オプションのソフトウェアを購入する必要があります。詳細に関しては、バイオメトリクスソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

パスワード

パスワードについて

メモ : お使いの Tablet PC をお受け取りの際、パスワードは設定されていません。

プライマリ（またはシステム）パスワード、システム管理者パスワード、およびハードディスクドライブパスワードは、お使いの Tablet PC への不正なアクセスを、さまざまな方法で防ぎます。以下の表に、お使いの Tablet PC で利用可能なパスワードの種類と機能について示します。

パスワードの種類	機能
プライマリ（またはシステム）	• 使用を許可されていないユーザーのアクセスから Tablet PC を保護します。
システム管理者	• Tablet PC を修理または再設定するシステム管理者または技術者にアクセス権を与えます。 • プライマリパスワードによって Tablet PC のアクセスを制限できるのと同様に、セットアップユーティリティへのアクセスも制限できます。 • 初期パスワードの代わりに使用することもできます。
ハードディスクドライブ	• ハードディスクドライブまたは外付けハードディスクドライブ（使用している場合）のデータを不正なアクセスから保護するために使用します。

メモ : ハードディスクドライブによっては、ハードディスクドライブパスワードをサポートしません。

注意 : パスワードは、Tablet PC またはハードディスクドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするために、スマートカード、データ暗号化プログラム、または暗号化機能の付いた PC カードなどを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

パスワードの使用に際して、次のガイドラインに注意してください。

- 覚えやすく推測されにくいパスワードを選びます。例えば、家族やペットの名前をパスワードに使用しないようにします。
- パスワードは覚え書きしないことをお勧めします。覚え書きする場合は、必ずパスワードを安全な場所に保管してください。
- パスワードを他人と共有しないようにします。
- パスワードの入力を他人に見られないようにします。

パスワードを忘れてしまった場合は、デルにお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。その際、使用を許可されていないユーザーによる不正使用を防ぐため、デルのテクニカルサポート担当者はお客様が Tablet PC の所有者であるかどうかを確認します。

プライマリ（またはシステム）パスワードの使い方

プライマリパスワードを使用すると、不正なアクセスから Tablet PC を保護できます。

Tablet PC をはじめてスタートさせた際、プロンプトが表示されたらプライマリパスワードを割り当てる必要があります。

2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

注意 : システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

パスワードを追加または変更するには、**コントロールパネル** から **ユーザーアカウント** にアクセスします。

システム管理者パスワードが設定されている場合は、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。通常、Tablet PC では特にシステム管理者パスワードを入力する必要はありません。

システム管理者パスワードの使い方

システム管理者パスワードは、コンピュータを修理または再設定するシステム管理者またはサービス技術者のためのものです。システム管理者または技術者は、同じシステム管理者パスワードをコンピュータのグループに割り当て、固有のプライマリパスワードを割り当てることができます。

システム管理者パスワードを設定または変更するには、コントロールパネルにある **ユーザーアカウント** にアクセスします。

システム管理者パスワードを設定すると、セットアップユーティリティの **Configure Setup** オプションが有効になります。**Configure Setup** オプションは、プライマリパスワードによって Tablet PC へのアクセスを制限できるのと同様に、セットアップユーティリティへのアクセスが制限できます。

システム管理者パスワードは、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。プライマリパスワードの入力を求められた場合、常にシステム管理者パスワードで代用できます。

注意：システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

メモ：システム管理者パスワードを使って Tablet PC へのアクセスはできますが、ハードディスクドライブパスワードが設定されている場合は、ハードディスクドライブへのアクセスはできません。

システム管理者パスワードを設定せずに、プライマリパスワードを忘れてしまった場合、またはプライマリとシステム管理者パスワード両方のパスワードを設定し、どちらも忘れてしまった場合は、システム管理者に尋ねるかデルにお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

ハードディスクドライブパスワードの使い方

ハードディスクドライブパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからハードディスクドライブ上のデータを保護するために使用します。外付けハードディスクドライブをご使用の場合、そのドライブにプライマリハードディスクドライブと同じ、または異なるパスワードを設定することもできます。

ハードディスクドライブパスワードを割り当てる、または変更する場合は、セットアップユーティリティ（137 ページの「セットアップユーティリティ画面の使い方」を参照）を起動します。

ハードディスクドライブパスワードを設定すると、Tablet PC の電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。また、スリープモード、スタンバイモード、休止状態モードから通常の動作に復帰する際にも、必ず入力する必要があります。

ハードディスクドライブパスワードを有効にした場合、Tablet PC を起動するたびにハードディスクドライブパスワードを入力する必要があります。ドライブパスワードを入力するよう、メッセージが表示されます。

続行するには、パスワード（8 文字以内）を入力し、<Enter> を押します。

2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

入力したパスワードが間違っていると、パスワードが無効であることを知らせます。再度試すには、<Enter> を押します。

パスワードが 3 回以内に正しく入力されないと、セットアップユーティリティの **Boot First Device** オプションで別のデバイスから起動できるように設定されている場合、別のデバイスから起動が試みられます。**Boot First Device** オプションで別のデバイスから起動するように設定されていない場合は、Tablet PC の電源を入れたときの動作状態に戻ります。

ハードディスクドライブパスワード、外付けハードディスクドライブパスワード、およびプライマリパスワードが同じ場合、プロンプトでプライマリパスワードの入力だけが求められます。ハードディスクドライブパスワードがプライマリパスワードと異なる場合、プロンプトで両方のパスワードの入力が求められます。2 つのパスワードを別々に設定することで、セキュリティをさらに強化することができます。

メモ : システム管理者パスワードを使って Tablet PC へのアクセスはできますが、ハードディスクドライブパスワードが設定されている場合は、ハードディスクドライブへのアクセスはできません。

Trusted Platform Module（TPM）

メモ : 中国に配送されるコンピュータには、TPM 機能が装備されていません。

メモ : オペレーティングシステムで TPM がサポートされている場合にのみ、TPM 機能により暗号化がサポートされます。詳細に関しては、ソフトウェアに同梱されている TPM ソフトウェアのマニュアルおよびヘルプファイルを参照してください。

TPM は、コンピュータ生成の暗号キーを作成および管理することができる、ハードウェアベースの保護機能です。保護ソフトウェアと共に使用することにより、TPM はファイルプロテクション機能や E- メール保護などの機能を有効にして、既存のネットワークおよびコンピュータセキュリティをさらに強化します。TPM 機能はセットアップオプションから有効にします。

注意 : TPM のデータおよび暗号化キーを保護するには、『Broadcom Secure Foundation Getting Started Guide』に示されているバックアップの手順に従います。バックアップが不完全であったり、紛失、または損傷した場合、デルでは暗号化されたデータのリカバリを援助することはできません。

TPM 機能の有効化

1 TPM ソフトウェアを有効にします。

 a Tablet PC を再起動し、Power On Self Test（POST）の間に <F2> を押してセットアップユーティリティに入ります。

 b **Security→ TPM Security** を選択し、<Enter> を押します。

 c **TPM Security** の下で **On** を選択します。

 d <Esc> を押してセットアッププログラムを終了します。

 e プロンプトが表示されたら、**Save/Exit** をクリックします。

2 TPM セットアッププログラムを有効にします。

 a Tablet PC を再起動し、Power On Self Test（POST）の間に <F2> を押してセットアップユーティリティに入ります。

 b **Security→ TPM Activation** を選択し、<Enter> を押します。

 c **TPM Activation** の下の **Activate** を選択し、<Enter> を押します。

メモ : プログラムは一度だけ有効にすれば、以後は必要ありません。

 d プロセスが完了したら、Tablet PC が自動的に再起動するか、Tablet PC の再起動を求めるプロンプトが表示されます。

セキュリティ管理ソフトウェア

セキュリティ管理ソフトウェアは、次に示す 4 つの機能を使って、Tablet PC のセキュリティ保護を行うように設計されています。

- ログイン管理
- 起動前認証（バイオメトリクスリーダー、スマートカード、またはパスワードを使用）
- 暗号化
- 個人情報管理

セキュリティ管理ソフトウェアの有効化

メモ：セキュリティ管理ソフトウェアを完全に機能させるには、まず、TPM を有効にする必要があります。

1 TPM 機能の有効化（111 ページの「TPM 機能の有効化」を参照）。

2 セキュリティ管理ソフトウェアをロードするには、次の手順を実行します。

a Tablet PC の電源を入れます（または再起動します）。

b DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、Tablet PC をシャットダウンして、もう一度やりなおします。

c ドロップダウンメニューで **Wave EMBASSY Trust Suite** を選択して <Enter> を押し、Tablet PC のデスクトップにソフトウェアコンポーネントのアイコンを作成します。

d <Esc> を押してセットアッププログラムを終了します。

e プロンプトが表示されたら、**Save/Exit** をクリックします。

セキュリティ管理ソフトウェアの使い方

ソフトウェアの使い方およびさまざまなセキュリティ機能の詳細については、ソフトウェアの『Getting Started Guide』を参照してください。『Getting Started Guide』にアクセスするには、次の手順を実行します。

- Windows® Vista® では、**Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Wave EMBASSY Trust Suite**→ **Getting Started Guide**（はじめに）をクリックします。
- Windows XP では、**スタート** → **すべてのプログラム** → **Wave システムによるセキュリティ** → **EMBASSY Trust Suite の基本** をクリックします。

コンピュータ追跡ソフトウェア

コンピュータ追跡ソフトウェアは、Tablet PC を紛失したり盗難に遭った場合に、Tablet PC の位置を突き止めることができます。このソフトウェアはオプションで、Dell™ Tablet PC の注文時に購入するか、このセキュリティ機能に関して、デルの営業担当者にお問い合わせください。

メモ : コンピュータ追跡ソフトウェアは、すべての国で使用できるとは限りません。

メモ : コンピュータ追跡ソフトウェアを備えた Tablet PC を紛失したり盗難に遭った場合は、追跡サービスを提供する会社に Tablet PC の紛失を届け出てください。

Tablet PC を紛失するか盗難に遭った場合

- 警察に、Tablet PC の紛失または盗難を届け出ます。Tablet PC の説明をする際に、サービスタグをお知らせください。届け出番号などをもらったら控えておきます。できれば、応対した担当者の名前も尋ねておきます。

メモ : Tablet PC を紛失した場所または盗難に遭った場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合は、現在住んでいる地域の警察に届け出てください。

- Tablet PC が会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。
- デルカスタマーサービスに、Tablet PC の紛失を届け出ます。Tablet PC のサービスタグ、警察への届け出番号、Tablet PC の紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もお知らせください。

デルのカスタマーサービス担当者は、Tablet PC のサービスタグをもとに、Tablet PC を紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。連絡されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、その Tablet PC は自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会を行います。その後、デルは紛失または盗難に遭った Tablet PC について警察に連絡を取ります。

7

Tablet PC のクリーニング

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

Tablet PC、キーボード、およびディスプレイ

警告 : Tablet PC をクリーニングする前に、Tablet PC をコンセントから外し、さらに必要に応じてオプションのメディアベースまたはバッテリスライスから外します。取り付けられているすべてのバッテリを取り外します。Tablet PC のクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- キーボードのキーの間のほこりをクリーニングするには、圧縮空気の缶スプレーを使用します。

注意 : Tablet PC やディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。ディスプレイ専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

- 水、またはディスプレイ用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でディスプレイをきれいになるまで拭きます。
- 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、Tablet PC とキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

タッチパッド

1. シャットダウンして、Tablet PC の電源を切ります。
2. Tablet PC に取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
3. 該当する場合は、Tablet PC をオプションのメディアベースまたはバッテリスライスからドッキング解除します。
4. 取り付けられているすべてのバッテリを取り外します（153 ページの「メインバッテリの取り外し」を参照）。
5. 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

光学ドライブおよび光学ドライブメディア

注意 : 光学ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

メモ : お使いの Tablet PC と一緒にオプションの外付け D/Bay またはオプションのメディアベースを購入した場合を除き、Tablet PC で光学ドライブまたは光学ドライブメディアを使用できないことがあります。

オプティカルメディアでスキップが生じるなどの再生品質の不具合がある場合には、ディスクを掃除します。

1 ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

注意 : 円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

2 糸くずの出ない柔らかな布で、ディスクの裏面（ラベルのない面）をディスクの中心から外側に向けて丁寧にまっすぐ拭きます。

頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹸の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

8

トラブルシューティング

お使いの Tablet PC で発生した問題をトラブルシュートする際には、次のツールを使用します。

- Dell Diagnostics（診断）プログラム
- デルサポートユーティリティ（Windows Vista® のみ）
- Windows® ハードウェアトラブルシューティング

Dell Diagnostics（診断）プログラム

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell™ コンピュータ上でのみ機能します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

Tablet PC に問題が発生した場合、テクニカルサポートに問い合わせる前に、フリーズおよびソフトウェアの問題（126 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照）のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

Tablet PC の設定情報を確認するには、137 ページの「セットアップユーティリティ画面の使い方」を参照し、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します。

ハードディスクドライブまたは『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動します。

メモ : 『Drivers and Utilities』メディアはオプションなので、出荷時にすべての Tablet PC に付属しているわけではありません。

ハードディスクドライブからの Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードディスクドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

メモ : Tablet PC に画面が表示されない場合は、デルにお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

メモ：Tablet PC がドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。該当する場合は、手順の詳細について 205 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースからのドッキング解除」および 213 ページの「お使いの Tablet PC のバッテリスライスからのドッキング解除」を参照してください。

1 Tablet PC が、正常に動作することが確認されているコンセントに接続されていることを確認します。

2 Tablet PC の電源を入れます（または再起動します）。

3 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、以下のいずれかの方法で起動します。

メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、Tablet PC をシャットダウンして再度試みます。

– DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics**（診断）を選択し、<Enter> を押します。

メモ：次のオプションを試す前に、Tablet PC の電源を完全に切る必要があります。

– Tablet PC が起動する間、<Fn> キーを押し続けます。

メモ：診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

起動前システムアセスメント（PSA）が実行され、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードディスクドライブなどの一連の初期テストが実行されます。

- このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
- 起動前システムアセスメントで問題が検出された場合は、そのエラーコードを書き留め、デルまでお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

起動前システムアセスメントが正常に終了した場合、「`Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue.`（Dell 診断ユーティリティパーティションを起動しています。続行するには、いずれかのキーを押してください。）」というメッセージが表示されます。

4 任意のキーを押すと、ハードディスクドライブ上の診断プログラムユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムが起動します。

5 Dell 診断プログラムメインメニューが表示されたら、実行するテストの種類を選択します。119 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー」を参照してください。

Drivers and Utilities メディアからの Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

1 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。
2 Tablet PC をシャットダウンして、再起動します。
DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

メモ : キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、Tablet PC をシャットダウンして再度試みます。

メモ : 次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、Tablet PC はセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

3 起動デバイスのリストが表示されたら、**CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示して <Enter> を押します。
4 表示されたメニューから、**Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。
5 `1` を入力して CD メニューを開始し、<Enter> を押して続行します。
6 番号の付いた一覧から **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、Tablet PC に適切なバージョンを選択します。
7 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選択します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

1 Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** が表示されるので、必要なオプションのボタンをクリックします。

メモ : Test System を選択して、Tablet PC を完全にテストすることをお勧めします。

オプション	機能
`Test Memory`	スタンドアロンメモリテストを実行します。
`Test System`	システム Diagnostics（診断）を実行します。
`Exit`	Diagnostics（診断）を終了します。

2 メインメニューで **Test System** オプションを選択すると、次のメニューが表示されます。

メモ : 以下のメニューから **Extended Test** を選択し、Tablet PC のデバイスの詳細な検証を実行することをお勧めします。

オプション	機能
Express Test	システム内のデバイスに簡単なテストを実行します。このテストは、通常 10 ～ 20 分程度かかります。
Extended Test	システム内のデバイスに詳細なチェックを実行します。このテストは、通常 1 時間以上かかる場合があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストしたり、実行するテストをカスタマイズする場合に使用します。
Symptom Tree	起きている問題の症状に基づいたテストを選択できるオプションです。最も一般的な症状を一覧表示します。

3 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと不具合の説明を書き留めて、デルにお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

メモ：各テスト画面の上部には、Tablet PC のサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

4 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合は、該当するタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。

タブ	機能(続き)
`Configuration`	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、Tablet PC に取り付けられたすべてのコンポーネント名、または Tablet PC に取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
`Parameters`	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

5 テストが完了したら、テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了して Tablet PC を再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

6 Dell『Drivers and Utilities』メディアを取り出します（該当する場合）。

Windows Vista 対応のデルサポートユーティリティ

お使いの Tablet PC にインストールされているデルサポートユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびお使いのコンピュータ環境の状態スキャンを提供します。

Windows タスクトレイの アイコン、または Windows Vista® Start（スタート）メニューからデルサポートユーティリティにアクセスします。

デルサポートユーティリティへのアクセス

Windows タスクトレイに デルサポートアイコンが表示されない場合は、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Dell Support**（デルサポート）→ **Dell Support Settings**（デルサポート設定）とクリックします。

2 **Show icon on the Windows Notification area**（Windows タスクトレイにアイコンを表示）オプションがチェックされていることを確認します。

メモ：Windows Vista start button（スタートボタン） メニューからデルサポートユーティリティが利用できない場合、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされます。

Windows タスクトレイの アイコンは、アイコンをクリック、ダブルクリック、右クリックする場合でそれぞれ機能が異なります。

デルサポートアイコンのクリック

次のタスクを実行するには、 アイコンをクリックまたは右クリックします。

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポートユーティリティ設定の表示
- デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス
- よくあるお問い合わせ（FAQ）の表示
- デルサポートユーティリティの詳細の表示
- デルサポートユーティリティの終了

Windows ハードウェアに関するトラブルシューティング

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されても間違って設定されている場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性の問題を解決します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート） （Windows XP の場合は **スタート**）をクリックし、**Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。

2 検索フィールドで `hardware troubleshooter`（ハードウェアに関するトラブルシューティング）と入力し、次に <Enter> を押して検索を始めます。

Windows XP では、検索結果に表示されるとおりに **ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。

3 現在の不具合に最も近いオプションを選択し、残りのトラブルの解決手順に従います。

問題の解決

Tablet PC のトラブルシューティングを実行する際は、以下のヒントに従ってください。

- 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているか確認します。
- 周辺機器が動作しない場合は、周辺機器が正しく接続されているか確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、サポート担当者が問題を診断および解決するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合、プログラムのマニュアルを参照してください。

メモ：このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ Tablet PC を Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

ハードディスクドライブの問題

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します —

- Windows Vista では、**Start**（スタート）をクリックし、**Computer**（コンピュータ）をクリックします。
- Windows XP では、**スタート** をクリックし、**マイコンピュータ** をクリックします。

ドライブが表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

チェックディスクを実行します —

1 **Start**（スタート）→ **Computer**（コンピュータ）をクリックします。
Windows XP では、**スタート** → **マイコンピュータ** をクリックします。
2 ローカルディスクを右クリックします。
3 **プロパティ** → **ツール** → **チェックする** とクリックします。
Windows Vista では、**User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示される場合があります。Tablet PC のシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合は、システム管理者に問い合わせて目的の操作を続行します。
4 画面に表示される指示に従ってください。

ドライブをテストします — 元のドライブに欠陥がないかを確認するために、別のドライブを挿入します。

WINDOWS のハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します —122 ページの「Windows ハードウェアに関するトラブルシューティング」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します —117 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

光学ドライブの問題

メモ：お使いの Tablet PC と一緒にオプションの外付け D/Bay またはオプションのメディアベースを購入した場合を除き、Tablet PC で光学ドライブまたは光学ドライブメディアを使用できないことがあります。

メモ：高速光学ドライブの振動は、一般的なものでノイズを引き起こすこともありますが、ドライブやメディアの不具合ではありません。

メモ：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

光学ドライブまたは光学ドライブメディアのクリーニング —116 ページの「光学ドライブおよび光学ドライブメディア」を参照してください。

ケーブルの接続を確認します

WINDOWS で音量を調節します —

- 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- スライドバーをクリックし、上にドラッグして、音量が上がることを確認します。
- チェックマークの付いたボックスをクリックして、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

WINDOWS のハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します —122 ページの「Windows ハードウェアに関するトラブルシューティング」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します —117 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

光学ドライブへの書き込み問題

メモ：お使いの Tablet PC と一緒にオプションの外付け D/Bay またはオプションのメディアベースを購入した場合を除き、Tablet PC で光学ドライブまたは光学ドライブメディアを使用できないことがあります。

その他のプログラムを閉じます —光学ドライブは書き込み処理の間、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。光学ドライブに書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

ディスクに書き込む前に、WINDOWS VISTA のスリープモードをオフにします —省電力モードについては、76 ページの「電源管理の設定」を参照するか、Windows ヘルプとサポートで sleep（スリープ）というキーワードを検索してください。

E- メールおよびインターネットの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

メモ : 電話ケーブルをネットワークアダプタコネクタに接続しないでください（36 ページの「背面図」を参照）。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します —電子メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

1 Outlook Express で、**Tool**（ツール）→ **Option**（オプション）→ **Security**（セキュリティ）とクリックします。

2 必要に応じて、**Do not allow attachments**（添付ファイルを保存したり開いたりしない）をクリックして、チェックマークを外します。

インターネットへの接続を確認します —ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します。E- メールプログラム Outlook Express を起動し、**File**（ファイル）をクリックします。**Work Offline**（オフライン作業）の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてマークを外し、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

エラーメッセージ

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : エラーメッセージがリストにない場合、メッセージが表示されたときに実行していたオペレーティングシステムまたはプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名には次の文字は使用できません : ¥ / : * ? “ < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません —実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。次の操作を行い、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします。

1 **Start**（スタート） をクリックし、→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Programs**（プログラム）→ **Programs and Features**（プログラムと機能）とクリックします。

Windows XP では、**スタート** → **コントロールパネル** → **プログラムの追加と削除** をクリックします。

2 削除したいプログラムを選択します。

3 **Uninstall**（アンインストール）（Windows XP の場合は **削除**）をクリックします。

4 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

ドライブ文字 :¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません —ドライブがディスクを読み取ることができません。ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

起動用メディアを挿入します —起動用 CD または DVD をオプションの外付け D/Bay またはオプションのメディアベースに挿入します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします —すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、Tablet PC を再起動して Tablet PC リソースを復元する必要があります。その場合、最初に使うプログラムを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません —デルにお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

IEEE 1394 デバイスの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

メモ : お使いの Tablet PC は、IEEE 1394a 標準のみをサポートします。

IEEE 1394 デバイスのケーブルが、デバイスおよび TABLET PC のコネクタに正しく差し込まれているか確認します

セットアップユーティリティで IEEE 1394 デバイスが有効になっているか確認します —

138 ページの「セットアップユーティリティ画面」を参照してください。

WINDOWS が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）とクリックします。
   Windows XP では、**スタート** → **マイコンピュータ** → **システム情報を表示する** → **ハードウェア** をクリックします。
2 **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。

IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

DELL IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —デルにお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

フリーズおよびソフトウェアの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

Tablet PC が起動しない

電源ケーブルが TABLET PC とコンセントにしっかり接続されているか確認します

Tablet PC が応答しない

注意 : オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

TABLET PC の電源を切ります —キーボードのキーを押したり、ペンまたは指でディスプレイにタッチしても Tablet PC が応答しない場合、電源ボタンを少なくとも 8 ～ 10 秒押し続け（Tablet PC の電源が切れるまで）、Tablet PC を再スタートします。

プログラムが応答しない

プログラムを終了します —

1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押して、タスクマネージャにアクセスします。
2 **アプリケーション** タブをクリックします。
3 反応しなくなったプログラムを選択します。
4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする

メモ：ほとんどのソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたは CD や DVD に収録されています。

プログラムのマニュアルを参照します —必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム用に設計されている場合

プログラム互換性ウィザードを実行します —プログラム互換性ウィザードでは、Windows の以前のバージョンに近い環境でプログラムが動作するように設定できます。

Windows Vista

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ Programs（プログラム）→ **Use an older program with this version of Windows**（Windows のこのバージョンの古いプログラムを使う）をクリックします。
2 ようこそ画面で、**Next**（次へ）をクリックします。
3 画面に表示される指示に従ってください。

Windows XP

1 **スタート** → **ヘルプとサポート** → **問題を解決する** → **アプリケーションとソフトウェアの問題** をクリックします。
2 **以前のバージョンで動作するソフトウェアを実行する** をクリックします。
3 ようこそ画面で、**次へ** をクリックします。
4 画面に表示される指示に従ってください。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

TABLET PC の電源を切ります —キーボードのキーを押したり、ペンまたは指でディスプレイにタッチしても Tablet PC が応答しない場合、電源ボタンを少なくとも 8 ～ 10 秒押し続け（Tablet PC の電源が切れるまで）、Tablet PC を再スタートします。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- プログラムが Tablet PC にインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- Tablet PC がソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。

- デバイスドライバがプログラムと拮抗していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードディスクドライブ、CD、または DVD を確認します

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタートメニューから TABLET PC をシャットダウンします

メモリの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、メモリを増設します（164 ページの「メモリモジュールの取り付け」を参照）。
- メモリモジュールを抜き差しして（163 ページの「メモリ」を参照）、Tablet PC がメモリと正常に通信していることを確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（117 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを抜き差しして（163 ページの「メモリ」を参照）、Tablet PC がメモリと正常に通信していることを確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っていることを確認します（164 ページの「メモリモジュールの取り付け」を参照）。
- 使用しているメモリがお使いの Tablet PC でサポートされていることを確認します。お使いの Tablet PC でサポートされているメモリのタイプについては、163 ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（117 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ネットワークの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

ネットワークケーブルのコネクタを確認します —ネットワークケーブルが Tablet PC 背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックに、しっかりと差し込まれていることを確認します。

TABLET PC 背面のネットワークインジケータを確認します —リンク保全ライトがオフの場合、ネットワーク通信が存在しないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

TABLET PC を再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします

ネットワークの設定を確認します —ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

ハードウェアのトラブルシューティングを実行します —122 ページの「Windows ハードウェアに関するトラブルシューティング」を参照してください。

電源の問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

電源ライトが青色に点滅している場合 —コンピュータがスリープモードまたはスタンバイモードになっています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

電源ライトが消灯している場合 —コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタおよびコンセントに抜き差しします。
- 電源タップ、電源延長ケーブル、およびその他のパワープロテクションデバイスなどをバイパスし、コンピュータに正しく電源が入ることを確認します。
- 使用している電源タップがすべてコンセントに差し込まれ、電源が入っていることを確認します。
- 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電源ライトが橙色に点灯している場合 —デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。すべてのメモリモジュールを取り外してから、再度取り付けなおします（163 ページの「メモリ」を参照）。

電気的な妨害を調べます —電気的な妨害の原因には、以下のものがあります。

- 電源ケーブル、キーボードケーブル、およびマウス延長ケーブル
- 同じ電源タップに接続されているデバイスが多すぎる
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

プリンタの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

メモ : プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します —プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源がオンになっていることを確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタと Tablet PC にしっかり接続されていることを確認します。

コンセントを確認します —電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

WINDOWS でプリンタを検出します —

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Printer**（プリンタ）とクリックします。

Windows XP では、**スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **プリンタ と FAX** をクリックします。

2 プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。

3 **Properties**（プロパティ）をクリックして、**Ports**（ポート）をクリックします。

4 必要に応じて、設定を調整します。

プリンタドライバを再インストールします —プリンタドライブの再インストールに関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

メモ : スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します —スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します —ロックが解除されているか確認します（スキャナーにロックタブやボタンがある場合）。

TABLET PC を再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナのケーブルがスキャナと Tablet PC にしっかりと接続されていることを確認します。

MICROSOFT WINDOWS がスキャナーを認識しているか確認します —

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Scanners and Cameras**（スキャナとカメラ）とクリックします。

Windows XP では、**スタート** → **コントロールパネル** → **プリンタとその他のハードウェア** → **スキャナとカメラ** をクリックします。

2 スキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします —手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカーの問題

メモ : MP3 およびその他のメディアプレーヤーのボリューム調節は、Windows のボリューム設定よりも優先されることがあります。メディアプレーヤーのボリュームが低く調節されていたり、オフになっていないかを常に確認してください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従ってください。

内蔵スピーカーから音が出ない場合

WINDOWS のボリューム調整 —画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

サウンドドライバの再インストール —143 ページの「Drivers and Utilities メディアの使い方」を参照してください。

外付けスピーカーから音が出ない場合

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します —スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

WINDOWS のボリューム調整 —画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します —ヘッドフォンが Tablet PC のヘッドフォンコネクタに接続されている場合、スピーカからの音声は自動的に無効になります。

コンセントを確認します —電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な妨害を除去します —コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

スピーカーの診断プログラムを実行します

オーディオドライバを再インストールします —142 ページの「ドライバとユーティリティの再インストール」を参照してください。

ハードウェアのトラブルシューティングを実行します —122 ページの「Windows ハードウェアに関するトラブルシューティング」を参照してください。

ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します —ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（34 ページの「右側面図」を参照）。

WINDOWS で音量を調節します —画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

タッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

1 **Start**（スタート）（Windows XP の場合は **スタート**）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Printers and Other Hardware**（プリンタとその他のハードウェア）→ **Mouse**（マウス）をクリックします。
2 設定を変更してみます。

マウスケーブルを確認します —Tablet PC をシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接 Tablet PC に接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

1 Tablet PC をシャットダウンします。
2 マウスを外します。
3 Tablet PC の電源を入れます。
4 Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

   タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

セットアップユーティリティの設定をチェックします —セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します（設定を調整しなくても Tablet PC が自動的に USB マウスを認識します）。セットアップユーティリティの使い方に関しては、137 ページの「セットアップユーティリティ画面の使い方」を参照してください。

マウスコントローラをテストします —ポインタの動きに影響を与えるマウスコントローラおよびタッチパッドまたはマウスボタンの動作を確認するには、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Pointing Devices** テストグループの **Mouse** テストを実行します（117 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

タッチパッドドライバを再インストールします —142 ページの「ドライバとユーティリティの再インストール」を参照してください。

スタイラスおよびタッチ問題のトラブルシューティング

ペンの使用時または画面をタッチする際に問題が発生した場合、**Talet Setting**（タブレット設定）ウィンドウ（プロパティウィンドウなど）および特定の Windows **コントロールパネル**画面が問題解決に便利です。

診断

デジタイザの初期化 —システムの **Control Panel**（コントロールパネル）で、**N-trig Tablet Settings**（N-trig タブレット設定）アイコンを開き、`Restore defaults`（デフォルトを復元）ボタンをクリックして Tablet PC ペンおよびタッチ機能を工場出荷時のデフォルトに設定します。

デジタイザセルフテスト診断の実行 —システムの **Control Panel**（コントロールパネル）で、the **N-trig Tablet Settings**（N-trig タブレット設定）アイコンを開き、`Trouble Shooting`（トラブルシューティング）ボタンを押して診断セルフテストを実行します。このテストは、デジタイザが十分機能することを検証します。テスト実行中、

ポップアップウィンドウがユーザーに指示を出し、テスト結果を報告します。テスト結果に診断コードが出た場合、デルにお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

タッチモードまたはペンモードのいずれかが機能しない —システムの **Control Panel**（コントロールパネル）で、**N-trig タブレット設定** アイコンを開きます。希望の動作モードを選択して、タッチ、ペン、デュアルまたは自動（Windows Vista のみ）モードを有効にします。

タッチが機能しない

タッチ入力が有効になっているか確認します —システムの **Control Panel**（コントロールパネル）で、**Pen and Input Devices**（ペンおよび入力デバイス）アイコンを開きます。**Touch**（タッチ）画面で、`Use your finger as an input device`（指を入力デバイスとして使用）オプションが選択されていることを確認します。希望する場合、この画面で他の設定を選択して、タッチ機能の動作を設定します。

タッチ調整 —システムのコントロールパネルで、**N-trig Tablet Setting**（N-trig タブレット設定）アイコンを開き、`Digitizer Options` （デジタイザオプション）タブをクリックします。**Touch Tuning**（タッチ調整）フレームで、`Reset`（リセット）ボタンをクリックし、指示に従います。

ペン圧力感知問題

スタイラス圧力感知を有効にする —Windows Journal で、**Tools**（ツール）のドロップダウンメニューを選択してから、`Option`（オプション）を選択します。**Options**（オプション）ウィンドウで、**Note Format**（ノートフォーマット）タブをクリックし、`Pen Settings...`（ペンの設定 ...）ボタンを選択します。**Pen and Highlighter Settings**（ペンおよびハイライタの設定）ウィンドウで、`Pressure sensitive`（圧力感知）オプションが選択されていることを確認します。

ペンの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

ペンが機能しない場合

ペン先の取り付けを確認します —

- ペン先を交換します。64 ページの「ペン先の交換」を参照してください。
- これで問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ディスプレイの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

画面が見づらい場合

ディスプレイを回転させ、直射日光や干渉を減らします

WINDOWS のディスプレイ設定を調節します —

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Hardware and Sound**（ハードウェアとサウンド）→ **Personalization**（カスタマイズ）→ **Display Settings**（ディスプレイの設定）とクリックします。

Windows XP では、**スタート** → **コントロールパネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** をクリックします。

2 必要に応じて **Resolution**（画面の解像度）と **Colors settings**（画面の色）の設定を調整します。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニタを接続します —

1 Tablet PC をシャットダウンして、外付けモニタを Tablet PC に取り付けます。

2 Tablet PC およびモニタの電源を入れて、モニタの輝度とコントラストを調整します。

外付けモニタが動作する場合、Tablet PC のディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください（25 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

プロジェクタを使用したときに、投影した画像が回転して読み取れない場合

画面回転ボタンを使用して、表示画像を見やすい向きに回転させます —画面回転ボタンの詳細に関しては、61 ページの「タブレットボタンの使い方」を参照してください。Tablet PC とプロジェクタの併用の詳細に関しては、91 ページの「プロジェクタでの Tablet PC の 使い方」を参照してください。

電源ライト

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

Tablet PC の電源ボタン LED リングが光り、点滅または点灯したままで、異なる状態を示します。

- 電源ライトが青色に点滅している場合は、コンピュータはスリープモードまたはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。
- 電源ライトが消灯している場合、コンピュータの電源が切れているか、電源が供給されていないかのいずれかです。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方に抜き差しします。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源タップがオンになっていることを確認します。
- 電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどをお使いの場合、それらを取り外してコンピュータに正しく電源が入るか確認します。
- 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

• 電源ライトが青色に点滅している場合は、コンピュータに電力は供給されているが、内部電源に問題がある可能性があります。

• 電源ライトが橙色に点灯している場合、デバイスが誤動作しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。
  - メモリモジュールを取り外してから、再度取り付けなおします（163 ページの「メモリ」を参照）。

• 干渉を排除します。電気的な妨害の原因には、以下のものがあります。
  - 電源ケーブル、キーボードケーブル、およびマウス延長ケーブル
  - 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
  - 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

9

セットアップユーティリティ画面の使い方

概要

メモ：セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。（**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。）オペレーティングシステムの機能設定の詳細に関しては、**Start**（スタート）（Windows® XP の場合は **スタート**）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックしてください。

以下のような場合に、セットアップユーティリティを使用します。

- ユーザーが選択可能な機能、たとえば Tablet PC のパスワードを設定または変更する場合
- システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

Tablet PC をセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在の Tablet PC のセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードディスクドライブのパスワード設定

メモ：熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアッププユーティリティプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えると Tablet PC が正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面の表示

1 Tablet PC の電源を入れます（または再起動します）。
2 DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。ここで入力が遅れて、Microsoft® Windows® ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、Tablet PC をシャットダウンして、もう一度やりなおします。

メモ : セットアップユーティリティ画面上の特定のオプションの情報を参照するには、そのオプションをハイライト表示して、画面の **Help** 領域を参照してください。

各画面で、セットアップユーティリティのオプションは左側に表示されます。各オプションの右側には、オプションの設定またはオプションの数値が表示されています。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。Tablet PC で自動設定され、変更できないオプションまたは数値は、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示され、画面の右下角には、Tablet PC のシステム情報が表示されています。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

通常使用するオプション

特定のオプションでは、新しい設定が有効となるように Tablet PC を再起動する必要があります。

メモ : このマニュアルの情報は、セットアップ画面に表示されるオプションと異なる場合があります。特定の使用法については、セットアップ画面に表示されるオプションと手順を参照してください。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかを Tablet PC に知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

メモ : 一回のみ起動順序を変更するには、139 ページの「一回のみの起動の実行」を参照してください。

Boot Order ページでは、お使いの Tablet PC に搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- Modular Bay HDD
- Internal HDD
- Optical Drive

起動ルーチン中に、Tablet PC は有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。Tablet PC がファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示し）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは白く表示され、左側に小さな三角形が表示されます。無効なアイテムは青色または暗く表示され、三角形は付いていません。
- デバイス一覧を再び指示するには、デバイスをハイライト表示して、<U> または <D>（大文字と小文字を区別しない）を押して、ハイライト表示されたデバイスを上または下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードディスクドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. **スタート**（Windows Vista® の場合は ）メニューから Tablet PC をシャットダウンします。
2. Tablet PC がドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. Tablet PC をコンセントに接続します。

4 Tablet PC の電源を入れます。DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12>
＜ F12 ＞を押します。

入力が遅れて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、Tablet PC をシャットダウンして、もう一度やりなおします。

5 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。

Tablet PC は選択されたデバイスを起動します。

次回 Tablet PC を再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

10

ソフトウェアの再インストール

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Tablet PC には、必要なドライバおよびユーティリティが出荷時にすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

注意：『Drivers and Utilities』メディアには、お使いの Tablet PC に搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも収録されている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは、お使いの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合には、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバを更新してください。

1 **Start**（スタート） をクリックし、**Computer**（コンピュータ）を右クリックします。

   Windows XP では、**スタート** をクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。

2 **Property**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。

   Windows XP では、**プロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ** をクリックします。

メモ : Windows Vista® では、**User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示される場合があります。Tablet PC のシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合は、システム管理者に問い合わせて続行します。

リストを下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符 [**!**]）の付いた黄色い丸があるデバイスがあるかを確認します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要になる場合があります（142 ページの「ドライバとユーティリティの再インストール」を参照）。

ドライバとユーティリティの再インストール

注意 : デルサポートサイト **support.jp.dell.com** および『Drivers and Utilities』メディアでは、Dell™ コンピュータ用に承認済みのドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールした場合、お使いの Tablet PC が正しく動作しないことがあります。

Windows デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、Tablet PC に問題が発生した場合、Windows のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

1 **Start**（スタート） をクリックし 、**Computer**（コンピュータ）を右クリックします。

   Windows XP では、**スタート** をクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。

2 **Property**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。

   Windows XP では、**プロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ** をクリックします。

   メモ : Windows Vista では、**User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示される場合があります。Tablet PC のシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合は、システム管理者に問い合わせてデバイスマネージャを起動します。

3 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**Properties**（プロパティ）をクリックします。

4 **Drivers**（ドライバ）タブ → **Roll Back Driver**（ドライバのロールバック）をクリックします。

デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合は、システムの復元（145 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

Drivers and Utilities メディアの使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元（145 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照）で問題を解決できない場合、『Drivers and Utilities』メディアからドライバを再インストールします。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。

   ほとんどの場合、CD または DVD は自動的に実行されます。実行されない場合、Windows エクスプローラを起動し、CD または DVD ドライブのディレクトリをクリックして CD または DVD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD または DVD をはじめて使用する場合、セットアップファイルをインストールするように表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面の指示に従って続行します。

3 ツールバーの **言語** ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語（利用可能な場合）をクリックします。

4 開始画面で、**Next**（次へ）をクリックし、CD または DVD がハードウェアのスキャンを完了するまで待ちます。

5 その他のドライバとユーティリティを検出するためには、**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム** および **トピック** ドロップダウンメニューから該当する分類項目を選択します。

   Tablet PC で使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

6 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。

7 **インストール** ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

   インストール ボタンが表示されない場合は、自動インストールを選択できません。インストールの手順については、以下の該当する手順を参照するか、または **解凍** をクリックして展開手順に従い、readme ファイルを参照してください。

   ドライバファイルへ移動するように指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで CD または DVD のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

手作業によるドライバの再インストール

前項で記述されているように、お使いのハードディスクドライブにドライバファイルを解凍してから、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート）をクリックし、**Computer**（コンピュータ）を右クリックします。

   Windows XP では、**スタート** をクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。

2 **Property**（プロパティ）→ **Device Manager**（デバイスマネージャ）をクリックします。

   Windows XP では、**プロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ** をクリックします。

   メモ : Windows Vista では、**User Account Control**（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示される場合があります。Tablet PC のシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合は、システム管理者に問い合わせてデバイスマネージャを起動します。

3 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**オーディオ** または **ビデオ**）。

4 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。

5 **Driver**（ドライバ）→ **Update Driver**（ドライバの更新）→ **Browse my computer for driver software**（マイコンピュータでドライバソフトウェアを参照）をクリックします。

メモ : Windows XP では、ハードウェアの更新ウィザードが表示される場合があります。この場合には、残りの手順を行わずにウィザードの指示に従ってください。

6 **Browse**（参照）をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。

7 該当するドライバの名前が表示されたら、そのドライバ名をクリック → **OK**→ **Next**（次へ）とクリックします。

8 **Finish**（完了）をクリックして、Tablet PC を再起動します。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- システムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、お使いの Tablet PC を以前の稼働状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- Dell Factory Image Restore は、お使いのハードディスクドライブを、Tablet PC を購入されたときの状態に戻します。ハードディスクドライブのすべてのデータおよび Tablet PC を受け取られてから後にインストールされたすべてのプログラムが永久に削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、Dell Factory Image Restore を使用してください。
- お使いの Tablet PC に『オペレーティングシステム』ディスクが付属している場合は、これを使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』ディスクを使用すると、ハードディスクドライブ上のデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合 *のみ*、このディスクを使用してください。

Microsoft Windows システムの復元

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したため Tablet PC が正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows オペレーティングシステムのシステムの復元オプションを使用して、Tablet PC を以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元で Tablet PC に行った変更はすべて元の状態へ完全に戻すことが可能です。

注意 : データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。

メモ : このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ Tablet PC を Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

システムの復元の開始

システムの復元を使用すると、システムを以前の状態に戻すことができます。システムの復元により不具合が解決しない場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことが可能です。

Windows Vista

1 **Start**（スタート） をクリックします。
2 **Search**（検索）ボックスで System Restore（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。

メモ : User Account Control（ユーザーアカウントコントロール）ウィンドウが表示されます。Tablet PC のシステム管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。システム管理者ではない場合は、システム管理者に問い合わせて目的の操作を続行します。

3 **Next**（次へ）をクリックして、表示される画面の指示に従って残りの処理を行います。

Windows XP

1 **スタート** → **ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **検索** ボックスでシステムの復元と入力し、<Enter> を押します。
3 検索結果に表示されるとおりに、**システムの復元ウィザードを実行する** を選択します。
4 **次へ** をクリックして、表示される画面の指示に従って残りの処理を行います。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意 : 最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまでは、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

Windows Vista

1 **Start**（スタート） をクリックします。
2 **Start Search**（検索の開始）ボックスで、System Restore（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。
3 **Undo my last restoration**（以前の復元を取り消す）を選択して、**Next**（次へ）をクリックします。

Windows XP

1 **スタート** → **ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **検索** ボックスでシステムの復元と入力し、<Enter> を押します。
3 検索結果に表示されるとおりに、**システムの復元ウィザードを実行する** を選択します。

4 **最後のシステムの復元を取り消す** を選択します。
5 **次へ** をクリックして、表示される画面の指示に従って残りの処理を行います。

Dell Factory Image Restore の使い方

注意 : Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードディスクドライブのすべてのデータは永久に削除され、Tablet PC を受け取られてから後にインストールされたすべてのプログラムやドライバも取り除かれます。このオプションを使用する前にデータをバックアップしてください。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、Dell Factory Image Restore を使用してください。

メモ : Dell Factory Image Restore は、一部の国および一部のコンピュータでは使用できない場合があります。

Dell Factory Image Restore は、オペレーティングシステムを復元する最終手段としてのみ使用してください。これらのオプションは、お使いのハードディスクドライブを Tablet PC を購入したときの動作状態に復元します。Tablet PC を受け取られてから追加されたデータファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードディスクドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。Dell Factory Image Restore を使用する前に、すべてのデータをバックアップします。

1 Tablet PC の電源を入れます。Dell のロゴが表示されたら、<F8> を何回か押して、Vista Advanced Boot Options Window（Vista 詳細起動オプションウィンドウ）へアクセスします。
2 **Repair Your Computer**（コンピュータの修理）を選択します。

   System Recovery Options（システムリカバリオプション）ウィンドウが表示されます。

3 キーボードのレイアウトを選択し、**Next**（次へ）をクリックします。
4 リカバリオプションへアクセスするには、ローカルユーザーとしてログオンします。コマンドのプロンプトへアクセスするには、ユーザー名のフィールドに `administrator`（システム管理者）と入力し、**OK** をクリックします。
5 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。

   メモ : 設定によっては、**Dell Factory Tools**、次に **Dell Factory Image Restore** を選択する必要がある場合があります。

   Dell Factory Image Restore へようこそ画面が表示されます。

6 **Next**（次へ）をクリックします。

   Confirm Data Deletion（データ削除の確認）画面が表示されます。

注意 : Dell Factory Image Restore をこれ以上進めたくない場合は、**Cancel**（キャンセル）をクリックします。

7 ハードディスクドライブの再設定を続行し、出荷時のシステムソフトウェアを回復する確認をするチェックボックスをクリックし、**Next**（次へ）をクリックします。

復元プロセスが完了するまでに、5 分以上かかる場合があります。オペレーティングシステムと工場出荷時インストールされたアプリケーションが出荷時の状態に回復されるとメッセージが表示されます。

8 **Finish**（終了）をクリックし、システムを再起動します。

オペレーティングシステムメディアの使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、まず Windows のデバイスドライバのロールバックを試してみます。142 ページの「Windows デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照してください。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。145 ページの「Microsoft Windows システムの復元」を参照してください。

注意 : インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードディスクドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。標準的なハードディスクドライブ構成において、プライマリハードディスクドライブは Tablet PC によって最初に認識されるドライブです。

Windows を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™『オペレーティングシステム』メディア
- Dell『Drivers and Utilities』メディア

メモ : Dell『Drivers and Utilities』メディアには、Tablet PC の組み立て時に工場でインストールされたドライバが含まれています。Dell『Drivers and Utilities』メディアを使って、必要なドライバをロードします。お使いの Tablet PC の購入場所、メディアの注文の有無によっては、Dell『Drivers and Utilities』メディア および『オペレーティングシステム』メディアが Tablet PC に付属されていない場合もあります。

オペレーティングシステムの再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。

メモ : Windows XP を再インストールする際は、外部から電源供給される USB 光学ドライブに『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。

3 `Windows のインストール` のメッセージが表示されたら、**終了** をクリックします。

4 Tablet PC を再起動します。

DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

メモ : キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、Tablet PC をシャットダウンして再度試みます。

メモ : 次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、Tablet PC はセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

5 起動デバイスのリストが表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して <Enter> を押します。

6 いずれかのキーを押して **CD-ROM から起動します**。

7 画面の指示に従ってインストールを完了します。

11

部品の増設および交換

作業を開始する前に

本章では、Tablet PC のコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指定のない限り、それぞれの手順では以下の条件を前提とします。

- 151 ページの「Tablet PC の電源を切る」および 152 ページの「Tablet PC 内部の作業を始める前に」の手順をすでに完了していること。
- Dell™ の『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。

奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- 細めのプラスドライバ
- やや細めプラスドライバ
- 細めのプラスチックスクライブ
- Flash BIOS アップデートプログラム CD

Tablet PC の電源を切る

注意 : データの損失を避けるため、Tablet PC の電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。

- **Windows Vista の場合**

  Start（スタート）をクリックし、次に示すように **Start**（スタート）メニューの右下端の矢印をクリックしてから **Shut Down**（シャットダウン）をクリックします。



- **Windows XP の場合**

  スタート → **終了オプション** → **電源を切る** とクリックします。

  オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが完了すると、Tablet PC の電源が切れます。

2 Tablet PC と取り付けられているすべてのデバイスの電源が切れているか確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしても、Tablet PC および接続されているデバイスの電源が自動的に切れない場合は、電源ボタンを約 4 秒間押し続けて電源を切ります。

Tablet PC 内部の作業を始める前に

Tablet PC の損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の安全ガイドに従ってください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。

注意 : Tablet PC の修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

注意 : ケーブルを外すときは、コネクタまたはプルタブの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ケーブルによってはコネクタにロックタブが付いていることがあります。このタイプのケーブルを外す場合は、ロックタブを押し込んでからケーブルを抜いてください。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。

注意 : Tablet PC の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1 Tablet PC のカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。

2 Tablet PC の電源を切ります（151 ページの「Tablet PC の電源を切る」を参照）。

3 Tablet PC がドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。205 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースからのドッキング解除」または 213 ページの「お使いの Tablet PC のバッテリスライスからのドッキング解除」を参照してください。

注意 : ネットワークケーブルを取り外すには、まずケーブルを Tablet PC から外し、次に壁のネットワークデバイスから外します。

4 Tablet PC からすべてのネットワークケーブルを外します。

5 Tablet PC および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。

6 ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上に Tablet PC を裏返します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC で作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

7 メインバッテリを取り外します（153 ページの「メインバッテリの取り外し」を参照）。

8 Tablet PC の表側を上にします。

9 ディスプレイを開きます。

10 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

警告 : 感電を防ぐため、ディスプレイを開く前は必ず、Tablet PC の電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意 : Tablet PC 内部の部品に触れる前に、Tablet PC の背面など塗装されていない金属面に触れて、静電気を身体から除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を除去してください。

11 取り付けられている ExpressCard またはスマートカードを該当するスロットからすべて取り外します（88 ページの「ExpressCard の取り外し」を参照）。

12 ハードディスクドライブを取り外します（155 ページの「ハードディスクドライブの取り外し」を参照）。

メインバッテリ

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : Tablet PC の修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

メモ : お使いの Tablet PC のサービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンスラベルは、お使いの Tablet PC のメインバッテリの下にあるバッテリベイに貼られています。

メインバッテリの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 Tablet PC の電源を切ります（151 ページの「Tablet PC の電源を切る」を参照）。

3 Tablet PC がオプションのメディアベースまたはバッテリスライスなどのドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。205 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースからのドッキング解除」または 213 ページの「お使いの Tablet PC のバッテリスライスからのドッキング解除」を参照してください。

注意 : ネットワークケーブルを取り外すには、まずケーブルを Tablet PC から外し、次に壁のネットワークデバイスから外します。

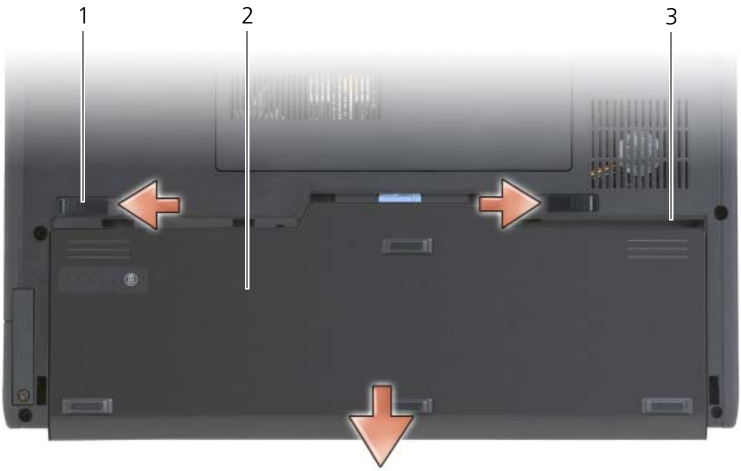
4 Tablet PC からすべてのネットワークケーブルを外します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC で作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

5 ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上に Tablet PC を裏返します。

6 Tablet PC の底面にある 2 つのバッテリベイリリースラッチをそれぞれ外側にスライドさせます。

7 メインバッテリをスライドさせて、バッテリベイから取り外します。



1	バッテリリリースラッチ（2）	2	バッテリ
3	バッテリベイ		

メインバッテリの取り付け

1 メインバッテリとバッテリベイの側面を合わせます。

2 カチッという感触があるまでメインバッテリをバッテリベイにスライドし、バッテリを完全に正しく装着します。

3 平らな作業台の上で Tablet PC の表側を上にして置き、ディスプレイを開きます。

4 ネットワークケーブルをすべて接続します。

5 電源ボタンを押して、Tablet PC の電源を入れます。

ハードディスクドライブ

警告：ドライブがまだ熱いうちにハードディスクドライブを Tablet PC から取り外す場合は、ハードディスクドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。

警告：Tablet PC 内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意：データの損失を防ぐため、ハードディスクドライブを取り外す前に必ず Tablet PC の電源を切ってください（151 ページの「Tablet PC の電源を切る」を参照）。Tablet PC の電源が入っているとき、スリープモードのとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードディスクドライブを取り外さないでください。

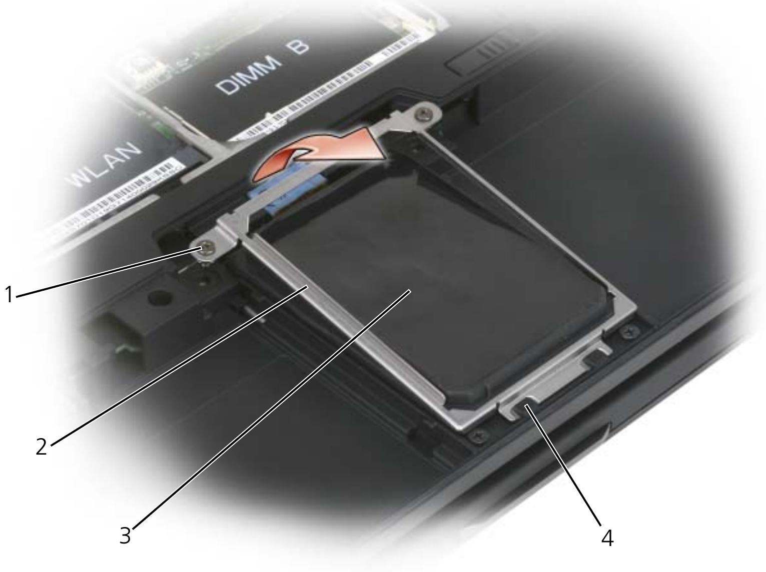
注意：ハードディスクドライブは大変壊れやすく、わずかにぶつけただけでもドライブが損傷を受ける場合があります。

メモ：デルでは、デル製以外のハードディスクドライブの互換性の保証やサポートは行っていません。

ハードディスクドライブの取り外し

1. 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2. Tablet PC を裏返して、ハードディスクドライブを固定している金属製ブラケットにある 2 本のネジを緩めます。

注意：ハードディスクドライブを Tablet PC に取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。製品情報ガイドの「静電気障害への対処」を参照してください。



1	ネジ（2）	2	金属製ブラケット
3	ハードディスクドライブ	4	固定タブ（2）

3 金属製ブラケットの側面を持ち、Tablet PC の背面方向にスライドさせて 2 つの金属製クリップからブラケットを外し、横へ置いておきます。

4 プルタブを使ってシステム基板コネクタからハードディスクドライブケーブルを外し、ハードディスクドライブを Tablet PC から取り外します。



1	プルタブ	2	ハードディスクドライブ
3	位置合わせ用リブ		

ハードディスクドライブの取り付け

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

注意 : ハードディスクドライブを Tablet PC に取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『製品情報ガイド』の「静電気障害への対処」を参照してください。

2 新しいドライブを梱包から取り出します。

ハードディスクドライブを保管するためや配送のために、梱包を保管しておいてください。

注意 : ドライブを所定の位置に挿入するには、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。

3 ハードディスクドライブをハードディスクドライブベイに装着し、ベースのハードディスクドライブ位置合わせ用リブの間にしっかりと装着します。

4 ハードディスクドライブケーブルをシステム基板コネクタに接続します。

5 金属製ブラケットの 2 つの金属製タブをハードディスクドライブベイの金属製クリップの下に差し込み、ハードディスクドライブの上にブラケットを下ろします。
6 金属製ブラケットの 2 本のネジを締めます。
7 『オペレーティングシステム』メディアを使用して、お使いの Tablet PC のオペレーティングシステムをインストールします（148 ページの「オペレーティングシステムメディアの使い方」を参照）。
8 『Drivers and Utilities』メディアを使って、お使いの Tablet PC のドライバとユーティリティをインストールします（143 ページの「Drivers and Utilities メディアの使い方」を参照）。

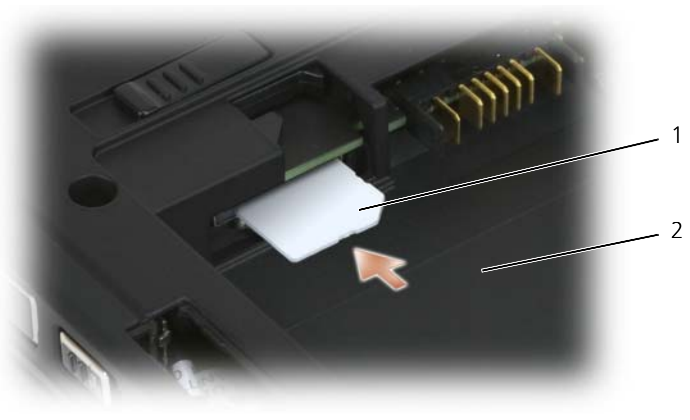
SIM カード

注意 : SIM カードを静電気放出（ESD）から保護するため、SIM カードコネクタには触れないでください。また、カードを取り外す際には、カードをスロットから持ち上げる前に、注意してカードを金属製タブから完全にスライドさせて外します。カードは壊れやすく、破損する可能性があります。

メモ : SIM カードはバッテリベイにあります。SIM カードに触れる前にメインバッテリを取り外す必要があります。

SIM カードの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 SIM カードを押し込んで、リリースします。
3 SIM カードスロットから SIM カードを引き出し、保管しておきます。



1	SIM カード	2	バッテリベイ

メモ : SIM カードを取り付ける際には、カードの角が欠けている方を Tablet PC の前面方向に向け、SIM カードを SIM カードスロットに挿入します。

SIM カードの取り付け

1 角が切り取られている方を Tablet PC の前面方向に向けて SIM カードをスロットに挿入します。

2 カードがコネクタに完全に装着されるまで押します。

メモ : カードがバッテリベイに出ている場合、カードは完全には取り付けられていません。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カード

警告 : 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、Tablet PC の背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードを購入された場合は、お使いの Tablet PC にすでに取り付けられています。

内蔵カードキャディの取り外し

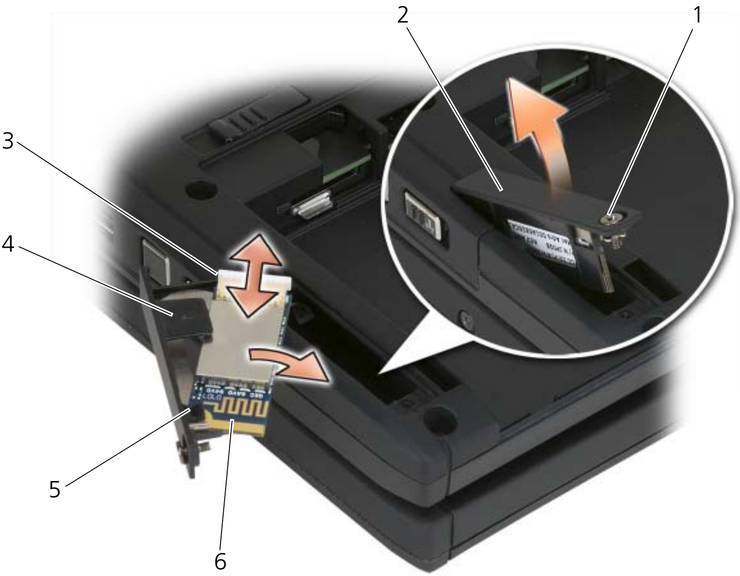
お使いの Tablet PC に Bluetooth ワイヤレステクノロジが使用されている場合、Bluetooth カードは内蔵カードキャディに取り付けられています。

注意 : お使いの Tablet PC の内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を除去してください。

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上に Tablet PC を裏返して置きます。コンピュータの前面が自分に向くようにします。

3 内蔵カードキャディを見つけます。内蔵カードキャディは、前方左隅にあります（下図を参照）。



1	ネジ	2	カードキャディ
3	ケーブルコネクタ	4	プラスチック製位置合わせタブ
5	プラスチック製固定タブ	6	Bluetooth カード

注意 : カードを取り外すときは、カード、カードケーブル、および周辺の部品を傷つけないよう注意してください。

4 ネジを緩め、ネジの付いている端を最初に持ち上げて、カードキャディを Tablet PC からを慎重に取り外します。カードキャディにカードが取り付けられている場合、接続ケーブルに無理な力を加えないようにしてください。

5 カードキャディにカードが取り付けられている場合、カードからケーブルを外します。プラスチック製固定タブ を慎重に持ち上げて、カードをキャディからスライドさせて取り外します。

6 カードキャディにカードが取り付けられていない場合、カードキャディを取り外した箇所からケーブルを見つけ、コネクタのある端を慎重に取り出してアクセスできるようにします。

Bluetooth カードの取り付け

注意 : お使いの Tablet PC の内部に触れる前に、Tablet PC の背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください- 。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を除去してください。

1. カードキャディに Bluetooth カードを挿入し、穴の開いた角をプラスチック製固定タブの下にスライドさせます。カードのコネクタのある端が、カードキャディのネジが付いている端と反対方向を向いているようにしてください。
2. Bluetooth カードケーブルをカードに接続します。
3. 余分なケーブルを下図の通り折り畳み、カードの横にまとめます。



4. タブの付いている端からカードキャディをベースに挿入し、次にネジの付いている端をベースに差し込みます。下図を参照してください。



5 ネジを締めます。

メインバッテリの取り付け

1 メインバッテリとバッテリベイの側面を合わせます。
2 カチッという感触があるまでメインバッテリをバッテリベイにスライドし、バッテリを完全に正しく装着します。バッテリリリースタブがユニットの中心に向かって配置されていることを確認してください。
3 Tablet PC を平らな作業台の上に表向きに置き、ディスプレイを開けます。
4 必要に応じて Tablet PC をドッキングするかケーブルを再接続、あるいはその両方を行います。
5 電源ボタンを押して Tablet PC の電源を入れます。オペレーティングシステムが正常に起動することを確認します。

メモリおよびミニカードカバー

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC で作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

メモリカバーおよびミニカードカバーの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 Tablet PC を裏返して、メモリカバーおよびミニカードカバーの 2 本のネジを緩め、カバーを取り外します。



メモリカバーおよびミニカードカバーの取り付け

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 Tablet PC を裏返し、カバーを所定の位置にはめ込み、メモリカバーおよびミニカードカバーの 2 本のネジを締めます。

メモリ

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、Tablet PC のメモリ容量を増やすことができます。お使いの Tablet PC に対応するメモリの情報については、41 ページの「仕様」を参照してください。必ずお使いの Tablet PC 用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従ってください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC で作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

メモリモジュールの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 メモリカバーおよびミニカードカバーを取り外します。163 ページの「メモリカバーおよびミニカードカバーの取り外し」を参照してください。

メモ：デルから購入されたメモリモジュールは、お使いの Tablet PC の保証範囲に含まれます。

注意：メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

3 Tablet PC 背面にある金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

4 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

5 モジュールをコネクタから取り外し、横に置いておきます。

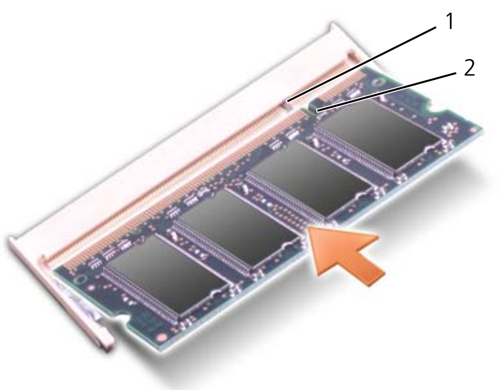
メモリモジュールの取り付け

1 Tablet PC 背面にある金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

メモ：メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、Tablet PC は正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

2 モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。

3 モジュールを 45 度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。



1	タブ	2	切り込み

4 メモリカバーおよびミニカードカバーを取り付けて、2 本のネジを締めます（163 ページの「メモリカバーおよびミニカードカバーの取り付け」を参照）。

注意 : カバーが閉まりにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、Tablet PC を破損する恐れがあります。

5 バッテリをバッテリベイに取り付けるか、または AC アダプタを Tablet PC およびコンセントに接続します。

6 Tablet PC の電源を入れます。

Tablet PC は起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

Tablet PC に取り付けられているメモリの容量を確認するには、次の手順を実行します。

- Windows Vista の場合、**Start**（スタート）をクリックし、**Computer**（コンピュータ）→ **Properties**（プロパティ）を右クリックします。
- Windows XP の場合、**スタート** をクリックし、**マイコンピュータ** → **プロパティ** を右クリックします。

ミニカード

お使いの Tablet PC は、ワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）カードおよびワイヤレス LAN（WLAN）カードに対応しています。システム基板の各コネクタは異なりますが、どちらのミニカードも取り付け方法は同じです。お使いの Tablet PC と同時にミニカードを注文された場合は、カードはすでに取り付けられています。

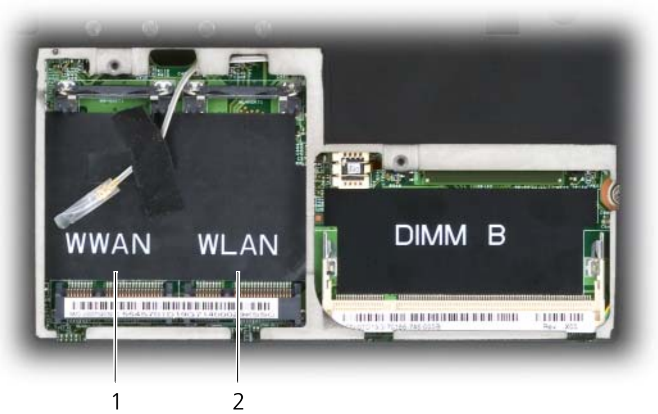
警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC で作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

ミニカードの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 メモリカバーおよびミニカードカバーを取り外します。163 ページの「メモリカバーおよびミニカードカバーの取り外し」を参照してください。



1	WWAN スロット	2	ワイヤレス LAN スロット

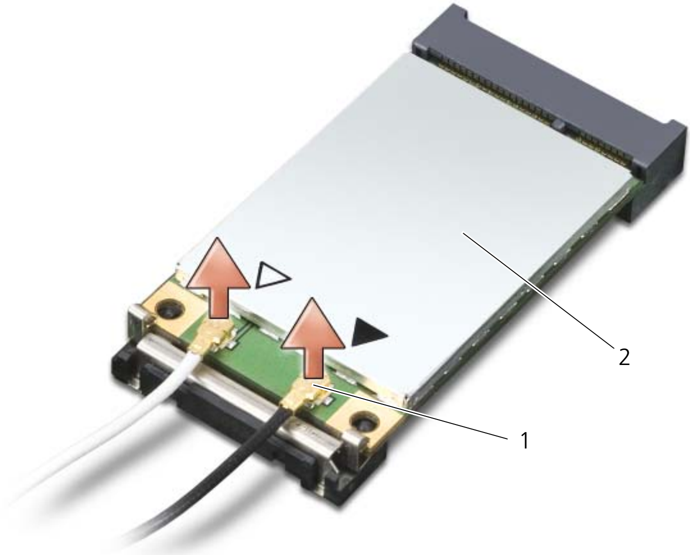
3 Tablet PC 背面にある金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

メモ : 作業場を離れた後、Tablet PC に戻るときには再び静電気を除去してください。

4 ケーブルをカードから外します。

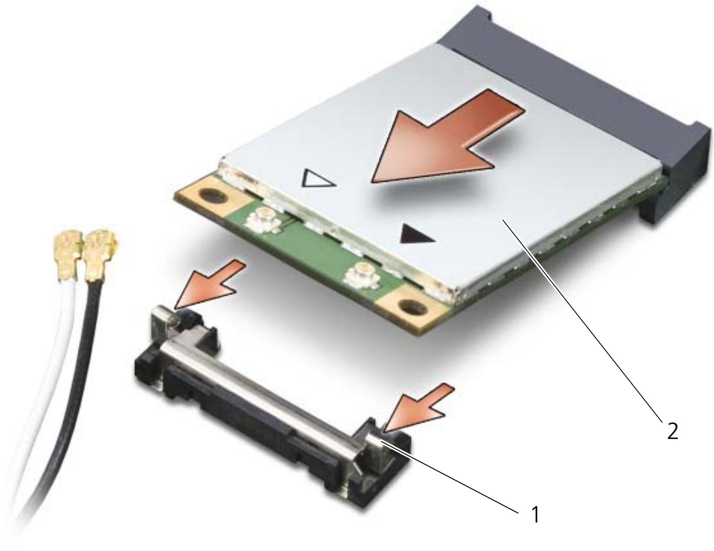
メモ : ワイヤレス LAN ミニカードを取り付けている場合、黒色および白色のケーブルはワイヤレス LAN ミニカードで使用します。WWAN ミニカードを取り付けている場合、白縞の灰色、白縞の黒色、および灰色のケーブルは WWAN ミニカードで使用します。

メモ : お持ちのミニカードのタイプによっては、一部のケーブルは使用されていない場合があります。



1	アンテナケーブルコネクタ（2）	2	ミニカード

5 カードがわずかに浮き上がるまで、金属製の固定タブをカードから押し離して、カードを取り出します。



1	金属製固定タブ（2）	2	ミニカード

6 カードを 45 度の角度でスライドさせて、コネクタから引き出します。

ミニカードの取り付け

注意 : ミニカードの損傷を避けるため、カードの上や下に決してケーブルを置かないでください。

注意 : コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。

メモ : お持ちのミニカードのタイプによっては、一部のケーブルは使用されていない場合があります。

メモ : モバイルブロードバンド（WWAN）ネットワークアダプタをワイヤレス LAN カードコネクタに差し込まないください。または、反対にワイヤレス LAN ネットワークアダプタを WWAN カードコネクタに差し込まないでください。

メモ : ミニカードには、注文したカードタイプによって 2 つまたは 3 つのコネクタが付いています。

1 邪魔になるアンテナケーブルを移動して、ミニカードのための場所を確保します。

2 カードを 45 度の角度でコネクタに合わせ、カチッという感触が得られるまで、カードをコネクタに押し込みます。

メモ : どのケーブルをどのコネクタに接続するかという具体的な情報に関しては、お使いのミニカードに付属のマニュアルを参照してください。

3 ケーブルをミニカードに接続して、ケーブルを正しく配線します。

4 メモリカバーおよびミニカードカバーを取り付けて、2 本のネジを締めます。163 ページの「メモリカバーおよびミニカードカバーの取り付け」を参照してください。

ヒンジカバー

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（Tablet PC の背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : ヒンジカバーは壊れやすいので、無理な力を加えると損傷する可能性があります。ヒンジカバーの取り外しには注意してください。

ヒンジカバーの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 Tablet PC の表側を上にしてディスプレイを完全に（180 度）開き、作業面に対して平らになるようにします。

注意 : ヒンジカバーへの損傷を防ぐため、カバーの両側を同時に持ち上げないでください。ヒンジカバーを上記以外の方法で取り外すと、プラスチックが破損する恐れがあります。



1	ヒンジカバー	2	プラスチックスクライブ
3	くぼみ		

3 Tablet PC の右側から、プラスチックスクライブを使ってヒンジカバーをてこのようにして持ち上げます。右側から左側に向かってカバーを Tablet PC から引き上げていき、カバーを取り外します。取り外したカバーは横に置いておきます。

ヒンジカバーの取り付け

1 カバーの左側の縁を所定の場所に差し込みます。

2 カバーがカチッと所定の位置に収まるまで、左から右に向かって押し込みます。

キーボード

警告 : 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、または Tablet PC の背面パネルなど塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

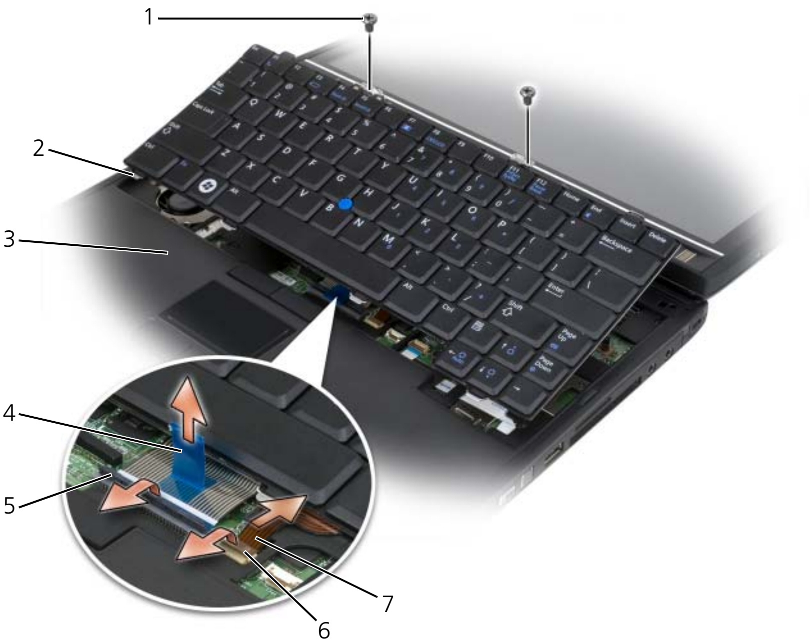
キーボードの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従います。

2 ヒンジカバーを取り外します（169 ページの「ヒンジカバーの取り外し」を参照）。

注意：キーボード上のキーキャップは壊れたり、外れたりしやすく、また取り付けに時間がかかります。キーボードの取り外しや取り扱いには注意してください。

3 キーボードの上の回転ヒンジの両側にある 2 本の M2 x 3 mm ネジを外します。



1	ネジ（2）	2	キーボードタブ（4）
3	パームレスト	4	キーボードケーブルプルタブ
5	キーボードケーブルロックアーム	6	トラックスティックケーブルロックアーム
7	トラックスティックケーブル		

メモ：手順 4 でキーボードを慎重に持ち上げる時は、キーボードケーブルを引っ張らないよう注意してください。

4 キーボードを上に 45 度回し、キーボードコネクタにアクセスできるようにします。

5 キーボードケーブルロックアームを持ち上げ、キーボードケーブルにアクセスします。キーボードケーブルプルタブを引っ張り、キーボードケーブルをコネクタから取り外します（キーボードケーブルプルタブを引っ張って、ロックアームを外さないでください。このようにすると、コネクトおよびキーボードケーブルが損傷します）。

6 コネクタロックアームを持ち上げ、トラックスティックケーブルにアクセスします。トラックスティックケーブルプルタブを引っ張り、トラックスティックケーブルをコネクタから取り外します （トラックスティックケーブルプルタブを引っ張って、コネクタロックアームを外さないでください。このようにすると、コネクトおよびキーボードケーブルが損傷します）。

7 コンピュータからキーボードを持ち上げて外し、横に置いておきます。

キーボードの取り付け

メモ：キーボードを取り付ける場合は、パームレストに傷を付けないように、キーボードタブが完全に所定の位置にはまっているか確認してください。

1 システム基板のトラックスティックケーブルコネクタにトラックスティックケーブルを差し込み、トラックスティックケーブルロックアームを押し下げてケーブルを所定の位置に固定します。トラックスティックケーブルのプルタブを使用して、トラックスティックケーブルをコネクタに取り付けます。

2 システム基板のキーボードケーブルコネクタにキーボードケーブルを差し込み、キーボードケーブルロックアームを押し下げてケーブルを所定の位置に固定します。キーボードケーブルのプルタブを使用して、キーボードケーブルをコネクタに取り付けます。

3 キーボードをわずかな角度をつけて持ち、キーボードの 4 つの金属製タブをパームレストの 4 つの金属製スロットに差し込みます。

4 キーボード上部にある 2 本の M2 x 3 mm ネジを締めます。

5 ヒンジカバーを取り付けます（170 ページの「ヒンジカバーの取り付け」を参照）。

コイン型電池

警告：次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意：静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、Tablet PC の背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意：システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

コイン型電池の取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 ヒンジカバーを取り外します（169 ページの「ヒンジカバーの取り外し」を参照）。
3 キーボードを取り外します（171 ページの「キーボードの取り外し」を参照）。
4 コイン型電池のコネクタをシステム基板のコネクタから外します。
5 指を使って、てこのようにしてシステムベースからコイン型電池を持ち上げます。



1	コイン型電池のコネクタ	2	コイン型電池

コイン型電池の取り付け

1 コイン型電池を所定の位置に置き、バッテリを強く押し付けてベースの粘着テープに貼り付けます。
2 コイン型電池のコネクタをシステム基板のコネクタに取り付けます。
3 キーボードを取り付けます（172 ページの「キーボードの取り付け」を参照）。
4 ヒンジカバーを取り付けます（170 ページの「ヒンジカバーの取り付け」を参照）。

ディスプレイアセンブリ

警告 : 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、Tablet PC の背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

ディスプレイアセンブリの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 ヒンジカバーを取り外します（169 ページの「ヒンジカバーの取り外し」を参照）。

3 キーボードを取り外します（171 ページの「キーボードの取り外し」を参照）。

4 取り付けられているミニカードをすべて取り外します（165 ページの「ミニカードの取り外し」を参照）。

5 プルタブを使用して、システム基板からディスプレイケーブルを取り外します。



1	ディスプレイ	2	M2.5 x 5 mm ネジ（5）
3	ディスプレイコネクタプルタブ	4	ディスプレイケーブルコネクタ
5	アンテナケーブル（3）	6	アンテナチャネル

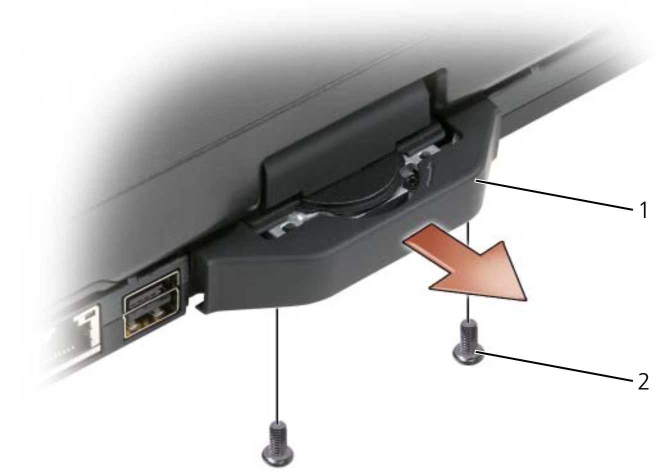
6 ミニカードアンテナケーブルを底部からケーブルチャネルを通してシステムの上部まで配線します。

7 5 本の M2.5 x 5 mm ネジを緩めます。

8 システムを裏返して、次の手順でベースグリップを取り外します。

a 2 本の M2.5 x 5 mm ネジを外します。

b てこのようにして回転ヒンジの背面からベースグリップを取り外し、ベースグリップを横に置いておきます。



1	ベースグリップ	2	M2.5 x 5 mm ネジ（2）

9 システムの表側を上にして、回転ヒンジの上から 2 本の M2.5 x 5 mm ネジを外します。



1 M2.5 x 5 mm ネジ（2）

10 ベースからディスプレイアセンブリを持ち上げて外し、ディスプレイアセンブリを横に置いておきます。

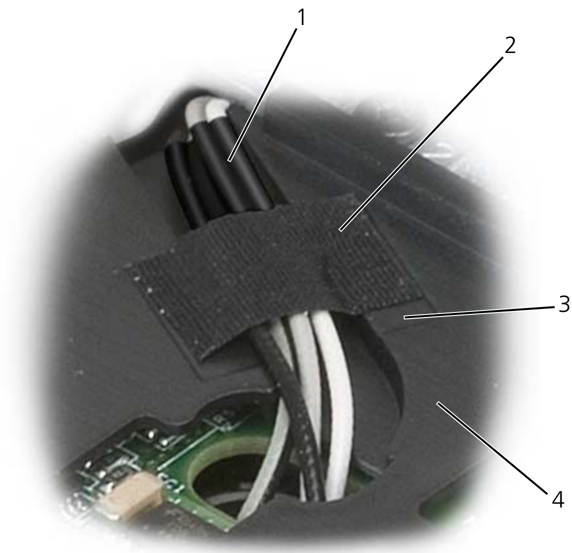
ディスプレイアセンブリの取り付け

1 ディスプレイアセンブリをベースに取り付けます。

2 ミニカードケーブルを上部からアンテナチャネルを通してシステムの底面まで配線します。

アンテナケーブルに巻かれているシュリンクチューブをパームレストの端に合わせます。アンテナケーブルが平らで重なっていない（収納部内に収まっている）ことを確認してください。ディスプレイアセンブリを取り外したときにケーブルからはがしたテープを使用して、アンテナケーブルを固定します。

メモ : ケーブルが収納部にきっちり収まっていない場合、またはパームレストに重なっている場合、キーボードはパームレストで安定しません。



1	シュリンクチューブ	2	テープ
3	テープ収納部	4	パームレスト

3 ディスプレイケーブルをシステムに接続します。このとき、次のことに注意してください。

- プルタブが収納部で平らになっている。ベールワイヤとパームレストが平らになっていない場合、キーボードはパームレスト上で安定しません。
- LCD ケーブルワイヤがパームレスト面に対して平らになっている、またはパームレスト面より下にあり、キーボードがパームレスト上で安定している。



1	ディスプレイ	2	M2.5 x 5 mm ネジ（5）
3	ディスプレイコネクタプルタブ	4	ディスプレイケーブルコネクタ
5	アンテナケーブル（3）	6	アンテナチャネル

4 5 本の M2.5 x 5 mm ネジを締めます。

5 Tablet PC を閉じ、回転ヒンジの背面にアクセスできるように、後ろを手前に向けます。

6 回転ヒンジ上部の 2 本の M2.5 x 5 mm ネジを締めます。

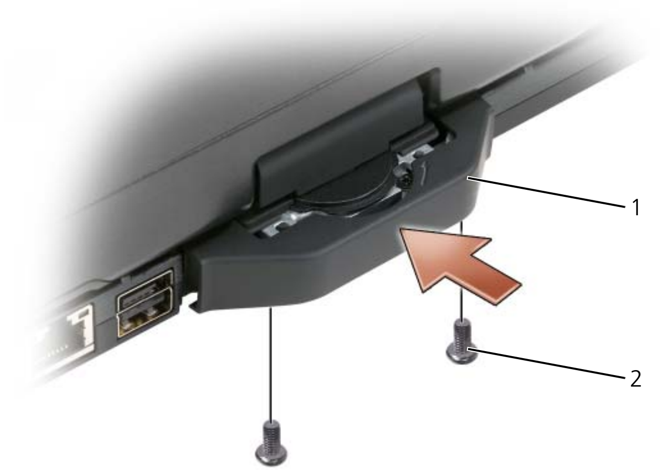


1 M2.5 x 5 mm ネジ（2）

7 Tablet PC を裏返して、次の手順でベースグリップを取り付けます。

a 回転ヒンジの背面にベースグリップを挟み入れます。

b 2 本の M2.5 x 5 mm ネジを締めます。



1	ベースグリップ	2	M2.5 x 5 mm ネジ（2）

8 該当するすべてのミニカードを取り付けます（168 ページの「ミニカードの取り付け」を参照）。

9 キーボードを取り付けます（172 ページの「キーボードの取り付け」を参照）。

10 ヒンジカバーを取り付けます（170 ページの「ヒンジカバーの取り付け」を参照）。

パームレスト

警告 : 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、Tablet PC の背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

パームレストの取り外し

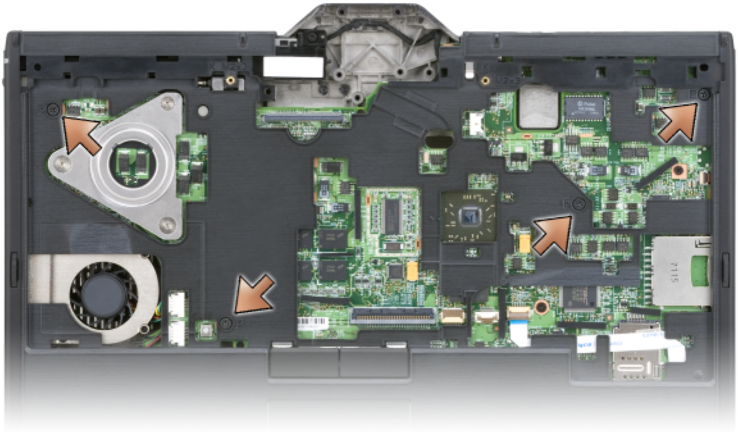
1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 ハードディスクドライブを取り外します（155 ページの「ハードディスクドライブの取り外し」を参照）。

3 ヒンジカバーを取り外します（169 ページの「ヒンジカバーの取り外し」を参照）。
4 ディスプレイアセンブリを取り外します（174 ページの「ディスプレイアセンブリの取り外し」を参照）。
5 キーボードを取り外します（171 ページの「キーボードの取り外し」を参照）。
6 取り付けられているミニカードをすべて取り外します（165 ページの「ミニカードの取り外し」を参照）。
7 タッチパッドケーブルを外します。
8 Tablet PC を裏返し、11 本の M2.5 x 5 mm ネジを外します。

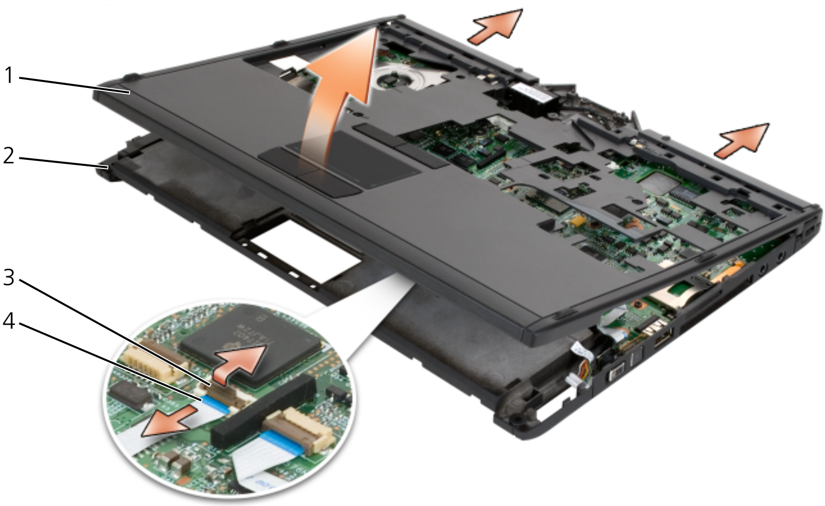


9 Tablet PC の表側から、「P」とラベルの付いた 4 本の M2.5 × 5 mm ネジを外します。



10 指を使ってシステムの前面にある 5 つの留め金を外し、てこのようにしてパームレストからベースの端を取り外します。

11 Tablet PC の表側を上にして、前端をわずかに上に持ち上げて反時計回りに動かし、システム側面および背面の留め金を外します。



1	パームレスト	2	ベース
3	タッチパッドケーブルロックアーム	4	タッチパッドケーブル

パームレストの取り付け

1 パームレストをベースの上に置き、指で反時計回りに押し付けて留め具をパームレストの端にはめ込みます。
2 Tablet PC を裏返し、11 本の M2.5 x 5 mm の底面ネジを締めます。
3 Tablet PC の表側を上にして、「P」とラベルの付いた 5 本の M2.5 x 5 mm ネジを締めます。
4 タッチパッドケーブルをシステム基板コネクタに接続します。
5 ミニカードをすべて取り付けます（168 ページの「ミニカードの取り付け」を参照）。
6 キーボードを取り付けます（172 ページの「キーボードの取り付け」を参照）。
7 ディスプレイアセンブリを取り付けます（177 ページの「ディスプレイアセンブリの取り付け」を参照）。
8 ヒンジカバーを取り付けます（170 ページの「ヒンジカバーの取り付け」を参照）。
9 ハードディスクドライブを取り付けます（157 ページの「ハードディスクドライブの取り付け」を参照）。

システム基板

警告 : 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、Tablet PC の背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

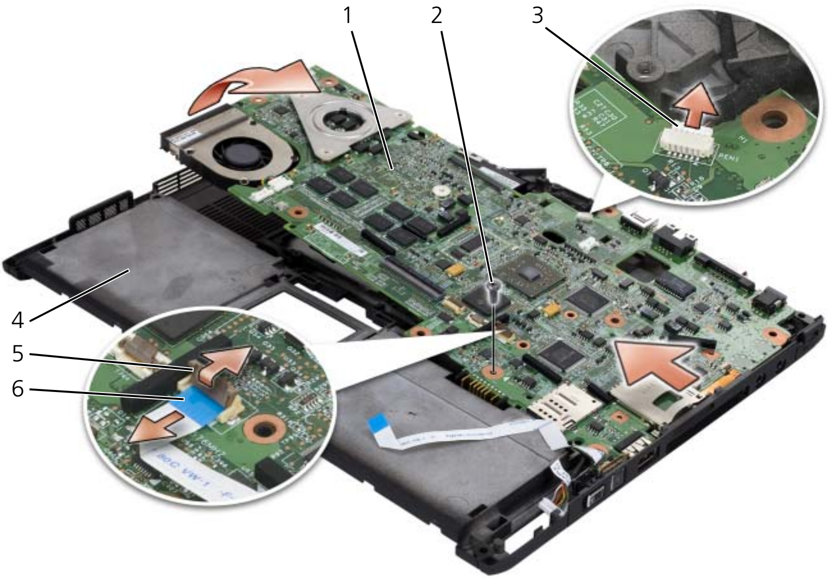
システム基板の取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 ヒンジカバーを取り外します（169 ページの「ヒンジカバーの取り外し」を参照）。
3 ディスプレイアセンブリを取り外します（174 ページの「ディスプレイアセンブリの取り外し」を参照）。
4 キーボードを取り外します（171 ページの「キーボードの取り外し」を参照）。
5 取り付けられているミニカードをすべて取り外します（165 ページの「ミニカードの取り外し」を参照）。
6 パームレストを取り外します（180 ページの「パームレストの取り外し」を参照）。

7 次の手順でベースからスピーカーを取り外します。

a スピーカーケーブルをスピーカーシステム基板コネクタから取り外します。

b ベースからスピーカーを持ち上げて外し、スピーカーを横に置いておきます。



1	システム基板	2	M2.5 x 5 mm ネジ
3	ペンインジケータケーブル	4	ベース
5	ワイヤレススイッチケーブルロックアーム	6	ワイヤレススイッチケーブル

8 ワイヤレススイッチケーブルをシステム基板から外します。

9 ペンインジケータケーブルをシステム基板コネクタから外します。

10 銀色の三角形のマークが付いている M2.5 x 5 mm ネジを外します。

11 システム基板を右から左に持ち上げてベースから取り外し、システム基板を横に置いておきます。

システム基板の取り付け

1 左から右に向かって、システム基板をベースに装着します。

2 システム基板上の、銀色の三角形のマークが付いているネジ穴に M2.5 x 5 mm ネジを差し込んで締めます。

3 ペンインジケータケーブルをシステム基板コネクタに接続します。

4 ワイヤレススイッチケーブルをシステム基板に接続します。

5 次の手順でスピーカーモジュールを取り付けます。

  a ベースにスピーカーを押し下げます。

  b スピーカーケーブルをスピーカーシステム基板コネクタに接続します。

6 パームレストを取り付けます（183 ページの「パームレストの取り付け」を参照）。

7 ミニカードをすべて取り付けます（168 ページの「ミニカードの取り付け」を参照）。

8 キーボードを取り付けます（172 ページの「キーボードの取り付け」を参照）。

9 ディスプレイアセンブリを取り付けます（177 ページの「ディスプレイアセンブリの取り付け」を参照）。

10 ヒンジカバーを取り付けます（170 ページの「ヒンジカバーの取り付け」を参照）。

ファン

警告 : 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意 : 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、Tablet PC の背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

ファンの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 ヒンジカバーを取り外します（169 ページの「ヒンジカバーの取り外し」を参照）。

3 ディスプレイアセンブリを取り外します（174 ページの「ディスプレイアセンブリの取り外し」を参照）。

4 キーボードを取り外します（171 ページの「キーボードの取り外し」を参照）。

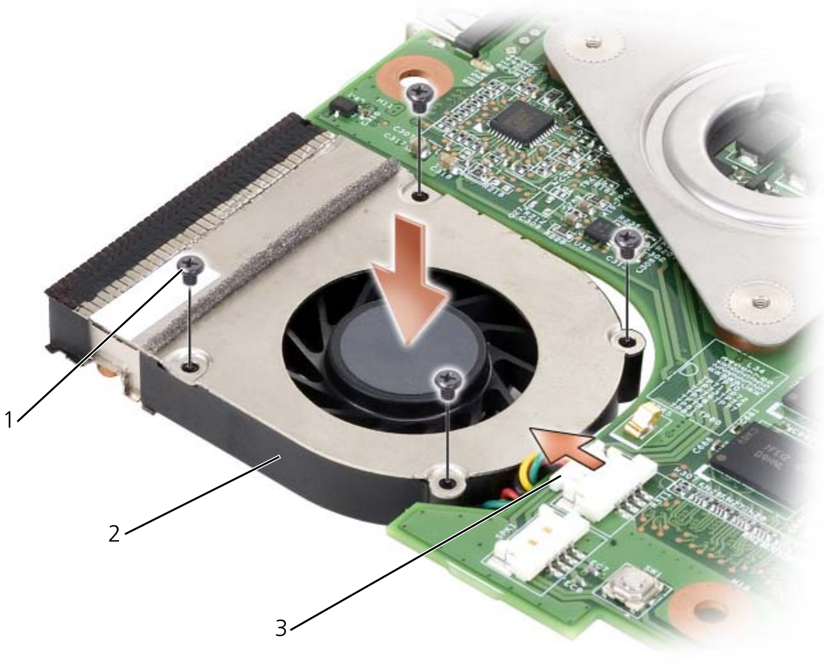
5 取り付けられているミニカードをすべて取り外します（165 ページの「ミニカードの取り外し」を参照）。

6 パームレストを取り外します（180 ページの「パームレストの取り外し」を参照）。

7 システム基板を取り外し（183 ページの「システム基板の取り外し」を参照）、汚れの無い作業台の上に裏返します。

8 ファンのケーブルをシステム基板から取り外します。

9 細めのプラスドライバを使って 4 本の M2 x 3 mm ネジを外し、システム基板からファンを持ち上げて取り外します。



1	M2 x 3 mm ネジ（4）	2	ファン
3	ファンケーブルコネクタ		

ファンの取り付け

1 ファンをシステム基板に装着し、細めのプラスドライバを使って 4 本の M2 x 3 mm ネジを締めます。
2 ファンケーブルをシステム基板に接続します。
3 システム基板を取り付けます（185 ページの「システム基板の取り付け」を参照）。
4 パームレストを取り付けます（183 ページの「パームレストの取り付け」を参照）。
5 キーボードを取り付けます（172 ページの「キーボードの取り付け」を参照）。
6 ディスプレイアセンブリを取り付けます（177 ページの「ディスプレイアセンブリの取り付け」を参照）。
7 ヒンジカバーを取り付けます（170 ページの「ヒンジカバーの取り付け」を参照）。
8 ミニカードをすべて取り付けます（168 ページの「ミニカードの取り付け」を参照）。

ペンおよびホイップアンテナアセンブリ

警告 : 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従ってください。

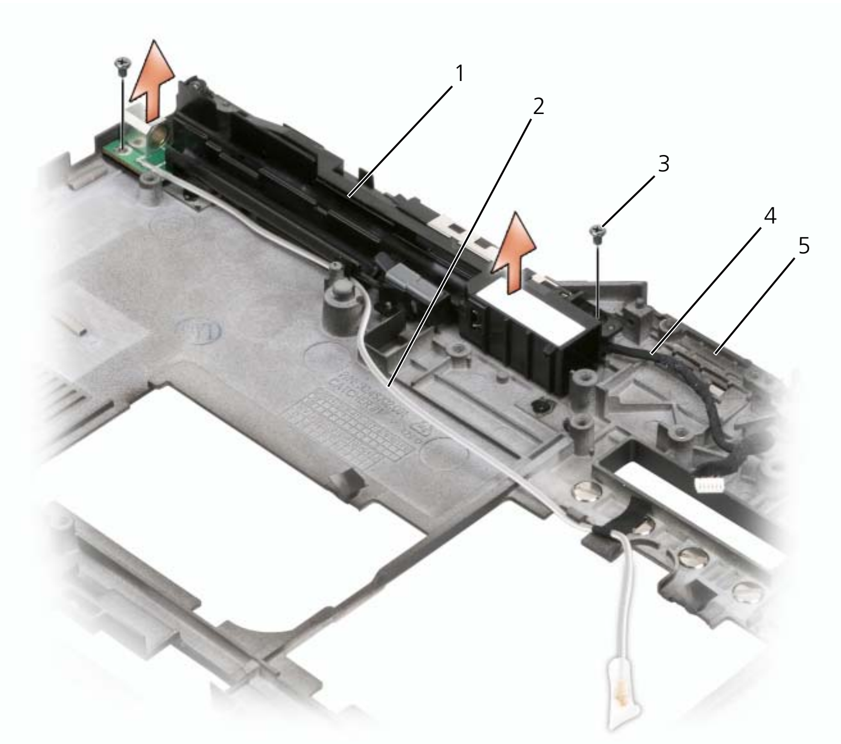
注意 : 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、Tablet PC の背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

ペンおよびホイップアンテナアセンブリの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 ヒンジカバーを取り外します（169 ページの「ヒンジカバーの取り外し」を参照）。
3 ディスプレイアセンブリを取り外します（174 ページの「ディスプレイアセンブリの取り外し」を参照）。
4 キーボードを取り外します（171 ページの「キーボードの取り外し」を参照）。
5 取り付けられているミニカードをすべて取り外します（165 ページの「ミニカードの取り外し」を参照）。
6 パームレストを取り外します（180 ページの「パームレストの取り外し」を参照）。

7 システム基板を取り外します（183 ページの「システム基板の取り外し」を参照）。
8 2 本の M2 x 3 mm ネジを外します。
9 経路指定チャネルからペンなしケーブルおよびホイップアンテナを取り外し、ペンアセンブリおよびホイップアンテナアセンブリをベースから持ち上げて外します。



1	ペンおよびホイップアンテナアセンブリ	2	ペンなしケーブル
3	M2 x 3 mm ネジ（2）	4	ホイップアンテナケーブル
5	ベース		

ペンおよびホイップアンテナアセンブリの取り付け

1 ペンなしケーブルおよびホイップアンテナケーブルを経路指定チャネルに装着します。ペンなしケーブルをグリップエリアのベースフックに通します。テープを使用して、ケーブルをベースフックを通して下に固定します。
2 2 本の M2 x 3 mm ネジを締めます。
3 システム基板を取り付けます（185 ページの「システム基板の取り付け」を参照）。
4 パームレストを取り付けます（183 ページの「パームレストの取り付け」を参照）。
5 ディスプレイアセンブリを取り付けます（177 ページの「ディスプレイアセンブリの取り付け」を参照）。
6 ミニカードをすべて取り付けます（168 ページの「ミニカードの取り付け」を参照）。
7 キーボードを取り付けます（172 ページの「キーボードの取り付け」を参照）。
8 ヒンジカバーを取り付けます（170 ページの「ヒンジカバーの取り付け」を参照）。

ワイヤレススイッチ

⚠ **警告 : 次の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

注意 : 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、Tablet PC の背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、Tablet PC 内部の作業を行う前にメインバッテリを取り外してください。

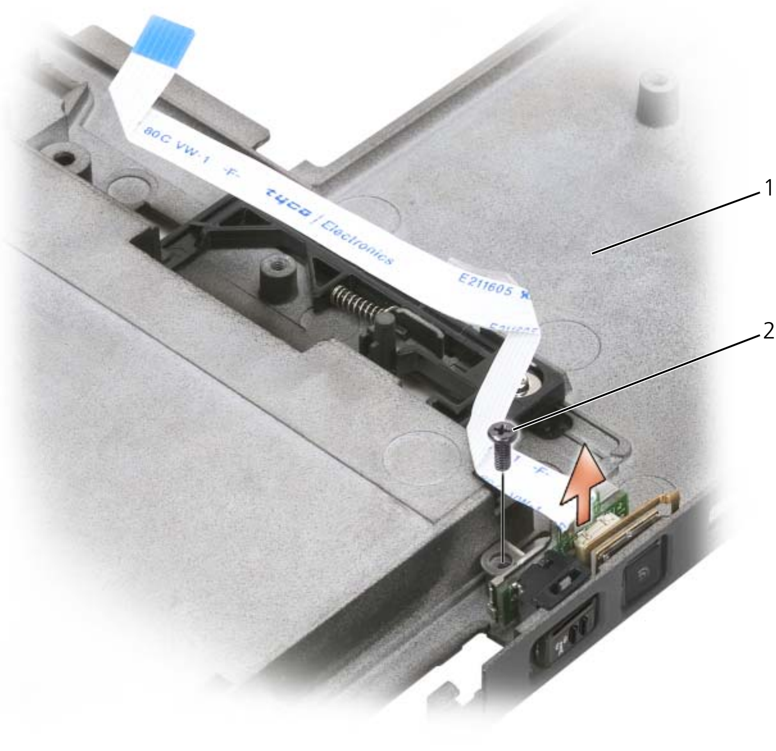
ワイヤレススイッチの取り外し

1 151 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 ヒンジカバーを取り外します（169 ページの「ヒンジカバーの取り外し」を参照）。
3 ディスプレイアセンブリを取り外します（174 ページの「ディスプレイアセンブリの取り外し」を参照）。
4 キーボードを取り外します（171 ページの「キーボードの取り外し」を参照）。
5 取り付けられているミニカードをすべて取り外します（165 ページの「ミニカードの取り外し」を参照）。
6 パームレストを取り外します（180 ページの「パームレストの取り外し」を参照）。

7 システム基板を取り外します（183 ページの「システム基板の取り外し」を参照）。

8 M2.5 x 5mm ネジを外します。

9 ベースからワイヤレススイッチを持ち上げて外し、スイッチを横に置いておきます。



1	ベース	2	M2.5 x 5 mm ネジ

ワイヤレススイッチの取り付け

1 ワイヤレススイッチをベースに装着します。
2 M2.5 x 5 mm ネジを締めます。基板がベースに正しく接続されるよう、ワイヤレスオン / オフスイッチをスライドさせます。スイッチの締め付けが強すぎる場合、組み立て中に、基板とベースの位置合わせが動きます。M2.5 x 5 mm ネジを緩め、ブラケットの穴とベースの穴が同心円状に配置されていることを確認します。
3 ミニカードをすべて取り付けます（168 ページの「ミニカードの取り付け」を参照）。
4 キーボードを取り付けます（172 ページの「キーボードの取り付け」を参照）。
5 ディスプレイアセンブリを取り付けます（177 ページの「ディスプレイアセンブリの取り付け」を参照）。
6 ヒンジカバーを取り付けます（170 ページの「ヒンジカバーの取り付け」を参照）。

12

Dell™ D/Bay

⚠ **警告：この項の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をお読みください。**

Dell D/Bay について

フロッピードライブ、ハードドライブ、または光学ドライブなどの Dell Latitude™ D シリーズのデバイスは Dell D/Bay を使って取り付けることができます。

D/Bay のセットアップと使い方

D/Bay ケーブルを Tablet PC またはオプションのメディアベースのパワード USB コネクタに接続します。



Tablet PC の電源が切れている場合のデバイスの取り外しと取り付け

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

1 デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。



2 リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、D/Bay からデバイスを取り外します。



3 ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が得られるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスがベイと平らに揃うようにします。

4 D/Bay ケーブルを Tablet PC またはオプションのメディアベースのパワード USB コネクタに接続します。

Tablet PC の電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け

1 Windows タスクトレイの **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。

2 取り外すデバイスをクリックします。

注意 : デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

3 デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。



4 リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、D/Bay からデバイスを取り外します。



5 ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が得られるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスがベイと平らに揃うようにします。

   Windows は自動的に新しいデバイスを認識します。

6 必要に応じて、パスワードを入力してドライブのロックを解除します。

13

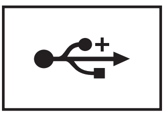
メディアベース（オプション）

左側面図



1	USB コネクタ	2	メディアベイの光学ドライブ

USB コネクタ

	USB 2.0 互換コネクタにはマウス、キーボード、プリンタのような USB デバイスを接続できます。

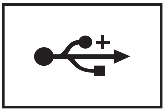
光学ドライブ — CD および DVD メディアに使用します。

右側面図



1	USB コネクタ	2	Tablet PC リリースレバー
3	セキュリティケーブルスロット		

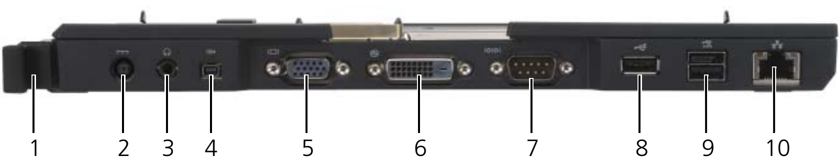
USB コネクタ

	USB 2.0 互換コネクタにはマウス、キーボード、プリンタのような USB デバイスを接続できます。

TABLET PC リリースレバー —メディアベースが盗難防止用品で保護されていない場合に、Tablet PC をメディアベースから外します。

セキュリティケーブルスロット —市販の盗難防止用品をメディアベースに取り付けることができます。盗難防止用品の取り付け方法の詳細については、通常購入された盗難防止用品に付属しています。詳細に関しては、203 ページの「メディアベースの固定」を参照してください。

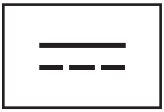
背面図



1	Tablet PC リリースレバー	2	AC アダプタコネクタ
3	オーディオコネクタ	4	IEEE 1394
5	VGA ビデオコネクタ	6	デジタルビデオインタフェース（DVI）コネクタ
7	シリアルコネクタ	8	USB コネクタ
9	パワード USB コネクタ	10	ネットワークコネクタ

TABLET PC リリースレバー —Tablet PC をメディアベースからドッキング解除します（205 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースからのドッキング解除」を参照）。

AC　アダプタコネクタ

	AC アダプタをメディアベースと AC 電源に接続し、AC 電源をメディアベースで必要な DC 電源に変換します。AC アダプタは、メディアベースのオンまたはオフに関係なく接続可能です。詳細に関しては、202 ページの「メディアベースのセットアップ」を参照してください。 **警告 : 複数のコンセントがある電源タップを使用する場合は、電源タップに AC アダプタの電源ケーブルを差し込む際に注意が必要です。電源タップによっては、コネクタを間違った方法でも差し込める場合があります。電源コネクタを正しく差し込まないと、メディアベースに回復不能な損傷を与えたり、感電あるいは発火の恐れがあります。電源プラグのアース芯が電源タップのアース接続端子に挿入されていることを確認してください。** **注意 :** AC アダプタをメディアベースから外すときは、ケーブルではなくアダプタケーブルコネクタを持ち、ケーブルを傷付けないようにしっかりと抜いてください。

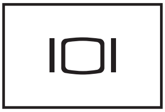
オーディオコネクタ

	ヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。このコネクタはステレオ出力コネクタです。

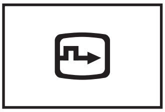
IEEE 1394 コネクタ

	カメラ、外付けハードディスクドライブ、外付け CD-ROM ドライブなどの FireWire デバイスを接続します。ホットスワップ、単一バス内での複数の速度、および時間ベースのデータ転送をサポートし、マルチメディア操作用の帯域幅を提供します。

VGA ビデオコネクタ

	外付け VGA モニタを接続します。 **メモ：**Tablet PC がドッキングされている場合は、メディアベースのビデオコネクタを使用します。

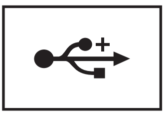
デジタルビデオインタフェース（DVI）コネクタ

	フラットパネルモニタなどの外付け DVI 対応モニタを接続します。アダプタケーブルを使って、外付けの VGA 対応モニタを DVI コネクタに接続することもできます。

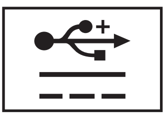
シリアルコネクタ

	シリアルマウス、ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスを接続します。

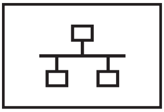
USB コネクタ

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

パワード USB コネクタ

	オプションの外付け D/Bay デバイスまたはマウス、キーボード、プリンタのような標準 USB デバイスを接続します。

ネットワークコネクタ

	コンピュータをネットワークに接続します。コネクタで点灯しているライトは、リンクステータス情報を示します。ライトが消えている場合はリンクなし、緑色は 10 Mb/ 秒のリンク、橙色は 100 Mb/ 秒のリンク、および黄色は 1000 Mb/ 秒のリンクをそれぞれ示します。コネクタの黄色のライトの点滅は、有線ネットワーク接続のアクティビティを示します。 ネットワークアダプタの使い方については、Windows ヘルプとサポートでお使いのコンピュータに提供されているネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。ヘルプとサポートにアクセスする方法については、19 ページの「Windows ヘルプとサポート」を参照してください。

平面図



1　ドッキングコネクタ

ドッキングコネクタ —Tablet PC をメディアベースにドッキングします（203 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースへの ドッキング」および 205 ページの「お使いの Tablet PC のメディアベースからのドッキング解除」を参照）。

メディアベースのセットアップ

⚠ **警告 : AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。**

注意 : 必ずメディアベースに付属する Dell AC アダプタを使用してください。市販の AC アダプタ、または旧モデルの Dell コンピュータ用 AC アダプタを使用すると、メディアベースまたは Tablet PC を損傷する恐れがあります。

注意 : Tablet PC またはメディアベースから Dell AC アダプタケーブルを外すときは、ケーブルの損傷を防ぐため、ケーブル自体ではなくアダプタケーブルコネクタを持ち、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルをまとめる場合、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの角度に従ってください。

1 AC アダプタを、メディアベースの AC アダプタコネクタと電源コンセントに接続します。



2 はじめて Tablet PC をメディアベースにドッキングする前に、Tablet PC のオペレーティングシステムでセットアップププロセスを完了しておく必要があります。以下を実行してください。

a Tablet PC がメディアベースまたはバッテリスライスに接続（ドッキング）されていないことを確認します。

b Tablet PC の電源を入れます。

c Microsoft® Windows® デスクトップが表示されることを確認します。

d Tablet PC をシャットダウンします（151 ページの「Tablet PC の電源を切る」を参照）。

メディアベースの固定

メモ : Tablet PC がメディアベースにドッキングされており、メディアベースのセキュリティケーブルスロットに盗難防止用品が取り付けてある場合、まずこの盗難防止用品を取り外さないと、Tablet PC のドッキングを解除できません。



メディアベースのセキュリティケーブルスロットに、市販の盗難防止用品を取り付けます。

通常、盗難防止デバイスには、金属線をよったケーブルに、ロック装置と鍵が付属しています。この種類の盗難防止デバイスを取り付ける手順については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

お使いの Tablet PC のメディアベースへのドッキング

メモ : 今はじめて Tablet PC をドッキングさせようとしており、202 ページの「メディアベースのセットアップ」の手順が完了していない場合は、次の手順に進む前にこの手順を完了してください。

メモ : はじめて Tablet PC をドッキングした後は、メディアベースが AC アダプタに接続されていない場合、Tablet PC のバッテリまたは Tablet PC の AC アダプタ接続によってメディアベースに電力を供給できます。

メモ : はじめて Tablet PC をメディアベースにドッキングする際は、Tablet PC の電源を切ってください。

1 今はじめて Tablet PC をメディアベースにドッキングする場合は、Tablet PC の電源が切れていることを確認してください。

2 Tablet PC の背面とメディアベースの背面を 約 30 度の角度で合わせて、Tablet PC の前面をメディアベースに押し下げます。



1	Tablet PC	2	メディアベース

3 カチッという感触があるまで Tablet PC をメディアベースに押して、Tablet PC を完全に装着します。

4 Tablet PC の電源を入れます。

オペレーティングシステムがメディアベースを認識します。

お使いの Tablet PC のメディアベースからのドッキング解除

注意 : 必ず Tablet PC にドッキングを解除するための準備を行ってから、ドッキングを解除してください。Tablet PC を準備する前にドッキングを解除すると、データが失われ、Tablet PC が数分間通常の動作に回復しない場合があります（全く回復しない可能性もあります）。

1 Tablet PC のドッキングを解除する前に、開いているファイルがあればすべて保存して閉じ、開いているプログラムをすべて終了します。

2 ディスプレイを閉じた（下げた）ときに Tablet PC がスリープモード、スタンバイモードまたは休止状態モードに入らないよう、Tablet PC の電源の管理を設定します。

   a タスクトレイの Windows **Power**（電源） アイコンをクリックして **Power**（電源）アイコンのポップアップウィンドウを表示します。

   b **More power options**（その他の電源オプション）をクリックします。

   c **When I close the lid**（カバーを閉じたときの動作）ドロップダウンメニューで **Do nothing**（何もしない）を選択します。

注意 : Tablet PC のバッテリベイに充電されたバッテリがない場合、Windows **Start**（スタート）メニューから Tablet PC をシャットダウンし、それから Tablet PC のドッキングを解除する必要があります。シャットダウンする前にバッテリのない Tablet PC のドッキングを解除すると、データが失われ、Tablet PC が数分間通常の動作に回復しない場合があります（全く回復しない可能性もあります）。

3 メディアベースが固定されている場合は、ロックを外します。

4 メディアベースから AC アダプタコネクタを取り外します。

5 Tablet PC リリースレバーを前に引き（197 ページの「右側面図」を参照）、メディアベースから Tablet PC を取り外します。



6 Tablet PC の背面を持ち上げ、メディアベースの背面方向にスライドさせて取り外します。

光学ドライブのメディアベースへの取り付け

1 開いているファイルかまたはプログラムがあればすべて保存して閉じ、Tablet PC の電源を切ります（151 ページの「Tablet PC の電源を切る」を参照）。

2 光学ドライブをメディアベースのメディアベイに挿入します（197 ページの「左側面図」を参照）。

3 光学ドライブを所定の位置に固定する、固定ネジを挿入します。

4 Tablet PC の電源を入れます。

オペレーティングシステムが新しいドライブを認識します。

光学ドライブのメディアベースからの取り外し

1 開いているファイルかまたはプログラムがあればすべて保存して閉じ、Tablet PC の電源を切ります（151 ページの「Tablet PC の電源を切る」を参照）。

2 光学ドライブを固定している固定ネジを取り外し、ドライバを使用してメディアベイからドライブを引き出します。



メディアベースの仕様

サイズと重量	
縦幅	12.8 mm
横幅	295.31 mm
長さ	222.56 mm
重量（光学ドライブなし）	0.488 kg

ストレージ	
DVD-ROM（オプション）	
DVD+RW（オプション）	

ポートとコネクタ	
ネットワークコネクタ	10/100/1000 Mbps イーサネット用 RJ-45 ポート
USB	4 ピン USB 2.0 対応コネクタ × 3
パワード USB	9 ピン USB 2.0 対応コネクタ × 1
ビデオ	15 ピン VGA コネクタ
DVI コネクタ	24 ピンコネクタ（メス）
シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 対応 UART、16 バイトのバッファ付き
オーディオ	ヘッドフォン / スピーカー（ライン出力）ミニコネクタ
IEEE 1394a	4 ピン シリアルコネクタ
ドッキング	100 ピンコネクタ

14

バッテリスライス（オプション）

平面図



1	ドッキングコネクタ	2	電源ステータスライト
3	AC アダプタコネクタ	4	リリースレバー

底面図



1　バッテリスライスステータス LED

バッテリスライスのセットアップ

警告 : AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意 : 必ずお使いの Tablet PC に付属する Dell AC アダプタを使用してください。市販の AC アダプタ、または旧モデルの Dell コンピュータ用 AC アダプタを使用すると、バッテリスライスまたは Tablet PC を損傷する恐れがあります。

注意 : ケーブルの損傷を防ぐため、Dell AC アダプタケーブルを Tablet PC から外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルをまとめる場合、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの角度に従ってください。

AC アダプタを、お使いの Tablet PC の AC アダプタコネクタと電源コンセントに接続します。



お使いの Tablet PC のバッテリスライスへのドッキング

メモ : Tablet PC をバッテリスライスへドッキングした後、Tablet PC の AC アダプタは、バッテリスライスも充電します。

1 Tablet PC の背面とバッテリスライスの背面を 約 30 度の角度で合わせて、Tablet PC の前面を バッテリスライス に押し下げます。



1	Tablet PC	2	バッテリスライス

2 カチッという感触があるまで Tablet PC を バッテリスライス に押して、Tablet PC を完全に装着します。

3 Tablet PC の電源を入れます。

オペレーティングシステムが バッテリスライス を認識します。

お使いの Tablet PC のバッテリスライスからのドッキング解除

1 Tablet PC をバッテリスライスからドッキング解除する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 ディスプレイを閉じた（下げた）ときに Tablet PC がスリープモード、スタンバイモードまたは休止状態モードに入らないよう、Tablet PC の電源の管理を設定します。

Windows Vista

a **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **Mobile PC**（モバイル PC）→ Power Options（電源オプション）→ **Change what closing the lid does**（コンピュータを閉じるときの動作の変更）とクリックします。

b **When I close the lid**（カバーを閉じたときの動作）ドロップダウンメニューで **Do nothing**（何もしない）を選択します。

Windows XP

a **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **電源オプション** → **詳細設定** とクリックします。

b **ポータブルコンピュータを閉じるとき** で、**何もしない** を選択します。

3 Tablet PC リリースレバーを引き（210 ページの「底面図」を参照）、バッテリスライスから Tablet PC を取り外します。



4 Tablet PC の背面を持ち上げ、バッテリスライスの背面方向にスライドさせて取り外します。

バッテリスライスの充電

バッテリスライスは、Tablet PC を使用せずに、Tablet PC 付属の AC アダプタを使用して再充電することができます。バッテリスライスが Tablet PC にドッキングされていて、Tablet PC が AC アダプタでコンセントに接続されている場合は、常に再充電されます。バッテリスライスの電源ステータスコードの詳細については、215 ページの「バッテリスライスの電源ステータス LED コード」を参照してください。

バッテリスライスの電源ステータス LED

バッテリスライスには、次のステータスを示す電源ステータス LED が装備されています。

バッテリスライスの電源ステータス LED コード

LED コード	ステータス
橙色の点滅、消灯、青色、消灯、橙色、消灯、青色、消灯	サポートされていない、デル製ではないアダプタを使用して Tablet PC に電力を供給しようとしています。
橙色の点滅、消灯、橙色、消灯、橙色消灯、橙色、消灯、長時間の青色、長時間の消灯	接続されている AC アダプタに一時的なエラーが発生しました。
橙色の点滅、消灯、橙色、消灯、橙色、消灯、橙色、消灯	接続されている AC アダプタに致命的なエラーが発生しました。
LED オフ	AC アダプタが接続されており、バッテリはフル充電モードです。
青色の点灯	AC アダプタが接続されており、バッテリは充電モードです。

バッテリスライスの仕様

サイズと重量	
縦幅	8.5 mm
横幅	295.32 mm
長さ	213.32 mm
重量	0.60 kg

AC アダプタ	
入力電圧	100 ～ 240 VAC
入力電流（最大）	1.5 A
入力周波数	50 ～ 60 Hz
出力電流（最大）	3.34 A
出力電力	65 W
定格出力電圧	19.5 VDC

AC アダプタ	
寸法および重量：	
縦幅	28.3 mm
横幅	57.8 mm
長さ	137.2 mm
重量（ケーブル含む）	0.36 kg

ポートとコネクタ	
ドッキング	100 ピンコネクタ

15

Tablet PC を携帯するときは

注意 : ディスプレイの損傷を避けるために、Tablet PC を携帯するときは Tablet PC がノートブックモードになっており、ディスプレイが閉じていることを確認してください。

Tablet PC の識別

- Tablet PC にネームタグまたは名刺を取り付けます。
- サービスタグをメモして、Tablet PC やキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータ商標合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- Microsoft® Windows® のデスクトップに **PC の所有者** というファイルを作成します。氏名、アドレス、電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせて、ID タグコードを発行しているかを確認します。

Tablet PC の梱包

- Tablet PC に取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。
- Tablet PC をなるべく軽くするため、メディアベイにあるすべてのデバイスを取り外して、Dell TravelLite™ モジュールを取り付けます。
- メインバッテリおよび携帯するすべての予備バッテリをフル充電します。
- Tablet PC をシャットダウンします。
- AC アダプタを取り外します。

注意 : ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- Tablet PC とアクセサリを一緒に入れる場合は、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 荷造りの際、Tablet PC をシェービングクリームやコロン、香水、食べ物などと一緒に入れないでください。

注意 : 低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところに Tablet PC を移動する場合は、1 時間程室温にならしてから電源を入れてください。

- Tablet PC、バッテリ、およびハードディスクドライブは、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- Tablet PC は、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

携帯中のヒントとアドバイス

注意：データ損失を防ぐために光学ドライブを使用している間は、Tablet PC を動かさないでください。

注意：Tablet PC を荷物として預けないでください。

- バッテリの時間を最大にするために、ワイヤレスアクティビティを無効にします。ワイヤレスアクティビティを無効にするには、ワイヤレススイッチ（104 ページの「Dell モバイルブロードバンドカードの有効化および無効化」を参照）を使用します。
- バッテリの駆動時間を最大にするために、電力の管理のオプションを変更します（76 ページの「電源管理の設定」を参照）。
- 海外に Tablet PC を携帯する場合は、通関で所有や使用権を証明する書類（会社所有の Tablet PC の場合）が必要な場合があります。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商品パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
- 渡航先の国ではコンセントの形状がどのタイプなのか確認しておいて下さい。また、それに合ったパワーアダプターを携帯してください。
- クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

飛行機内での利用

注意：Tablet PC は、金属探知機には絶対に通さないでください。X 線探知機に通すか、手検査を依頼してください。

- 手荷物チェックの際に、Tablet PC に電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリか、AC アダプタと電源ケーブルを携帯してください。
- 飛行機に搭乗する前に、Tablet PC の使用が許可されていることを確認してください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

16

付録

FCC の通達（アメリカ合衆国のみ）

FCC クラス B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオやテレビに受信障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件にしたがって使用してください。

1 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。

2 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。

注意 : FCC 規則では、デルによって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されています。

この規制は、個人の家に取り付けた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してシステムを再配置してください。
- 受信機からシステムを遠ざけてください。
- システムを別のコンセントにつないで、システムと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

詳細については、デルの担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

次の情報は、FCC 規則に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです。

- 製品名：Dell™ Latitude™ XT
- モデル番号：PP12S
- 会社名：
  Dell Inc.
  Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs
  One Dell Way
  Round Rock, TX 78682 USA
  512-338-4400

メモ：認可機関の詳細情報に関しては、お使いの『製品情報ガイド』を参照してください。

Macrovision 製品通知

この製品には、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision Corporation に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

17

用語集

この用語集に収録されている用語は、情報の目的としてのみ提供されています。お使いの Tablet PC に搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current（交流）— コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと流れる電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスリープモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

AHCI — Advanced Host Controller Interface — SATA ハードディスクドライブ対応のホストコントローラです。AHCI を使用することにより、ストレージドライバでネイティブコマンドキューイング（NCQ）やホットプラグなどのテクノロジが使用可能になります。

AS — alert standards format — ハードウェアおよびソフトウェアの警告を管理コンソールに報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるように設計されています。

B

BIOS — basic input/output system（基本入出力システム）— コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム（またはユーティリティ）です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれています。

Blu-ray Disc™（BD）— 50 GB の記憶容量、1080 ピクセルのフルビデオ解像度（HDTV 仕様）、また ネイティブの 7.1 チャネルや非圧縮サラウンドサウンドにも対応するオプティカルストレージテクノロジです。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジ — 短距離（9 メートル）内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

bps — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する標準単位です。

BTU — British thermal unit（英国熱量単位）— 熱量の単位です。

C

C — セルシウス（摂氏）— 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CCFL — Cold Cathode Fluorescent Lamp（冷陰極蛍光ランプ）— ノートブックコンピュータで使用される LCD などの照射に使用される電球の一種です。CCFL は、多くのコンピュータ部品に弊害をもたらす高熱を発生させることなく、明るい白光を提供します。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。

CD-RW drive — CD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW/DVD ドライブ — コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CMOS — 電子回路の一種です。コンピュータでは、日付や時刻、セットアッププオプションを保持するために、少量のバッテリ電源を使用する CMOS メモリを使用します。

COA — Certificate of Authenticity（実物証明書）— Windows の英数文字のコードで、コンピュータのラベルに印刷されています。Product Key（プロダクトキー）や Product ID（プロダクト ID）とも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM）— メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM）— データのバーストサイクルを二倍にする SDRAM の一種です。システム性能が向上します。

DDR2 SDRAM — double-data-rate 2 SDRAM（ダブルデータ速度 2 SDRAM）— 4 ビットのプリフェッチおよびその他のアーキテクチャの変更を使用して、メモリスピードを 400 MHz 以上に向上させる、DDR SDRAM の一種です。

DIMM — dual in-line memory module（デュアルインラインメモリモジュール）— システム基板上のメモリモジュールに接続する、メモリチップ搭載の回路基板です。

DIN コネクタ — 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は、PS/2 キーボードまたはマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA — direct memory access — DMA チャネルを使うと､ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line（デジタル加入者回線）— アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジです。

DVD-R — DVD recordable — 書き込み可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります。）

DVD+RW ドライブ — DVD やほとんどの CD メディアを読み込んだり、DVD+RW（書き換え可能 DVD）に書き込んだりすることができるドライブです。

DVI — digital video interface（デジタルビデオインタフェース）— コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。

E

ECC — error checking and correction（エラーチェックおよび訂正）— メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取る際に、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタのデザインです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードディスクドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference（電磁波障害）— 電磁放射線によって引き起こされる電気障害です。

ENERGY STAR® — Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタのデザインです。

ESD — electrostatic discharge（静電気放出）— 静電気の急速な放電のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

ExpressCard — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。ExpressCard の一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両規格をサポートします。

F

FBD — fully-buffered DIMM — DDR2 DRAM チップ、および DDR2 SDRAM チップとシステム間の通信を高速化するアドバンスドメモリバッファ（AMB）を搭載した DIMM です。

FCC — Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会）— コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus — マイクロプロセッサと RAM 間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol（ファイル転送プロトコル）— インターネットに接続されたコンピュータ間で、ファイルを交換するための標準インターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1024 MB（1,073,741,824 バイト）です。ハードディスクドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 周波数の計測単位です。1 GHz は 10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーと相互にやり取りするソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されたコンピュータ間でファイルを交換するためのプロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ（kHz）、メガヘルツ（MHz）、ギガヘルツ（GHz）、またはテラヘルツ（THz）単位で計測される場合もあります。

I

IC — integrated circuit（集積回路）— コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板、またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードディスクドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output（入出力）— コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力する動作、またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス（シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど）に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IrDA — Infrared Data Association — 赤外線通信の国際規格を標準化する団体です。

IRQ — interrupt request（割り込み要求）— デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider（インターネットサービスプロバイダ）— ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E- メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料（月払い）で提供します。

K

Kb — キロビット — データの単位です。1 Kb は、1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — 1,000 Hz に相当する周波数の単位です。

L

LAN — local area network（ローカルエリアネットワーク）— 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

LCD — liquid crystal display（液晶ディスプレイ）— ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode（発光ダイオード）— コンピュータの状態を示す光を発する電子部品です。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレルポート接続のためのポートです。

M

Mb — メガビット — メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

Mbps — メガビット / 秒 — 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB — メガバイト — 1,048,576 バイトに相当するデータストレージの単位です。または 1,024 KB を表します。ハードディスクドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間に 1,000,000 サイクルで 1 MHz です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

MP — メガピクセル — デジタルカメラで使用される画像の解像度の単位です。

ms — ミリ秒 — 1,000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory（不揮発性ランダムアクセスメモリ）— コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止した場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、現在の日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCI Express — プロセッサとそれに取り付けられたデバイスとのデータ転送速度を向上させる、PCI インタフェースの修正版です。PCI Express は、250 MB/ 秒～ 4 GB/ 秒の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIO — programmed input/output — データパスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test（電源投入時の自己診断）— BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードディスクドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタの一種です。

PXE — pre-boot execution environment — WfM（Wired for Management）標準で、オペレーティングシステムのないネットワークコンピュータを設定して、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装される RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 があります。

RAM — random-access memory（ランダムアクセスメモリ）— プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference（無線電波障害）— 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory（読み取り専用メモリ）— コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードディスクドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock（リアルタイムクロック）— システム基板上にあるバッテリで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCRST — real-time clock reset（リアルタイムクロックリセット）— いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SAS — serial attached SCSI — 原型の SCSI パラレルアーキテクチャとは対照的に、より高速のシリアルバージョンの SCSI インタフェースです。

SATA — serial ATA（シリアル ATA）— より高速のシリアルバージョンの ATA（IDE）インタフェースです。

SCSI — small computer system interface — ハードディスクドライブ、CD ドライブ、プリンタ、スキャナーなどのデバイスをコンピュータに接続するための高速インタフェースです。SCSI では、単一のコントローラを使って多数のデバイスを接続できます。SCSI コントローラバスでは、個々の識別番号を使って各デバイスにアクセスします。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）— DRAM のタイプで、プロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

SIM — サブスクライバ識別モジュール — SIM カードには、音声通信およびデータ通信を暗号化するマイクロチップが内蔵されています。SIM カードは電話やノートブックコンピュータに使用できます。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

Strike Zone™ —（コンピュータの電源がオンまたはオフに関わらず）コンピュータが共振ショックを受けた場合、または落下した場合に制動装置として機能し、ハードディスクドライブを保護するプラットフォームベースの強化領域です。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準です。SVGA の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニタ、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスが Windows のプログラムで使用できるようになります。

TPM — trusted platform module — ハードウェアベースのセキュリティ機能です。セキュリティソフトウェアと併用して、ファイル保護や E- メール保護などの機能を有効にすることにより、ネットワークおよびコンピュータのセキュリティを強化します。

U

UAC — user account control（ユーザーアカウントコントロール）— Microsoft Windows Vista® のセキュリティ機能です。有効に設定すると、ユーザーアカウントとオペレーティングシステム設定へのアクセス間のセキュリティに追加レイヤが提供されます。

UMA — unified memory allocation（統合メモリ振り分け）— ビデオに動的に振り分けられるシステムメモリです。

UPS — uninterruptible power supply（無停電電源装置）— 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus（ユニバーサルシリアルバス）— USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair（シールドなしツイストペア）— ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

WHr — ワット時 — バッテリのおおよその充電容量を表すのに通常使われる単位です。たとえば、66 WHr のバッテリは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

WWAN — Wireless Wide Area Network（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）の略です。セルラーテクノロジを使用した、ワイヤレスの高速データネットワークで、ワイヤレス LAN よりもはるかに広い地域に対応します。

WXGA — wide-aspect extended graphics array — 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできるソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** です。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約 2 倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E- メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、起動メディアのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。起動メディアを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すため起動メディアのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべての起動メディアにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。

オンボード — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、またはモニタに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合です。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み保護 — ファイルやメディアのデータ内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けた際に PC カードスロットからカードの端が突き出しています。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上のコネクタです（コンピュータによって異なる場合もあります）。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニタを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

環境照明センサー — ディスプレイの輝度を調整する機能です。

キーの組み合わせ — 複数のキーを同時に押して実行するコマンドです。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動メディア — コンピュータを起動するために使用する CD または DVD です。ハードディスクドライブが損傷した場合や、コンピュータがウィルスに感染した場合など、起動 CD、または DVD が必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities』メディアは、起動メディアの一つです。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。L1 キャッシュおよび L2 キャッシュも参照してください。

L1 キャッシュ — プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュです。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付け、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンドキャッシュです。

クロックスピード — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

グラフィックスモード — x 水平ピクセル数 X y 垂直ピクセル数 X z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

光学ドライブ — CD、DVD、または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。光学式ドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows ユーティリティです。

さ

サージプロテクタ — コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（雷などの原因で）から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの **support.jp.dell.com** にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話で問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 — コンピュータのメイン回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スキャンディスク — Microsoft のユーティリティで、ファイル、フォルダ、ハードディスクの表面のエラーをチェックします。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

スリープ状態モード — メモリ内のすべてをハードディスクドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードディスクドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

赤外線センサー — ケーブルを利用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するために使うプログラムです。**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのような ユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

た

タスクトレイ — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクトレイです。システムトレイとも呼ばれます。

通行許可証 — 物品を外国へ一時的に持ち込む場合、一時輸入通関ができる通関手帳です。商品パスポートとも呼ばれます。

テキストエディター — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

ディスクストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

デバイス — コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

デバイスドライバ — ドライバを参照してください。

デュアルコア — 1 つのプロセッサパッケージに 2 つの物理計算ユニットを集積し、それによって計算効率とマルチタスク機能を向上させたテクノロジです。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニタを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルモニタとも呼ばれます。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、メディアベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドッキングデバイス — お使いのノートブックをデスクトップの作業環境に合わせたポートの複製、ケーブル管理、またはセキュリティ機能を提供します。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

な

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

ハードディスクドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードディスクドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

ハイパースレッディング — 1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させ、特定のタスクを同時に実行できるようにすることで、コンピュータのパフォーマンスを全般的に強化する Intel テクノロジです。

バイオメトリクスリーダー — 固有の指紋を使ってユーザーの身元証明を行う読み取りセンサーで、コンピュータのセキュリティ保護をサポートします。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バッテリ駆動時間 — ノートブックコンピュータのバッテリでコンピュータを駆動できる持続時間（分または時間）です。

バッテリの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パーティション — ハードディスクドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

パラレルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 — 解像度を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニタの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供する、ビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックスをモニタに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、x 列 × y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ピクセル — ディスプレイ画面の構成単位である点です。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 × 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ファーレンハイト（華氏）— 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化したりする入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

プラグアンドプレイ — デバイスを自動的に設定するコンピュータの機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プロセッサ — コンピュータ内部で中心的に演算を行うコンピュータチップです。プロセッサは、CPU（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

ペン — Tablet PC またはその他のスレートデバイスにデータを入力する入力デバイスです。

ま

ミニカード — 通信用 NIC など内蔵周辺機器用に設計された小型のカードです。ミニカードの機能は、標準の PCI 拡張カードと同等です。

ミニ PCI — モデムや NIC など通信機能を主とする内蔵周辺機器の規格です。ミニ PCI カードは、標準の PCI 拡張カードと同等の機能を持つ小型の外付けカードです。

メディアベイ — 光学ドライブ、セカンドバッテリ、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ — メディアベイを参照してください。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには 外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E- メールの交換に使用されます。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- CD または DVD を書き込み防止に設定している場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（垂直周波数とも呼ばれます）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

わ

ワイヤレス LAN — Wireless Local Area Network（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）の略です。インターネットアクセスを可能にするアクセスポイントやワイヤレスルーターを使用し、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータを指します。